

大和高田市の学校園の再編に関する
アンケート調査結果

令和7年 1 月

大和高田市

目 次

I	調査の概要.....	1
1.	背景及び目的.....	1
2.	調査概要.....	1
3.	配布・回収状況.....	1
4.	調査項目.....	2
II	調査結果概要.....	3
1.	小中学校の再編の取組について.....	3
2.	利用している学校について.....	3
3.	学校の規模について.....	3
4.	通学の考え方.....	4
5.	地域における学校施設のあり方.....	4
6.	市立幼稚園について.....	4
III	調査結果.....	5
	【市民】.....	5
1.	回答者属性.....	5
2.	小中学校の再編の取組について.....	6
3.	地域における学校施設のあり方.....	12
	【利用者】.....	15
1.	回答者属性.....	15
2.	小中学校の再編の取組について<小中学校保護者/未就学児保護者/小中学校教職員>.....	19
3.	利用している学校について<児童・生徒/小中学校教職員>.....	28
4.	学校の規模について<児童・生徒/小中学校保護者/未就学児保護者/小中学校教職員>.....	31
5.	通学の考え方<児童・生徒/小中学校保護者/未就学児保護者>.....	35
6.	地域における学校施設のあり方.....	38
7.	市立幼稚園について<未就学児保護者/幼稚園教諭等>.....	41
	自由意見（市民）.....	45
	自由意見（利用者）.....	48
IV	調査票.....	53

I 調査の概要

1. 背景及び目的

教育委員会では、「園児・児童・生徒が集団の中で多様な考えに触れ、一人ひとりの資質や能力を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」という本市の教育方針に沿った教育施策を遂行するにあたり、大和高田市立幼稚園、小学校及び中学校における将来的な園児及び児童・生徒の人数の動向を踏まえ望ましい教育環境の整備充実に取り組むため、大和高田市学校園施設の再配置基本方針・基本計画の策定に向けた取組を進めています。

本アンケートは、学校規模の適正化や適正配置について、市民、学校園利用者を対象に再編の取組についての意向や望ましい学校規模などについて把握し計画策定に役立てるために実施したものです。

2. 調査概要

	調査対象	調査方法	調査期間
市民	18歳以上の市民 2,000 人 (無作為抽出)	郵送配布・郵送回収 (Web 回収併用)	2024 年 12 月 2 日(月) ～12 月 16 日(月)
児童・生徒	【児童】 市内の小学校に通う小学 5, 6 年生 【生徒】 市内の中学校に通う中学 2 年生	直接配布・直接回収 (Web 回収併用)	2024 年 12 月 13 日(金) ～12 月 20 日(金)
保護者	【小中学校】 市内小中学校の児童生徒の保護者 小学校：2, 5, 6 年生/中学校：2 年生 【未就学児】 市立幼稚園・こども園・保育所に 通っているお子さまの保護者	直接配布・直接回収 (Web 回収併用)	
教職員等	【小中学校】 市内小中学校の教育職員 【幼稚園・保育施設】 市立幼稚園・こども園・保育所の幼稚園教諭・保育教諭・保育士	直接配布・直接回収 (Web 回収併用) ※小中学校の教職員 は Web 回収のみ	

3. 配布・回収状況

		配布数	不着・白票	有効回答数	有効回答率
	市民	2,000 票	13 票	565 票	28.4%
児童・生徒	児童	768 票	—	276 票	35.9%
	生徒	400 票	—	125 票	31.3%
保護者	小中学校	1,531 票	—	772 票	50.4%
	未就学児	955 票	—	416 票	43.6%
教職員等	小中学校	300 票	—	189 票	63.0%
	幼保施設	255 票	—	178 票	69.8%

4. 調査項目

設問項目	市 民	利用者				
		児童・生徒	保護者		教職員等	
			小 中 学 校	未 就 学 児	小 中 学 校	幼 稚 園 等
回答者属性						
年齢	○					
お住まいの地域	○			○		
中学生以下のお子さまの有無	○					
(お子さまの) 通っている学校園・勤務している施設		○	○	○	○	○
(お子さまの) 学年・勤務年数		○	○		○	○
お子さまの通っている施設を選んだ理由				○		
現在の通学方法と時間		○				
小中学校の再編の取組について						
小中学校の再編の取組に対する意向とその理由	○		○	○	○	
お子さまの通学(予定)、通勤する学校の再編の必要性			○	○	○	
取組の考え方	○		○	○	○	
配慮する点	○		○	○	○	
利用している学校について						
通学している学校のよい・よくないと思うもの		○				
働く場としてみた学校の満足度					○	
学校の規模について						
現在のクラスの人数の感じ方		○	○			
現在の学年のクラス数の感じ方		○	○			
望ましい1学年あたりのクラス数とその理由			○	○	○	
通学の考え方						
通学距離・通学時間の感じ方		○				
許容できる通学時間			○	○		
通学方法と校区の考え方			○	○		
地域における学校施設のあり方						
学校施設の役割	○		○	○	○	
期待する役割	○		○	○	○	
参加したい取組	○		○	○	○	
市立幼稚園について						
今後のあり方について期待する点				○		○
望ましい1クラスあたりの人数				○		○
望ましい1クラスあたりの人数を考える上で重視した点				○		○
幼稚園の再編の取組について				○		○
自由意見	○		○	○	○	

Ⅱ 調査結果概要

1. 小中学校の再編の取組について(p.6～11, 19～27)

市民、利用者（小中学校保護者、未就学児保護者、小中学校教職員）

- ・小中学校の再編の取組に対する意向は再編・統合を進めることに賛成する意見が市民の8割、小中学校保護者および小中学校教職員の6割、未就学児保護者の4割を占めています。
- ・一方で「今後も今の学校配置が望ましい」という再編・統合を進めることに反対する意見は市民の1割、小中学校保護者および未就学児保護者の3割、小中学校教職員の2割を占めています。
- ・再編の取組に賛成する方の理由は「多様な交流の中で社会性や協調性を身につけることができるから」、「人数が確保できることで、運動会などの学校行事等の活動の幅が広がるから」などがあげられる一方で、反対する方の意見は「学校が遠くなることによって、登下校時の児童・生徒の安全が心配だから」、「教員の目が届きにくく、きめ細かな教育を受けられないから」などがあげられます。
- ・お子さまが通学している、する予定の学校の再編の必要性について、小中学校保護者、未就学児保護者の学校別にみると、土庫小学校では「早急に再編・統合する必要がある」が他の学校に比べ多くなっています。また、小中学校教職員は高田中学校で「早急に再編・統合する必要がある」が、土庫小学校で「将来的にも再編・統合する必要はない」が他の学校に比べ多くなっています。
- ・取組の際の考え方は「通学区域の見直しも行う」、「同一中学校区で隣接した小学同士の再編・統合の検討を進める」、「義務教育学校等の導入を踏まえて検討する」の順に賛成意見が多くなっています。
- ・再編の取組の際に配慮する点は「子どもたちの通学と安全の確保」、「子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減」、「学校施設・設備の整備、充実」等があげられ、特に「子どもたちの通学と安全の確保」については全ての対象者で8割以上を占めています。

2. 利用している学校について(p.28～30)

利用者（児童・生徒、小中学校教職員）

- ・児童・生徒が通学している学校について「よいな」と思うものは「同じ友だちと同じクラスで過ごすことが多く、仲良くなる」、「運動会や発表会がもりあがる」などが、「よくないな」と思うものは「校舎や体育館、トイレなどが古くてきたない、あぶない」などがあげられます。

3. 学校の規模について(p.31～34)

利用者（児童・生徒、小中学校保護者、未就学児保護者、小中学校教職員）

- ・現在（お子さまの）通学している学校の1学年当たりのクラス数について、児童・生徒、小中学校保護者、全てで「ちょうどいいと思う」が6割以上を占めています。また、学校別にみると、浮孔小学校、片塩中学校を除き、全ての学校で「少ないと思う」が小中学校保護者の3割以上を占めており、特に土庫小学校は8割を占めています。

- ・小学校の望ましいクラス数について「2～3クラス」が小中学校保護者、未就学児保護者、小中学校教職員それぞれで8割を占めています。
- ・中学校の望ましいクラス数について「3～5クラス」が小中学校保護者、未就学児保護者の7割、小中学校教職員の6割を占めています。
- ・小中学校の1学年当たりの望ましい学級数を選ぶときに重視したこと（理由）は「クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる」「児童・生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導を受けられる」、「集団の中で多様な考え方に触れ、社会性や協調性を身につけることができる」などがあげられます。

4. 通学の考え方(p.35～37)

利用者（児童・生徒、小中学校保護者、未就学児保護者）

- ・児童・生徒の通学時間は30分程度までが9割以上を占めており、「距離が長く、通学するのがしんどい。」と感じている児童・生徒は1割となっています。
- ・小学校、中学校ともに小中学校保護者および未就学児保護者が許容できる通学時間は30分程度までが8割以上を占めています。
- ・通学方法の考え方について、「スクールバス等の使用により安全に通学できるのであれば、再編・統合後の通学距離は問わない」と「再編・統合後の通学距離も徒歩で通学できる範囲で検討すべき」のどちらも3～4割を占めています。

5. 地域における学校施設のあり方(p.12～14, 38～40)

市民、利用者（小中学校保護者、未就学児保護者、小中学校教職員）

- ・地域における学校施設の期待する役割は「児童・生徒の放課後の居場所」、「地域の防災拠点」、「子育て支援の拠点」、「地域のスポーツ活動の拠点」などがあげられます。

6. 市立幼稚園について(p.41～44)

利用者（未就学児保護者、幼稚園教諭等）

- ・未就学児保護者の市立幼稚園に期待することは「教育・保育内容の充実・向上」、「就労時間にあわせた長時間の預かりなど保育枠の充実・拡大」、「幼稚園施設の整備・設備の充実」などがあげられます。
- ・幼稚園教諭等の市立幼稚園に期待することは「子どもたちの活動に必要なクラスの人数・集団規模」、「配慮を要する子どもなどへの支援」、「教育・保育内容の充実」などがあげられます。
- ・幼稚園の1クラス当たりの望ましい人数は未就学児保護者、幼稚園教諭等ともに3歳児で「10～14人」、4歳児および5歳児で「15～19人」が最も多くなっています。
- ・市立幼稚園の再編・統合への賛成意見は未就学児保護者の2割、幼稚園教諭等の6割を占めているのに対し、再編・統合への反対意見は未就学児保護者の3割、幼稚園教諭等の1割未満となっています。

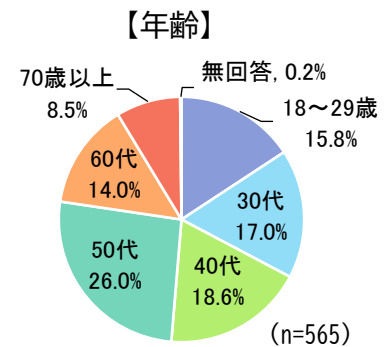
Ⅲ 調査結果

【市民】

1. 回答者属性

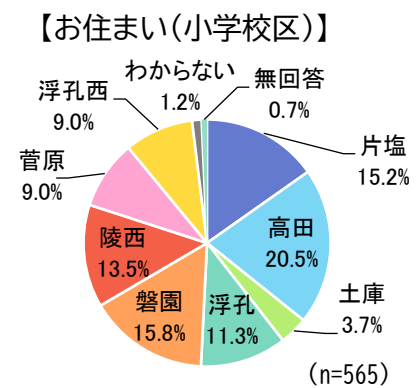
(1) 年齢 <市民問1-1>

- ・回答者の年齢は「50代」が147人(26.0%)、「40代」が105人(18.6%)、「30代」が96人(17.0%)と他の年代に比べ多くなっています。



(2) お住まいの地域 <市民問1-2>

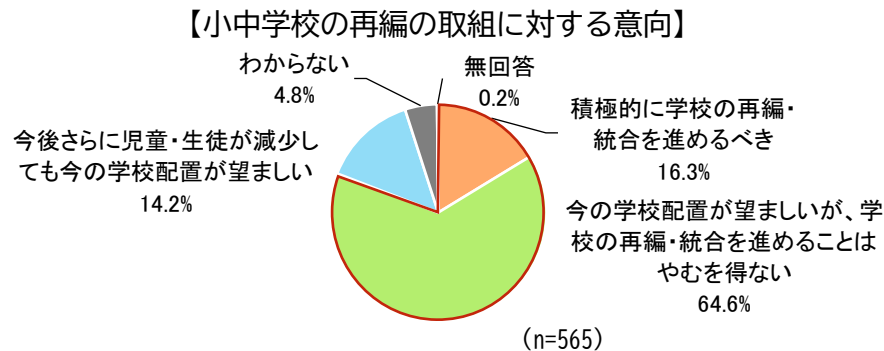
- ・回答者のお住まいの地域は「高田小学校区」が116人(20.5%)、「磐園小学校区」が89人(15.8%)「片塩小学校区」が86人(15.2%)、と他の地域に比べ多くなっています。



2. 小中学校の再編の取組について

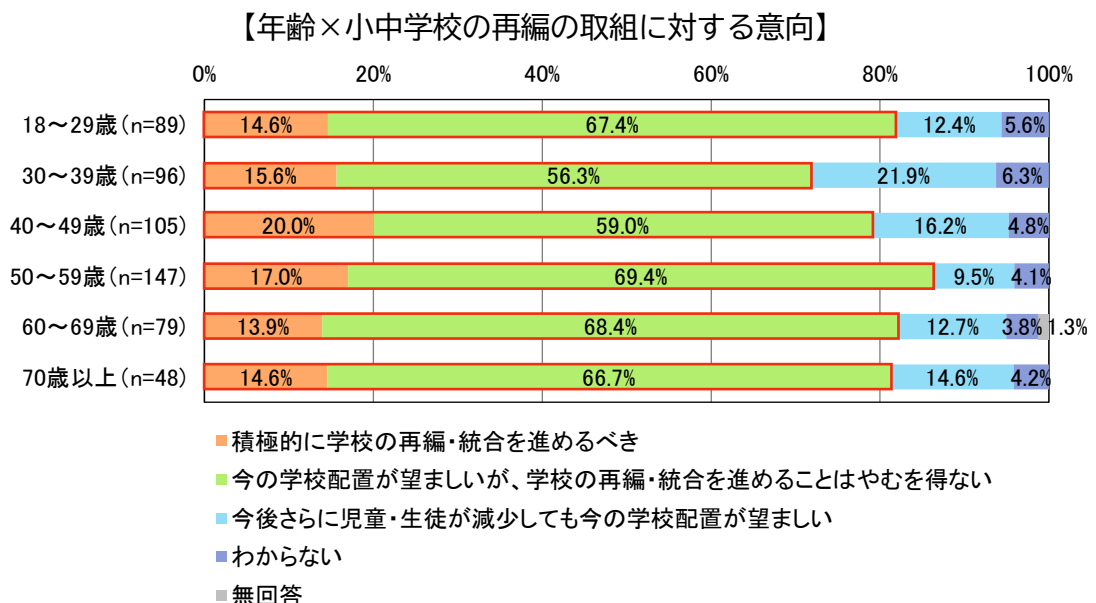
(1) 再編の取組に対する意向 <市民問2>

- ・小中学校の再編の取組に対する意向は「積極的に学校の再編・統合を進めるべき」(92 人、16.3%)、「今の学校配置が望ましいが、学校の再編・統合を進めることはやむを得ない」(365 人、64.6%) を合わせた小中学校の再編に賛成する意見が8割を占めており、一方で「今後さらに児童・生徒が減少しても今の学校配置が望ましい」は80 人(14.2%)となっています。



<年齢別小中学校の取組に対する意向>

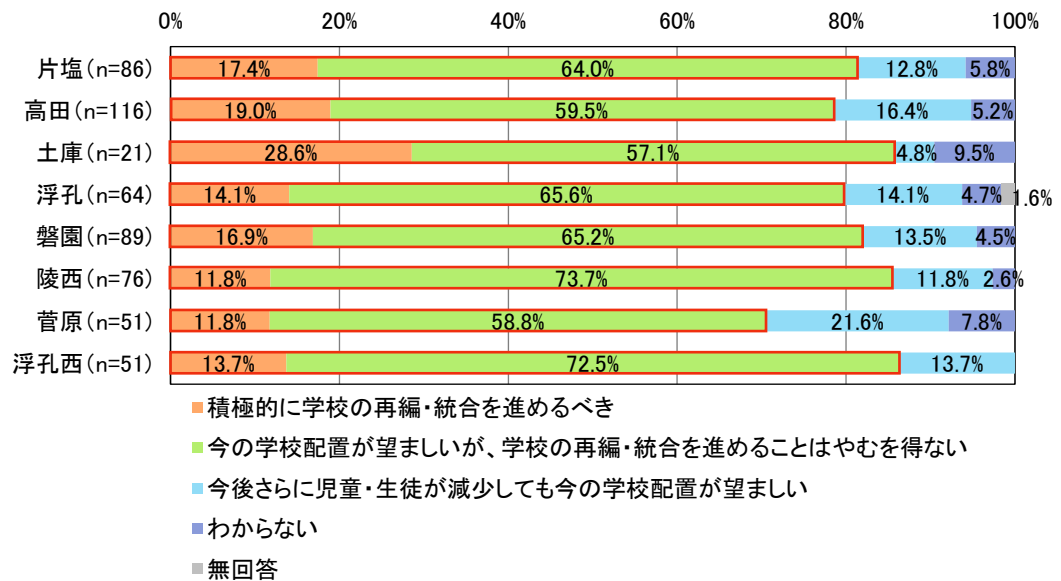
- ・年齢別にみると「積極的に学校の再編・統合を進めるべき」、「今の学校配置が望ましいが、学校の再編・統合を進めることはやむを得ない」を合わせた小中学校の再編に賛成する意見が全ての年代で7割を占めています。
- ・30代では「今後さらに児童・生徒が減少しても今の学校配置が望ましい」の割合が他の年代に比べて多く2割を占めています。



＜お住まいの地域別小中学校の取組に対する意向＞

- ・小学校区別にみると「積極的に学校の再編・統合を進めるべき」、「今の学校配置が望ましいが、学校の再編・統合を進めることはやむを得ない」を合わせた小中学校の再編に賛成する意見が全ての小学校区で7割を占めています。
- ・土庫小学校区では他の校区に比べ「積極的に学校の統合再編を進めるべき」が多くなっています。

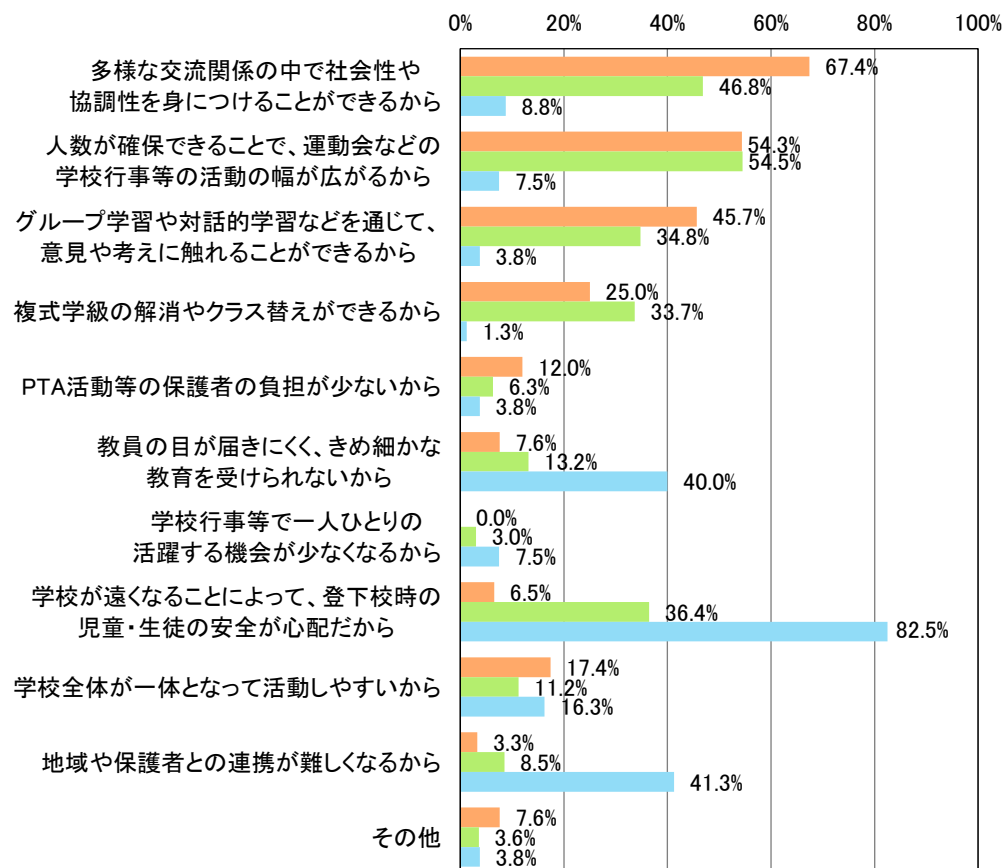
【小学校区×小中学校の再編の取組に対する意向】



(2) (1)の理由 <市民問3>

- ・(1)の回答の理由について、「積極的に学校の再編・統合を進めるべき」と回答した方は、多様な交流の中で社会性や協調性を身につけることができるから」が 62 人 (67.4%) と最も多く、次いで「人数が確保できることで、運動会などの学校行事等の活動の幅が広がるから」が 50 人 (54.3%)、「グループ学習や対話的学習などを通じて、意見や考えに触れることができるから」が 42 人 (45.7%) となっています。
- ・「今の学校配置が望ましいが、学校の再編・統合を進めることはやむを得ない」と回答した方は「人数が確保できることで、運動会などの学校行事等の活動の幅が広がるから」が 199 人 (54.5%) と最も多く、次いで「多様な交流の中で社会性や協調性を身につけることができるから」が 171 人 (46.8%)、「学校が遠くなることによって、登下校時の児童・生徒の安全が心配だから」が 133 人 (36.4%) となっています。
- ・「今後さらに児童・生徒が減少しても今の学校配置が望ましい」と回答した方は「学校が遠くなることによって、登下校時の児童・生徒の安全が心配だから」が 66 人 (82.5%) と最も多く、次いで「地域や保護者との連携が難しくなるから」が 33 人 (41.3%)、「教員の目が届きにくく、きめ細かな教育を受けられないから」が 32 人 (40.0%) となっています。
- ・「その他」の意見としては、「教員配置などを合理的に考えるとやむを得ない」、「いじめなど問題が起こると 1 クラスでは、ずっと同じクラスになる為」、「統合された側の地域で少子化がさらに進む危険があるから」、「維持コストを考慮」等の意見があります。

【再編の取組に対する意向の理由（複数回答）】

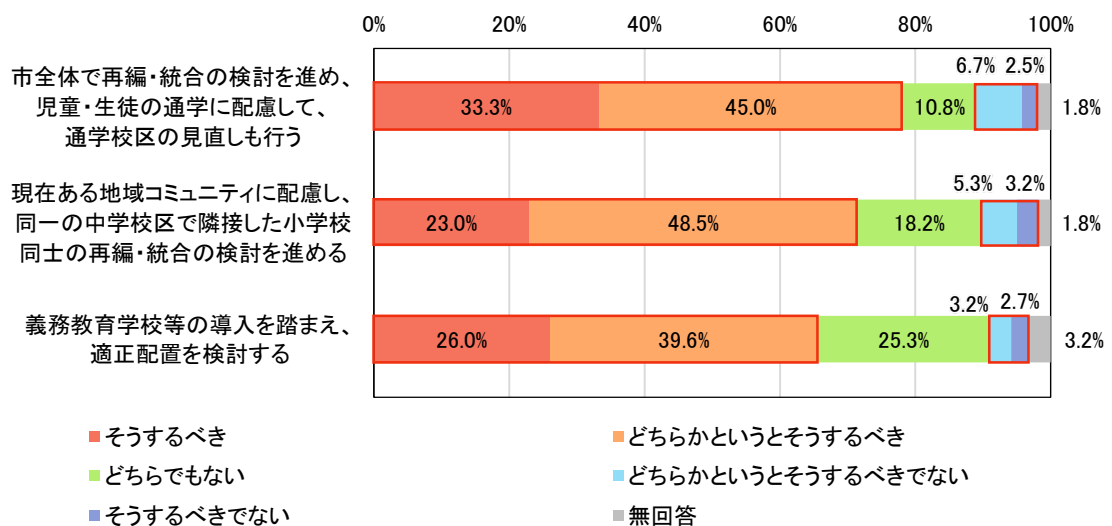


- 積極的に学校の再編・統合を進めるべき (n=92)
- 今の学校配置が望ましいが、学校の再編・統合を進めることはやむを得ない (n=365)
- 今後さらに児童・生徒が減少しても今の学校配置が望ましい (n=80)

(3) 取組の考え方 <市民問4>

- ・『市全体で再編・統合の検討を進め、児童・生徒の通学に配慮して、通学校区の見直しも行う』に対しては「そうすべき」(188人、33.3%)、「どちらかというとなさすべき」(254人、45.0%)、を合わせた賛成意見が7割、「そうすべきでない」(14人、2.5%)、「どちらかというとなさすべきでない」(38人、6.7%)を合わせた反対意見が1割未満となっています。
- ・『現在ある地域コミュニティに配慮し、同一の中学校区で隣接した小学校同士の再編・統合の検討を進める』に対しては「そうすべき」(130人、23.0%)、「どちらかというとなさすべき」(274人、48.5%)、を合わせた賛成意見が7割、「そうすべきでない」(18人、3.2%)、「どちらかというとなさすべきでない」(30人、5.3%)を合わせた反対意見が1割未満となっています。
- ・『義務教育学校等の導入を踏まえ、適正配置を検討する』に対しては「そうすべき」(147人、26.0%)、「どちらかというとなさすべき」(224人、39.6%)、を合わせた賛成意見が6割、「そうすべきでない」(15人、2.7%)、「どちらかというとなさすべきでない」(18人、3.2%)を合わせた反対意見が1割未満となっています。

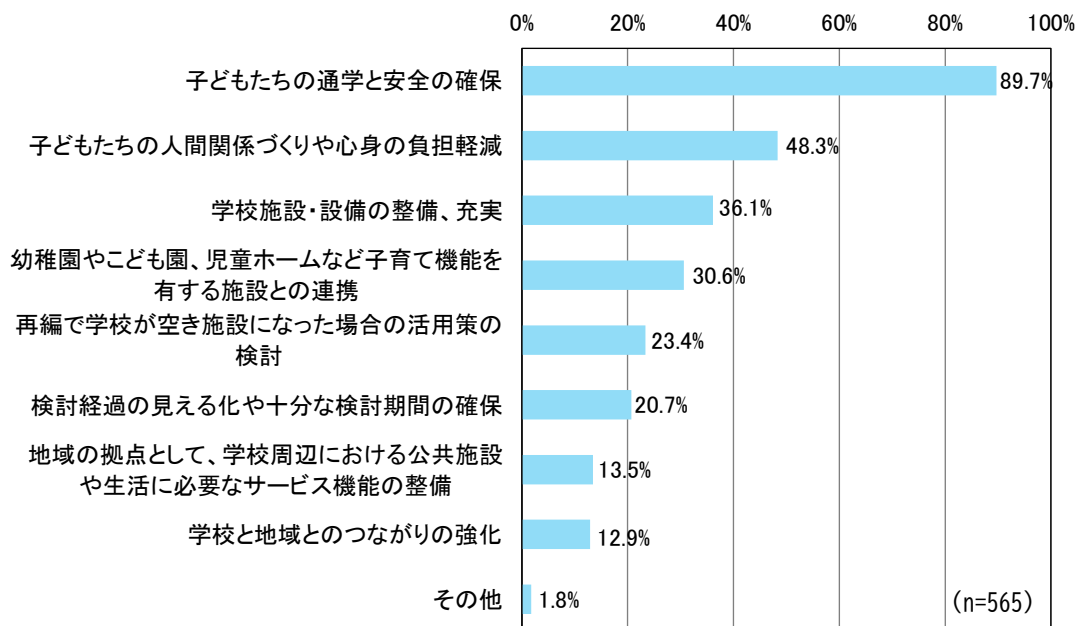
【取組を検討する際の考え方】



(4) 配慮する点 <市民問5>

・取組を進めるにあたって配慮する点は「子どもたちの通学と安全の確保」が 507 人(89.7%)と最も多く、次いで「子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減」が 273 人(48.3%)、「学校施設・設備の整備、充実」が 204 人(36.1%)、「子育て機能を有する施設との連携」が 173 人(30.6%)となっています。

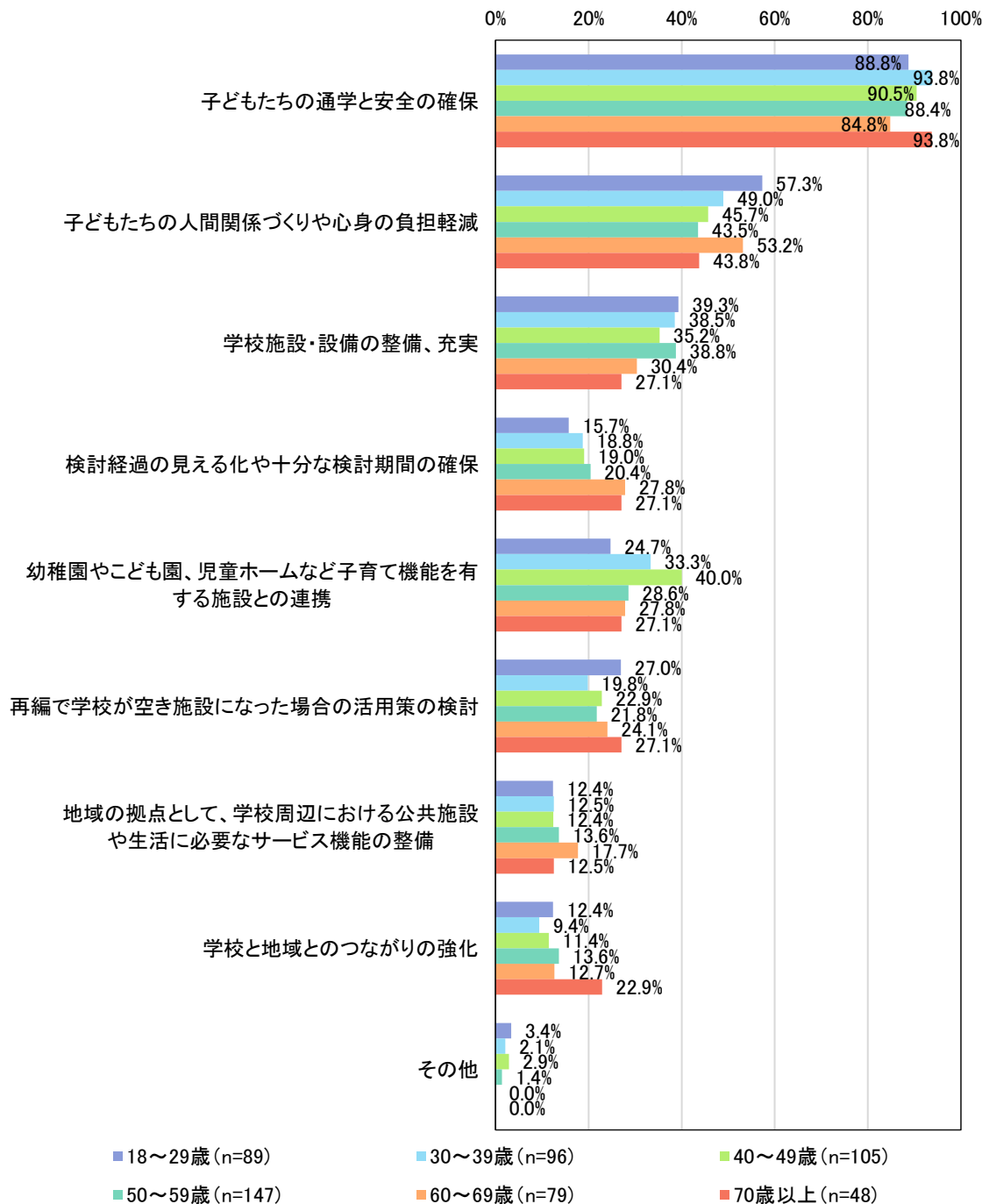
【配慮する点（複数回答）】



<年齢別取組を進めるにあたって配慮する点>

- ・年齢別にみると全ての年代で「子どもたちの通学と安全の確保」と「子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減」が上位二項目を占めています。
- ・40代では「幼稚園やこども園、児童ホームなど子育て機能を有する施設との連携」、70歳以上では「学校と地域とのつながりの強化」の割合が他の年代に比べて多くなっています。

【年齢×配慮する点】

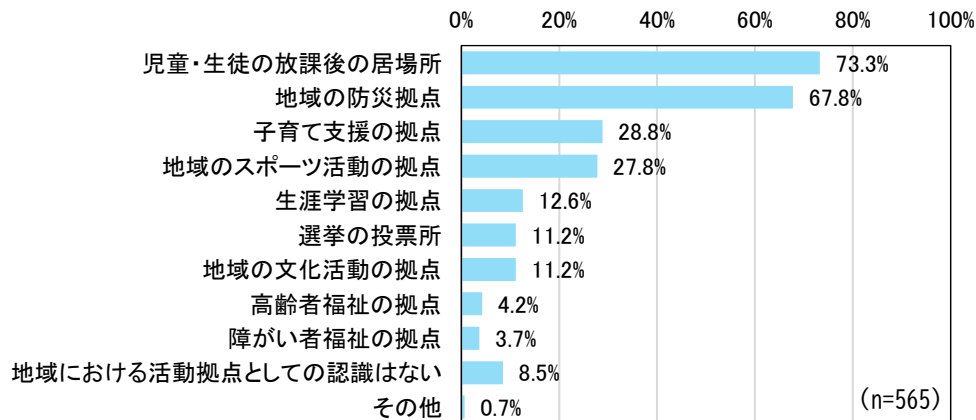


3. 地域における学校施設のあり方

(1) 学校施設の役割 <市民問6>

- ・地域における学校施設の役割は「児童・生徒の放課後の居場所」が414人（73.3%）と最も多く、次いで「地域の防災拠点」が383人（67.8%）、「子育て支援の拠点」が163人（28.8%）、「地域のスポーツ活動の拠点」が157人（27.8%）となっています。

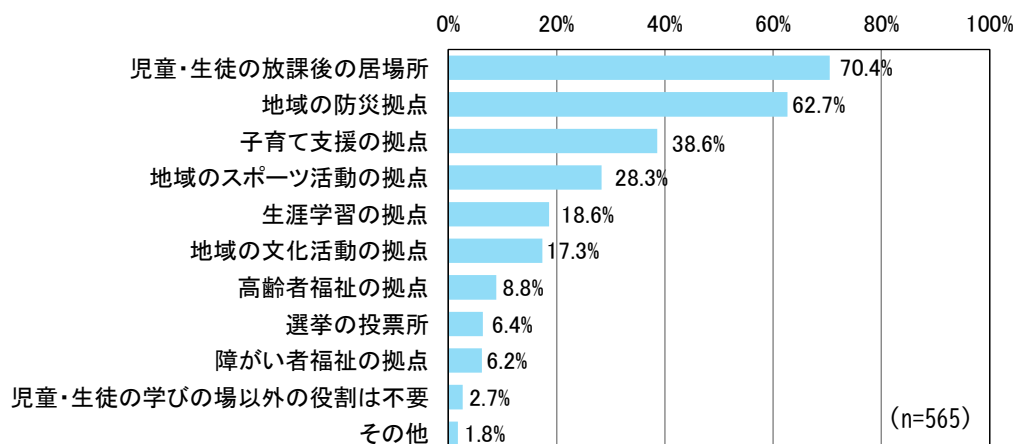
【学校の役割（複数回答）】



(2) 期待する役割 <市民問7>

- ・地域における学校施設に期待する役割は「児童・生徒の放課後の居場所」が398人（70.4%）と最も多く、次いで「地域の防災拠点」が354人（62.7%）、「子育て支援の拠点」が218人（38.6%）、「地域のスポーツ活動の拠点」160人（28.3%）となっています。

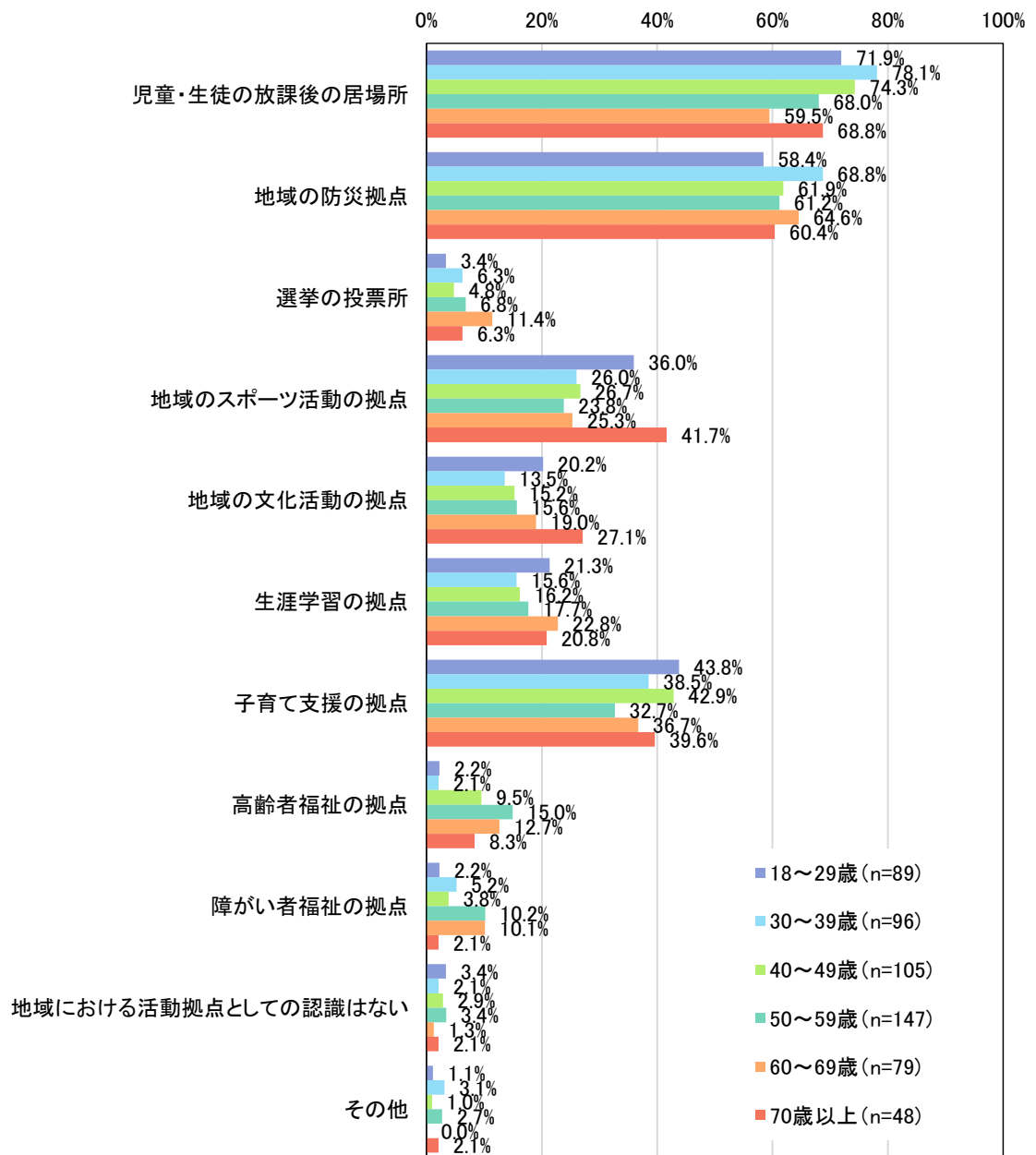
【期待する学校の役割（複数回答）】



<年齢別期待する役割>

- ・年齢別にみると全ての年代で「児童・生徒の放課後の居場所」と「地域防災拠点」が上位二項目を占めています。
- ・18～29歳、70歳以上では「地域のスポーツ活動の拠点」や「地域の文化活動の拠点」が他の年代に比べ多くなっています。

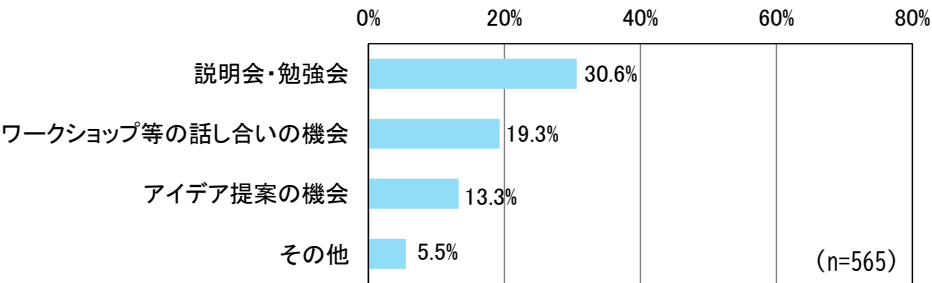
【年齢×期待する役割】



(3) 参加したい取組 <市民問8>

・参加したい取組は「説明会・勉強会」が173人（30.6%）、「ワークショップ等の話し合いの機会」が109人（19.3%）、「アイデア提案の機会」が75人（13.3%）となっています。

【参加したい取組（複数回答）】



【利用者】

1. 回答者属性

(1) 児童・生徒

① 通っている学校 <児童問1-1/生徒問1-1>

- ・通っている学校について、児童は「高田小学校」が 50 人（18.1%）と最も多く、次いで「磐園小学校」が 43 人（15.6%）、「浮孔小学校」が 35 人（12.7%）となっています。
- ・生徒は「高田中学校」が 39 人（31.2%）、「片塩中学校」が 42 人（33.6%）、「高田西中学校」が 44 人（35.2%）となっています。

通っている学校

児童	回答者数	割合
片塩小	29	10.5%
高田小	50	18.1%
土庫小	15	5.4%
浮孔小	35	12.7%
磐園小	43	15.6%
陵西小	29	10.5%
菅原小	35	12.7%
浮孔西小	39	14.1%
無回答	1	0.4%
計	276	100.0%

生徒	回答者数	割合
高田中	39	31.2%
片塩中	42	33.6%
高田西中	44	35.2%
無回答	0	0.0%
計	125	100.0%

② 学年(児童のみ) <児童問1-2>

- ・学年は「小学5年生」が 127 人（46.0%）、「小学6年生」が 121 人（43.8%）となっています。

学年

	回答者数	割合
小学5年生	127	46.0%
小学6年生	121	43.8%
無回答	28	10.1%
計	276	100.0%

③ 登校方法(生徒のみ) <生徒問2-1>

- ・生徒の家から学校までの登校方法は「徒歩」が 107 人（85.6%）、「自転車」が 18 人（14.4%）となっています。

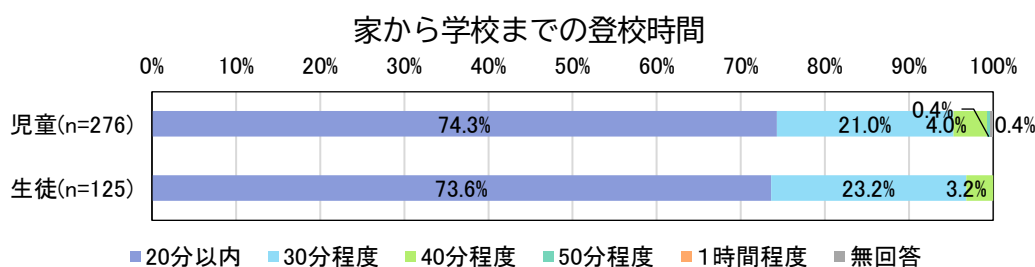
(※児童は原則徒歩のみ)

登校方法

	回答者数	割合
徒歩	107	85.6%
自転車	18	14.4%
無回答	0	0.0%
計	125	100.0%

④ 家から学校までの登校時間 <児童問2/生徒問2-2>

- ・児童の家から学校までの登校時間は「20 分以内」が 205 人（74.3%）と最も多く、次いで「30 分程度」が 58 人（21.0%）、「40 分程度」が 11 人（4.0%）、「50 分程度」が 1 人（0.4%）となっています。
- ・生徒は「20 分以内」が 92 人（73.6%）と最も多く、次いで「30 分程度」が 29 人（23.2%）、「40 分程度」が 4 人（3.2%）となっています。



(2) 小中学校保護者

① お子さまの通っている施設 <小中学校保護者問1-1>

- ・お子さまが通っている学校は「高田小学校」(131 人、17.0%)、「浮孔西小学校」(80 人、10.4%)、「浮孔小学校」(75 人、9.7%) の順に多くなっています。
- ・小学校、中学校に再分類すると「小学校の保護者」が 597 人（77.3%）、「中学校の保護者」が 168 人（21.8%）となっています。

お子さまの通っている学校

	回答者数		割合	
片塩小	71	597	9.2%	77.3%
高田小	131		17.0%	
土庫小	23		3.0%	
浮孔小	75		9.7%	
磐園小	73		9.5%	
陵西小	70		9.1%	
菅原小	74		9.6%	
浮孔西小	80		10.4%	
高田中	50	168	6.5%	21.8%
片塩中	60		7.8%	
高田西中	56		7.5%	
無回答	7	7	0.9%	0.9%
計	772		100.0%	

② お子さまの学年 <小中学校問1-2>

- ・お子さまの学年は「小学2年生」が 200 人（25.9%）、「小学5年生」が 178 人（23.1%）、「小学6年生」が 184 人（23.8%）、「中学2年生」が 169 人（21.9%）となっています。

お子さまの学年

	回答者数	割合
小学2年生	200	25.9%
小学5年生	178	23.1%
小学6年生	184	23.8%
中学2年生	169	21.9%
無回答	41	5.3%
計	772	100.0%

(3) 未就学児保護者

①お住まいの地域<未就学児問1-1>

- ・お住まいの地域は「高田小学校区」が 81 人（19.5%）と最も多く、次いで「磐園小学校区」が 63 人（15.1%）、「片塩小学校区」が 55 人（13.2%）、「菅原小学校区」が 54 人（13.0%）、「陵西小学校区」が 53 人（12.7%）となっています。

お住まいの地域

	回答者数	割合
片塩小	55	13.2%
高田小	81	19.5%
土庫小	11	2.6%
浮孔小	43	10.3%
磐園小	63	15.1%
陵西小	53	12.7%
菅原小	54	13.0%
浮孔西小	44	10.6%
市外	3	0.7%
無回答	9	2.2%
計	416	100.0%

②お子さまの通っている施設<未就学児問1-2>

- ・お子さまが通っている施設は「市立幼稚園」が 115 人（27.6%）、「市立こども園」が 107 人（25.7%）、「市立保育所」が 187 人（45.0%）となっています。

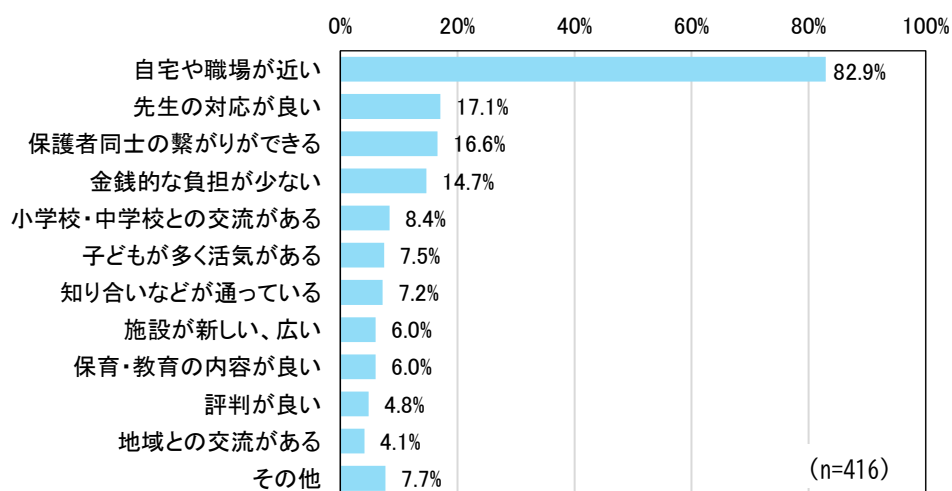
お子さまの通っている施設

	回答者数	割合
市立幼稚園	115	27.6%
市立こども園	107	25.7%
市立保育所	187	45.0%
その他	3	0.7%
無回答	4	1.0%
計	416	100.0%

③お子さまの通っている施設を選んだ理由<未就学児問2-2>

- ・お子さまの通っている施設を選んだ理由は「自宅や職場が近い」が 345 人（82.9%）と最も多く全体の 8 割を占めています。次いで「先生の対応が良い」が 71 人（17.1%）、「保護者同士の繋がりができる」が 69 人（16.6%）となっています。

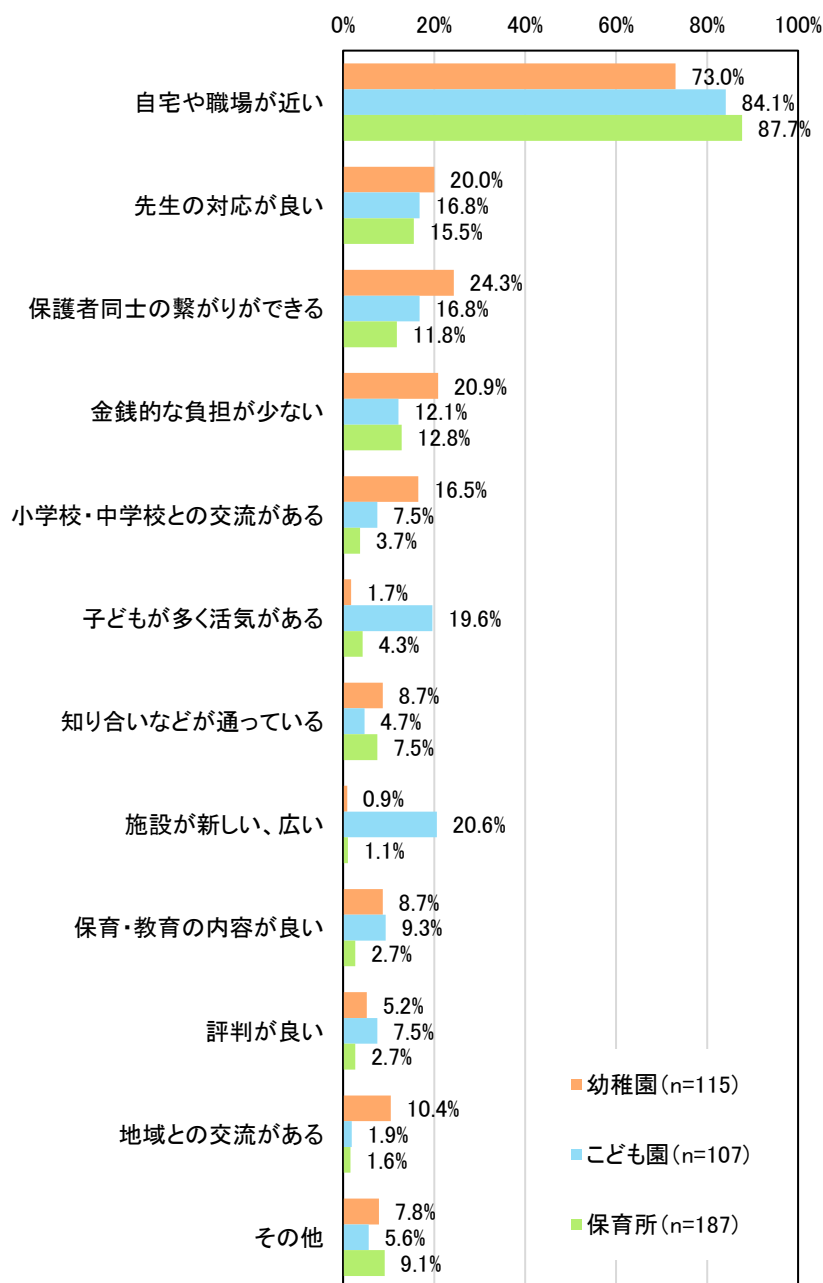
【お子さまの通っている施設を選んだ理由（複数回答）】



<お子さまの通っている施設別選んだ理由>

- ・施設別にみると全ての施設で「自宅や職場が近い」が最も多くなっています。
- ・こども園では「子どもが多く活気がある」、「施設が新しい広い」が他の施設に比べ多くなっています。

【お子さまの通っている施設を選んだ理由（複数回答）】

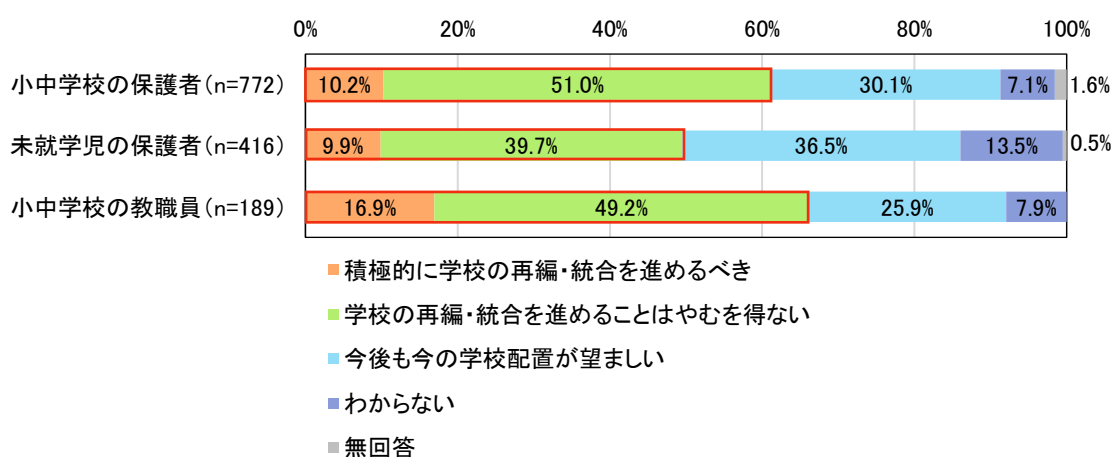


2. 小中学校の再編の取組について <小中学校保護者/未就学児保護者/小中学校教職員>

(1) 再編の取組に対する意向 <小中学校保護者問5/未就学児保護者問7/小中学校教職員問4>

- ・ 小中学校保護者の小中学校の再編の取組に対する意向は「積極的に再編・統合を進めるべき」(79人、10.2%)、「学校の再編・統合を進めることはやむを得ない」(394人、51.0%)を合わせた意見が6割を占めており、一方で「今後も今の学校配置が望ましい」は232人(30.1%)と3割を占めています。
- ・ 未就学児保護者は「積極的に再編・統合を進めるべき」(41人、9.9%)、「学校の再編・統合を進めることはやむを得ない」(165人、39.7%)を合わせた意見が4割を占めており、一方で「今後も今の学校配置が望ましい」は152人(36.5%)と3割を占めています。
- ・ 小中学校教職員は「積極的に再編・統合を進めるべき」(32人、16.9%)、「学校の再編・統合を進めることはやむを得ない」(93人、49.2%)を合わせた意見が6割を占めており、一方で「今後も今の学校配置が望ましい」は49人(25.9%)と4分の1を占めています。

【再編の取組に対する意向】

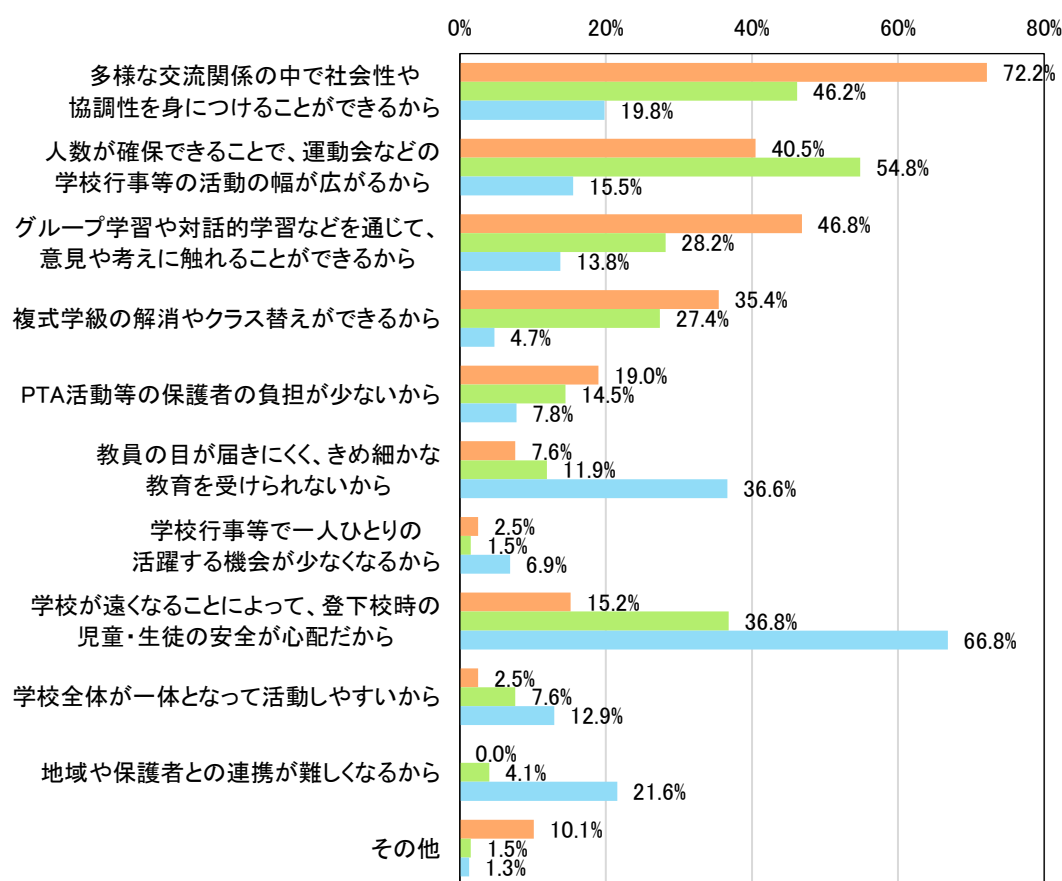


(2) (1)の理由 <小中学校保護者問6/未就学児保護者問8/小中学校教職員問5>

【小中学校保護者】

- ・小中学校保護者の(1)の理由について、「積極的に学校の再編統合を進めるべき」と回答した方は「多様な交流関係の中で社会性や協調性を身につけることができるから」が57人(72.2%)と最も多く、次いで「グループ学習や対話的学習などを通じて、意見や考えに触れることができるから」が37人(46.8%)、「人数が確保できることで、運動会などの学校行事等の活動の幅が広がるから」が32人(40.5%)となっています。
- ・「今の学校配置が望ましいが、学校の再編・統合を進めることはやむを得ない」と回答した方は「人数が確保できることで、運動会などの学校行事等の活動の幅が広がるから」が216人(54.8%)と最も多く、次いで「多様な交流関係の中で社会性や協調性を身につけることができるから」が182人(46.2%)、「学校が遠くなることによって、登下校時の児童・生徒の安全が心配だから」が145人(36.8%)となっています。
- ・「今後も今の学校配置が望ましい」と回答した方は「学校が遠くなることによって、登下校時の児童・生徒の安全が心配だから」が155人(66.8%)と最も多く、次いで「教員の目が届きにくく、きめ細かな教育を受けられないから」が85人(36.6%)となっています。

【再編の取組に対する意向の理由(複数回答)】



■ 積極的に学校の再編・統合を進めるべき(n=79)

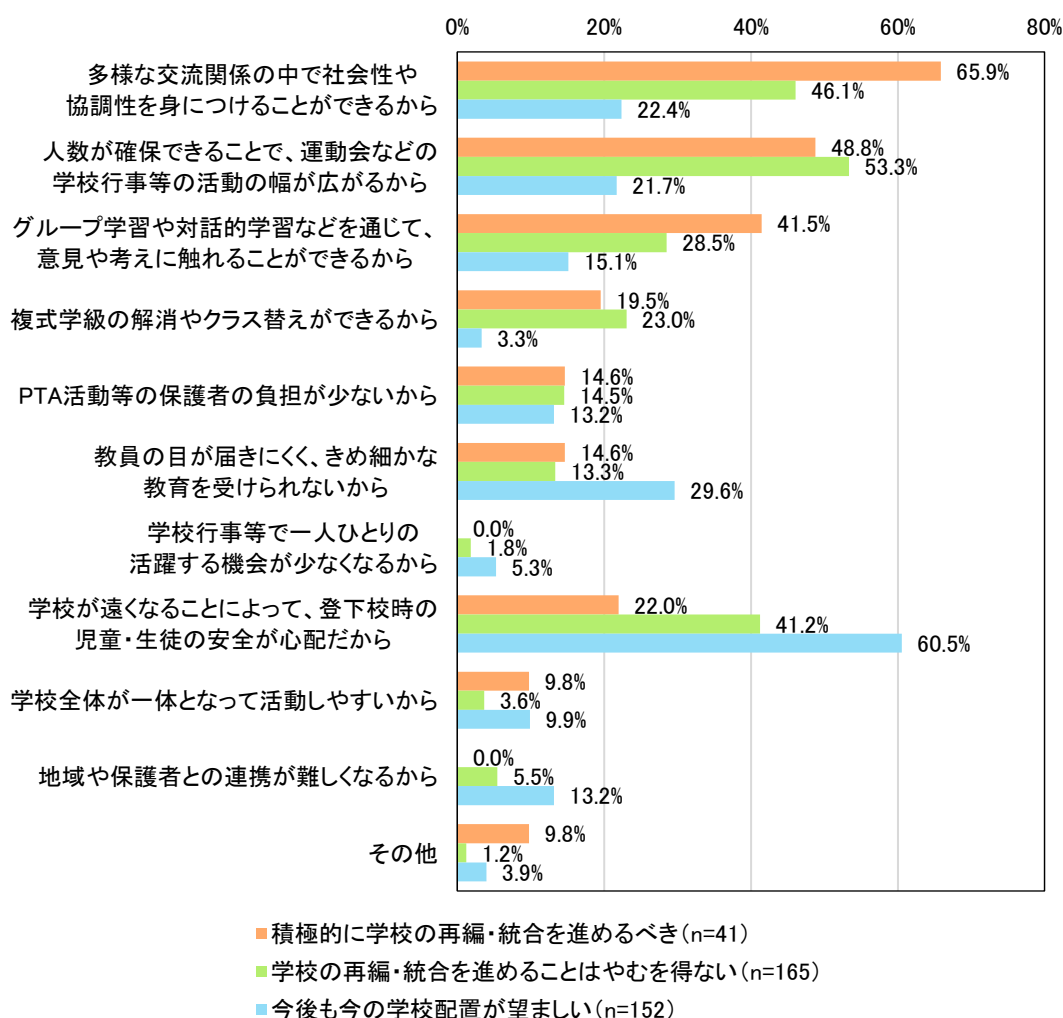
■ 学校の再編・統合を進めることはやむを得ない(n=394)

■ 今後も今の学校配置が望ましい(n=232)

【未就学児保護者】

- ・未就学児保護者の（１）の理由について、「積極的に学校の再編統合を進めるべき」と回答した方は「多様な交流関係の中で社会性や協調性を身につけることができるから」が27人（65.9%）と最も多く、次いで「人数が確保できることで、運動会などの学校行事等の活動の幅が広がるから」が20人（48.8%）、「グループ学習や対話的学習などを通じて、意見や考えに触れることができるから」が17人（41.5%）となっています。
- ・「今の学校配置が望ましいが、学校の再編・統合を進めることはやむを得ない」と回答した方は「人数が確保できることで、運動会などの学校行事等の活動の幅が広がるから」が88人（53.3%）と最も多く、次いで「多様な交流関係の中で社会性や協調性を身につけることができるから」が76人（46.1%）、「学校が遠くなることによって、登下校時の児童・生徒の安全が心配だから」が68人（41.2%）となっています。
- ・「今後も今の学校配置が望ましい」と回答した方は「学校が遠くなることによって、登下校時の児童・生徒の安全が心配だから」が92人（60.5%）と最も多く、次いで「教員の目が届きにくく、きめ細かな教育を受けられないから」が45人（29.6%）となっています。

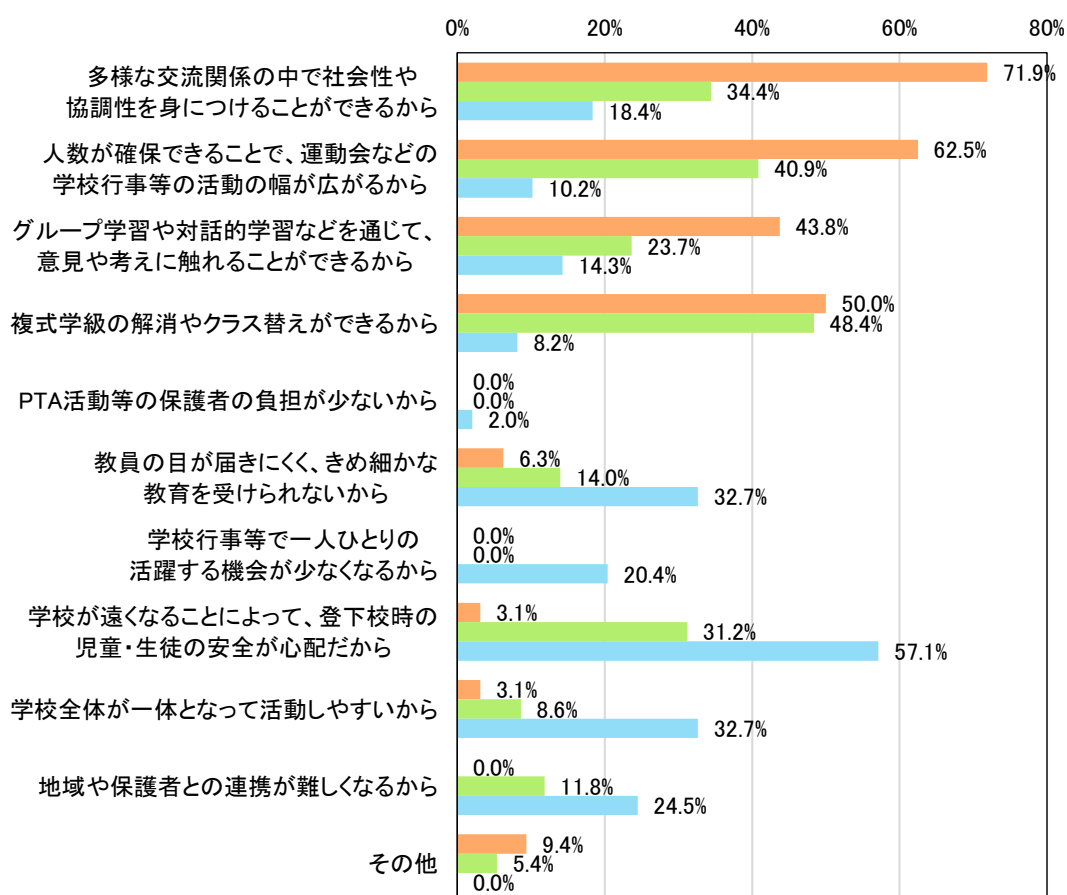
【再編の取組に対する意向の理由（複数回答）】



【小中学校教職員】

- ・小中学校教職員の（１）の理由について、「積極的に学校の再編統合を進めるべき」と回答した方は「多様な交流関係の中で社会性や協調性を身につけることができるから」が23人（71.9%）と最も多く、次いで「人数が確保できることで、運動会などの学校行事等の活動の幅が広がるから」が20人（62.5%）、「複式学級の解消やクラス替えができるから」が16人（50.0%）となっています。
- ・「今の学校配置が望ましいが、学校の再編・統合を進めることはやむを得ない」と回答した方は「複式学級の解消やクラス替えができるから」が45人（48.4%）と最も多く、次いで「人数が確保できることで、運動会などの学校行事等の活動の幅が広がるから」が38人（40.9%）「多様な交流関係の中で社会性や協調性を身につけることができるから」が32人（34.4%）となっています。
- ・「今後も今の学校配置が望ましい」と回答した方は「学校が遠くなることによって、登下校時の児童・生徒の安全が心配だから」が28人（57.1%）と最も多く、次いで「教員の目が行き届きにくく、きめ細かな教育を受けられないから」、「学校全体が一体となって活動しやすいから」がそれぞれ16人（32.7%）となっています。

【再編の取組に対する意向の理由（複数回答）】



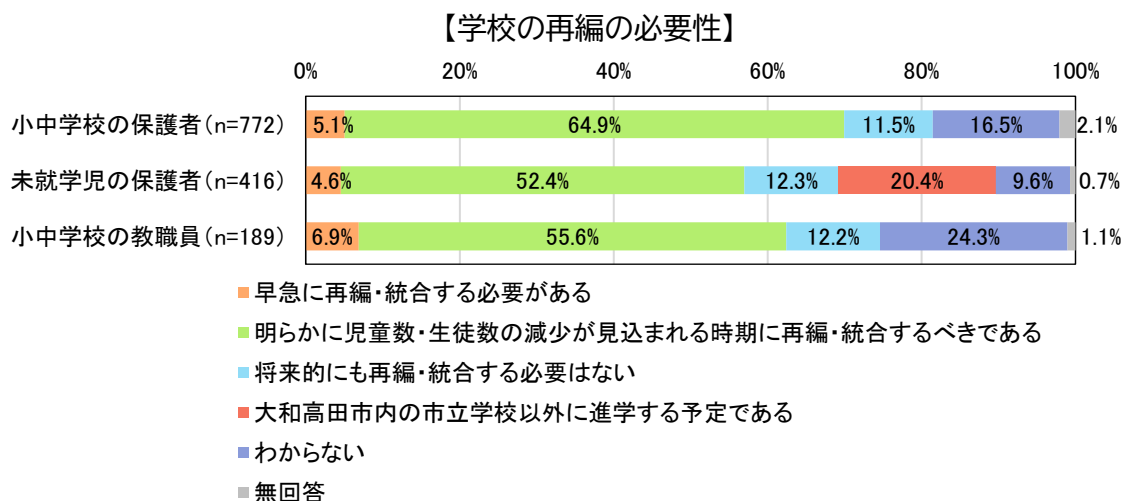
■ 積極的に学校の再編・統合を進めるべき (n=32)

■ 学校の再編・統合を進めることはやむを得ない (n=93)

■ 今後も今の学校配置が望ましい (n=49)

(3) 学校の再編の必要性 <小中学校保護者問7/未就学児保護者問9/小中学校教職員問6>

- ・小中学校保護者のお子さまの通学している学校の再編について、「早急に再編・統合する必要がある」が39人(5.1%)、「明らかに児童数・生徒数の減少が見込まれる時期に再編・統合するべきである」が501人(64.9%)であるのに対し、「将来も再編・統合する必要はない」は89人(11.5%)となっています。
- ・未就学児保護者のお子さまの通学する予定の学校の再編について、「早急に再編・統合する必要がある」が19人(4.6%)、「明らかに児童数・生徒数の減少が見込まれる時期に再編・統合するべきである」が218人(52.4%)であるのに対し、「将来も再編・統合する必要はない」は51人(12.3%)となっています。
- ・小中学校教職員の勤めている学校の再編について「早急に再編・統合する必要がある」が13人(6.9%)、「明らかに児童数・生徒数の減少が見込まれる時期に再編・統合するべきである」が105人(55.6%)であるのに対し、「将来も再編・統合する必要はない」は23人(12.2%)となっています。
- ・「大和高田市内の市立学校以外に進学する予定である」未就学児保護者は85人(20.4%)となっています。



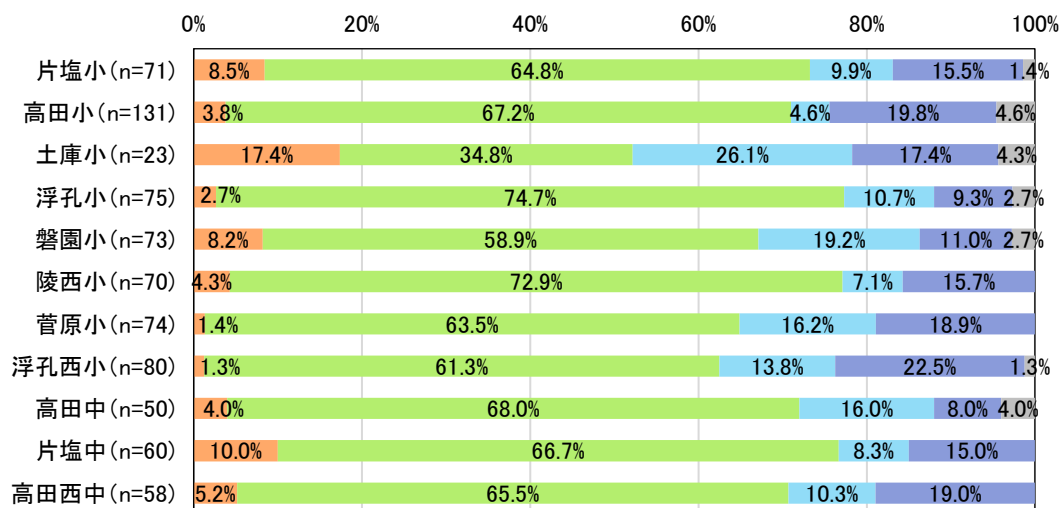
※「大和高田市内の市立学校以外に進学する予定である」は未就学児保護者のみの選択肢

<学校別再編の必要性>

【小中学校保護者】

- ・小中学校保護者のお子さまの通学校別の再編の必要性について、全ての小中学校で「明らかに児童数・生徒数の減少が見込まれる時期に再編・統合するべきである」が最も多くなっています。

【学校別×再編の必要性】

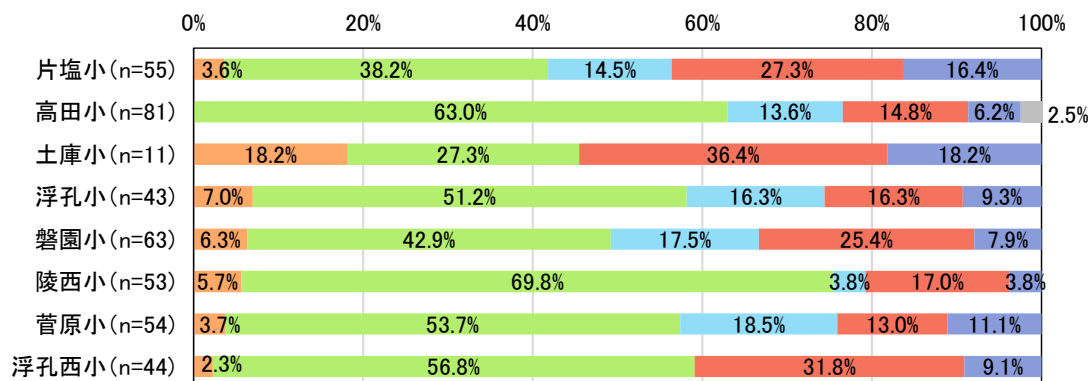


- 早急に再編・統合する必要がある
- 明らかに児童数・生徒数の減少が見込まれる時期に再編・統合するべきである
- 将来的にも再編・統合する必要はない
- わからない
- 無回答

【未就学児保護者】

- ・未就学児保護者のお子さまの通学予定校の再編の必要性について、将来お子さまが市内の市立学校に進学される方は、全ての小学校区で「明らかに児童数・生徒数の減少が見込まれる時期に再編・統合するべきである」が最も多くなっています。
- ・片塩小学校区、土庫小学校区、磐園小学校区、浮孔西小学校区にお住まいの方は「大和高田市内の市立学校以外に進学する予定である」が2割以上を占めています。

【お住まいの地区（小学校区）別×再編の必要性】

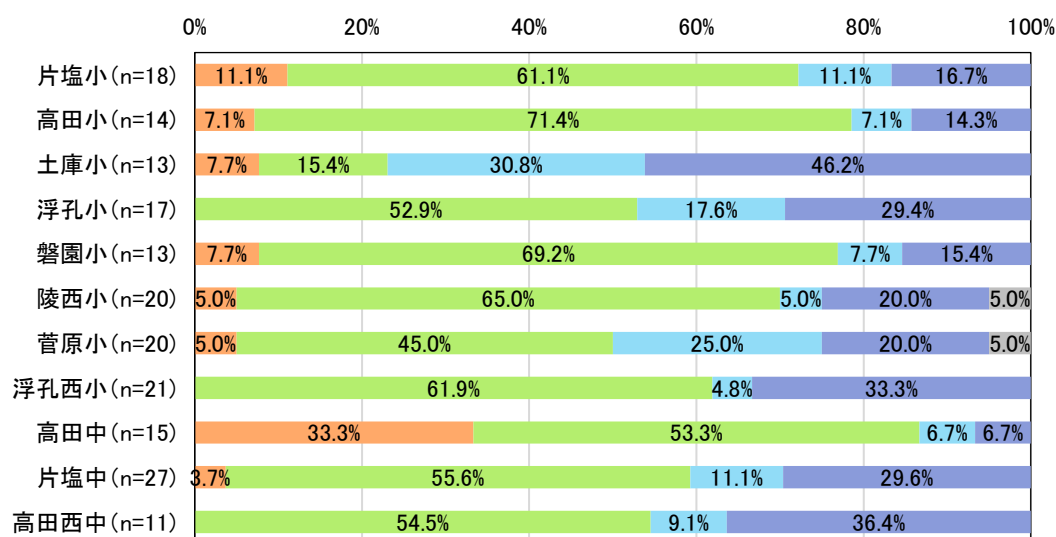


- 早急に再編・統合する必要がある
- 明らかに児童数・生徒数の減少が見込まれる時期に再編・統合するべきである
- 将来的にも再編・統合する必要はない
- 大和高田市内の市立学校以外に進学する予定である
- わからない
- 無回答

【小中学校教職員】

- ・小中学校教職員の勤務校別の再編の必要性について、土庫小学校を除く全ての小中学校で「明らかに児童数・生徒数の減少が見込まれる時期に再編・統合するべきである」が最も多くなっています。
- ・土庫小学校では、「わからない」が6人（46.2%）と最も多くなっています。

【学校別×再編の必要性】

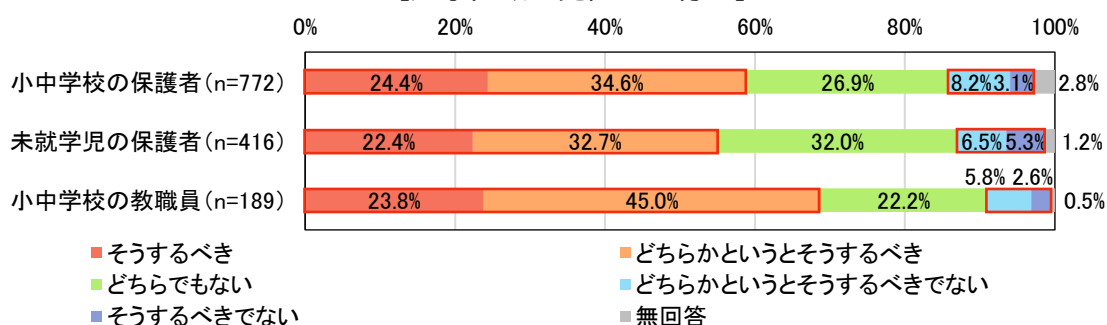


- 早急に再編・統合する必要がある
- 明らかに児童数・生徒数の減少が見込まれる時期に再編・統合するべきである
- 将来的にも再編・統合する必要はない
- わからない
- 無回答

(4) 取組の考え方 <小中学校保護者問8/未就学児保護者問10/小中学校教職員問7>

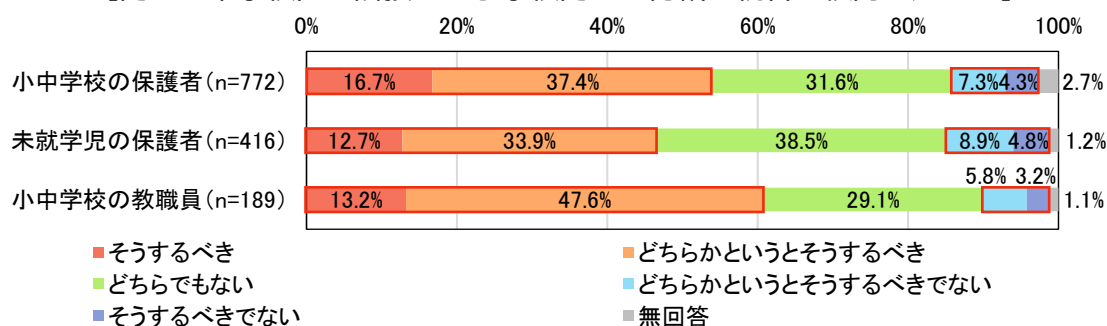
- 『市全体で再編・統合の検討を進め、児童・生徒の通学に配慮して、通学区の見直しも行う』について、「そうすべき」「どちらかと言えばそうすべき」を合わせた賛成意見が小中学校保護者の5割、未就学児保護者の5割、小中学校教職員の6割を占め、「そうすべきでない」、「どちらかというところそうすべきでない」を合わせた反対意見を上回っています。

【通学区の見直しも行う】



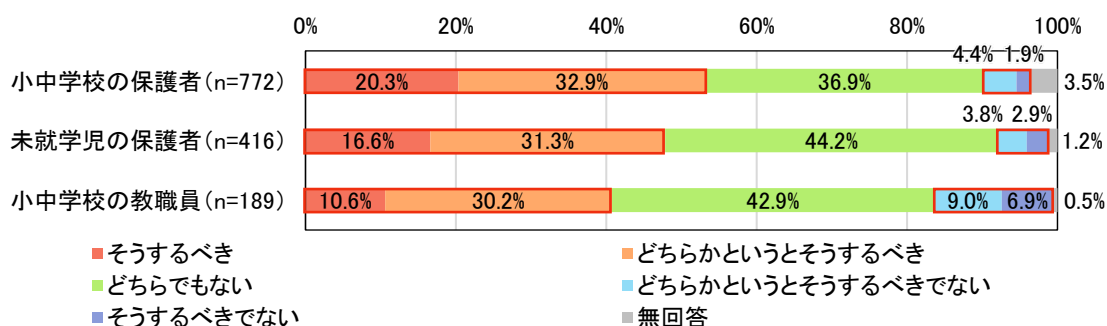
- 『現在ある地域コミュニティに配慮し、同一の中学校区で隣接した小学校同士の再編・統合の検討を進める』について、「そうすべき」「どちらかと言えばそうすべき」を合わせた賛成意見が小中学校保護者の5割、未就学児保護者の4割、小中学校教職員の6割を占め、「そうすべきでない」、「どちらかというところそうすべきでない」を合わせた反対意見を上回っています。

【同一の中学校区で隣接した小学校同士の再編・統合の検討を進める】



- 『義務教育学校等の導入を踏まえ、適正配置を検討する』について、「そうすべき」「どちらかと言えばそうすべき」を合わせた賛成意見が小中学校保護者の5割、未就学児保護者の4割、小中学校教職員の4割を占め、「そうすべきでない」、「どちらかというところそうすべきでない」を合わせた反対意見を上回っています。

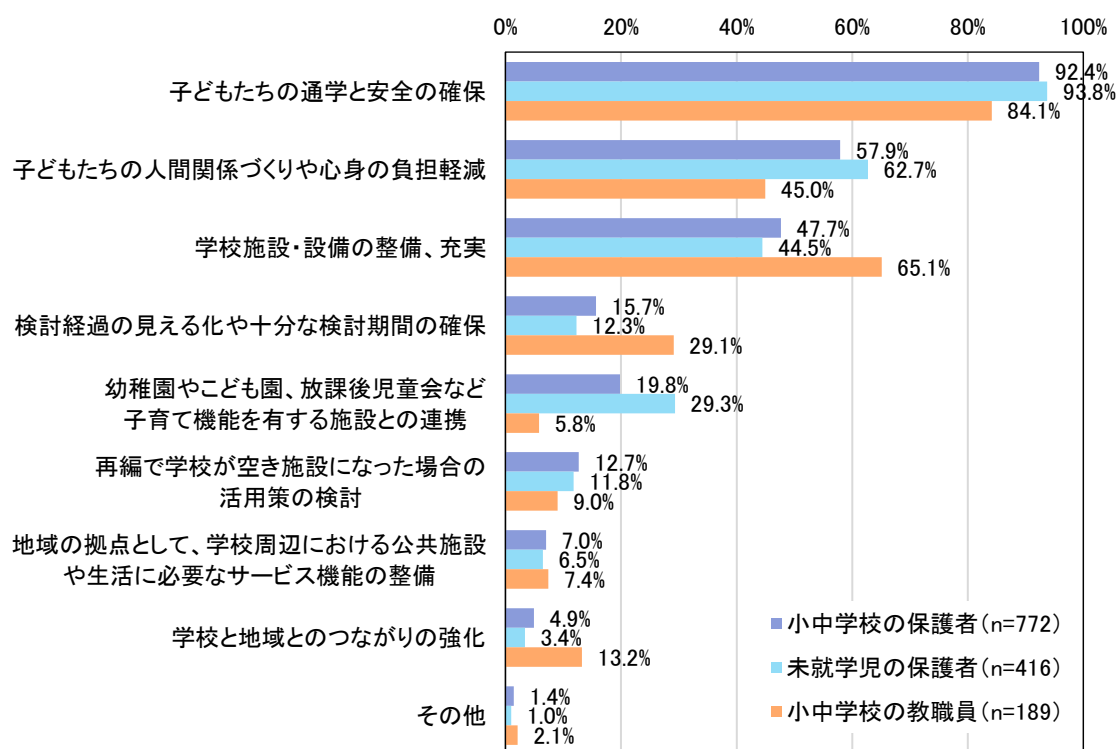
【義務教育学校等の導入を踏まえて検討する】



(5) 配慮する点 <小中学校保護者問9/未就学児保護者問11/小中学校教職員問8>

- ・小中学校保護者の取組を進めるにあたって配慮する点は、「子どもたちの通学と安全の確保」が713人（92.4%）と最も多く、次いで「子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減」（447人、57.9%）、「学校施設・設備の整備、充実」（368人、47.7%）の順となっています。
- ・未就学児保護者の取組を進めるにあたって配慮する点は、「子どもたちの通学と安全の確保」が390人（93.8%）と最も多く、次いで「子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減」（261人、62.7%）、「学校施設・設備の整備、充実」（185人、44.5%）の順となっています。
- ・小中学校教職員の取組を進めるにあたって配慮する点は、「子どもたちの通学と安全の確保」が159人（84.1%）と最も多く、次いで「学校施設・設備の整備、充実」（123人、65.1%）、「子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減」（85人、45.0%）の順となっています。

【配慮する点（複数回答）】

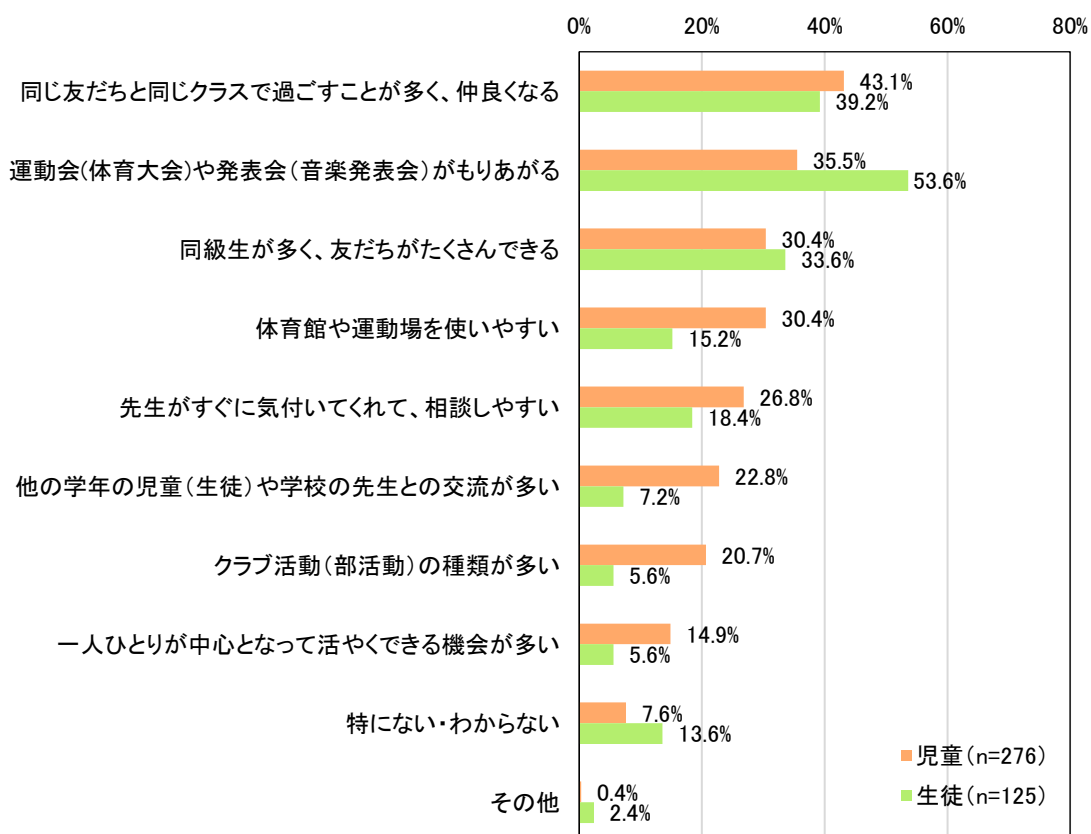


3. 利用している学校について <児童・生徒/小中学校教職員>

(1) 「よいな」と思うもの <児童問3/生徒問3>

- ・児童が通学している学校の「よいな」と思うものは「同じ友だちと同じクラスで過ごすことが多く、仲良くなる」が119人（43.1%）と最も多く、次いで「運動会や発表会がもりあがる」が98人（35.5%）、「同級生が多く、友だちがたくさんできる」、「体育館や運動場を使いやすい」がそれぞれ84人（30.4%）となっています。
- ・生徒は「体育大会や音楽発表会がもりあがる」が67人（53.6%）と最も多く、次いで「同じ友達と同じクラスで過ごすことが多く、仲良くなる」が49人（39.2%）、「同級生が多く、友だちがたくさんできる」が42人（33.6%）となっています。

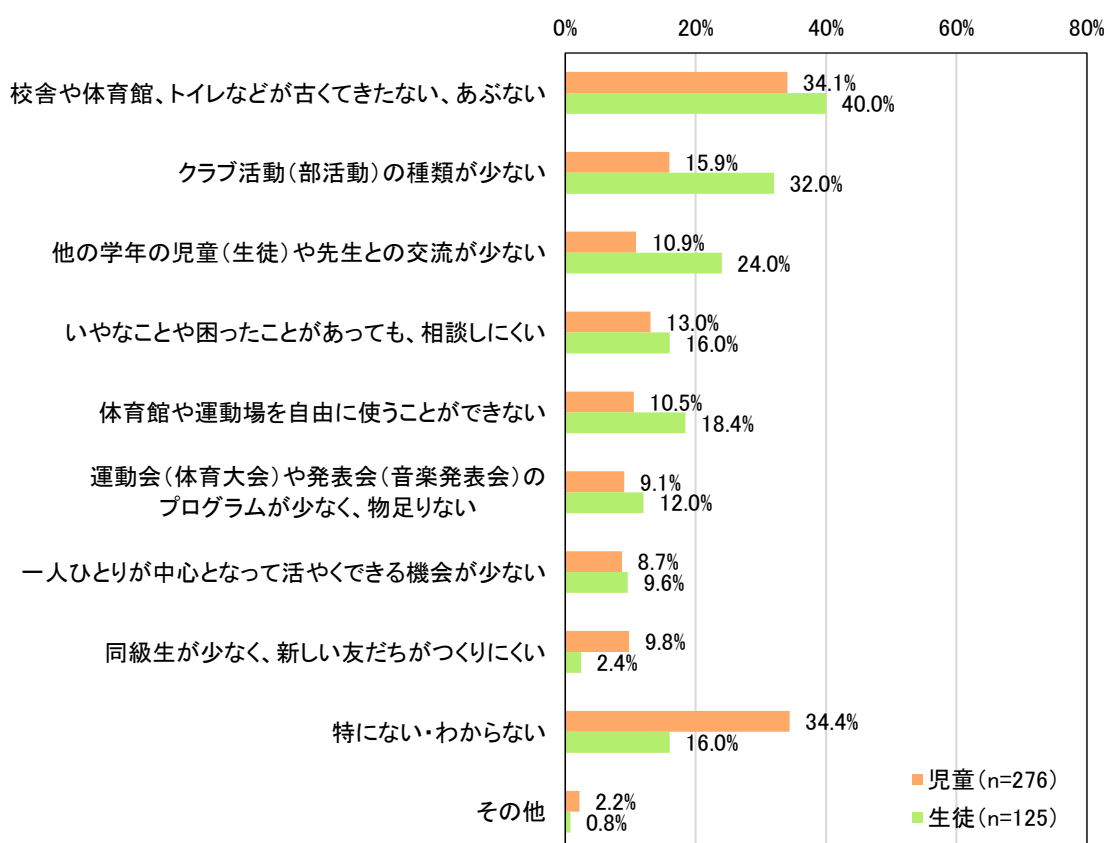
【「よいな」と思うもの（複数回答）】



(2) 「よくないな」と思うもの <児童問4/生徒問4>

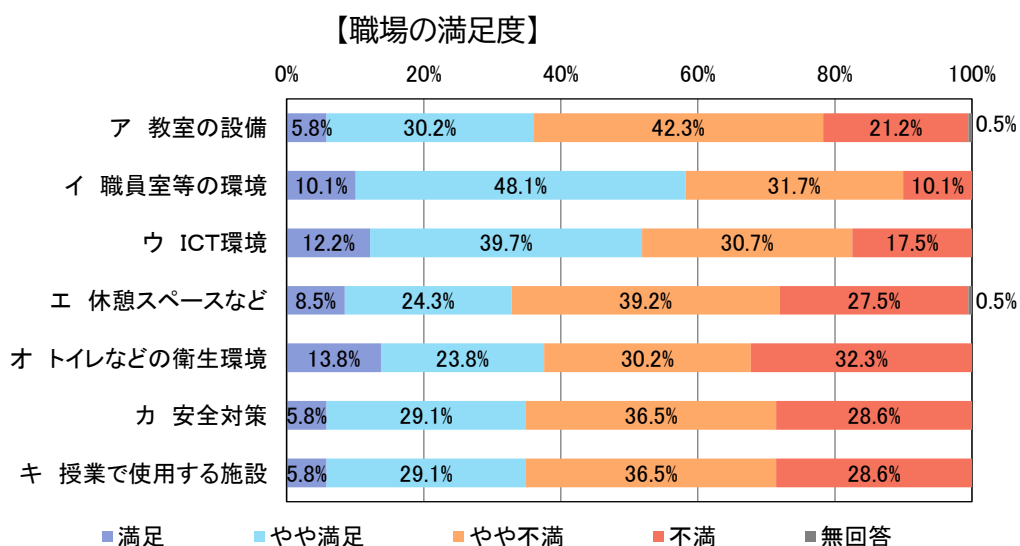
- ・児童が学校の「よくないな」と思うものは「特にない・わからない」が95人(34.4%)と最も多く、次いで「校舎や体育館、トイレなどが古くてきたない、あぶない」が94人(34.1%)となっています。
- ・生徒は「校舎や体育館、トイレなどが古くてきたない、あぶない」が50人(40.0%)と最も多く、次いで「部活動の種類が少ない」が40人(32.0%)、「他の学年の生徒や先生との交流が少ない」が30人(24.0%)となっています。

【「よくないな」と思うもの（複数回答）】



(3) 職場の満足度 <小中学校教職員問2>

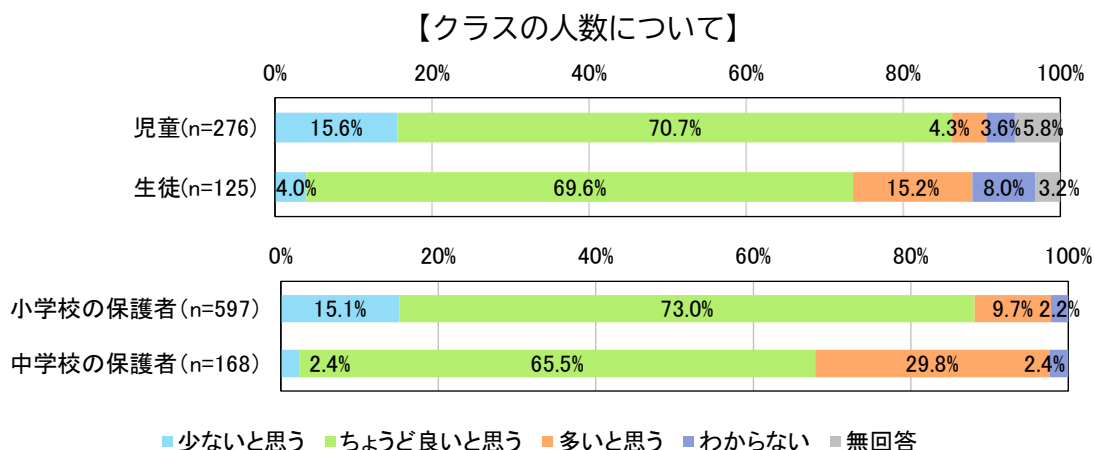
- ・小中学校教職員が働く場として勤務している学校を見た場合、「イ 職員室等の環境」、「ウ ICT 環境」については「満足」「やや満足」を合わせた回答が半数を占め、不満意見をやや上回っています。
- ・一方で「ア 教室の設備」、「エ 休憩スペースなど」、「オ トイレなどの衛生環境」、「カ 安全対策」、「キ 授業で使用する施設（特別教室や体育館など）」については「やや不満」「不満」を合わせた回答が6割を占め、満足意見を上回っています。



4. 学校の規模について <児童・生徒/小中学校保護者/未就学児保護者/小中学校教職員>

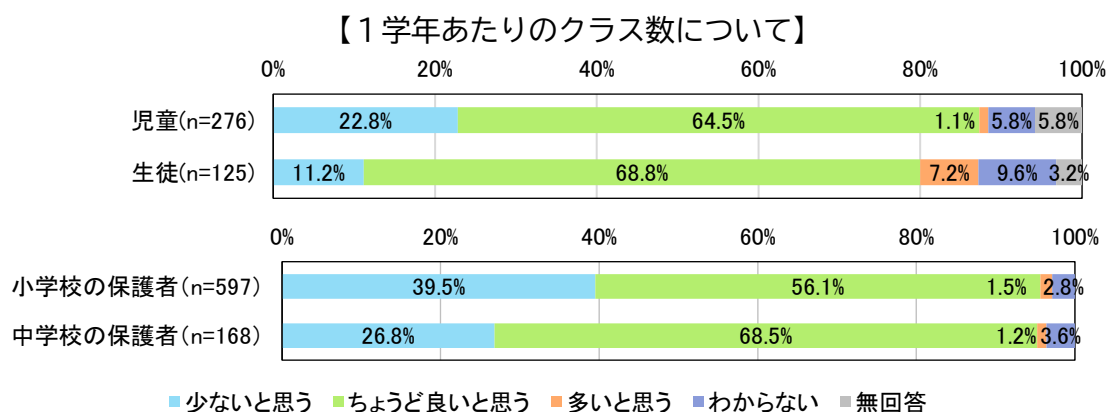
(1) 現在のクラスの人数の感じ方 <児童問5/生徒問5/小中学校保護者問2>

- ・クラスの人数の感じ方について、児童、生徒、小学校の保護者、中学校の保護者それぞれ「ちょうどいいと思う」(児童 195 人 (70.7%)、生徒 87 人 (69.6%)、小学校の保護者 436 人 (73.0%)、中学校の保護者 110 人 (65.5%)) が最も多くなっています。



(2) 現在の学年のクラス数の感じ方 <児童問6/生徒問6/小中学校保護者問3>

- ・1 学年あたりのクラス数の感じ方について、児童、生徒、小学校の保護者、中学校の保護者それぞれ「ちょうどいいと思う」(児童 178 人 (64.5%)、生徒 86 人 (68.8%)、小学校の保護者 335 人 (56.1%)、中学校の保護者 115 人 (68.5%)) が最も多くなっています。
- ・また、児童・生徒に比べ、小中学校保護者は「少ないと思う」が多くなっています。

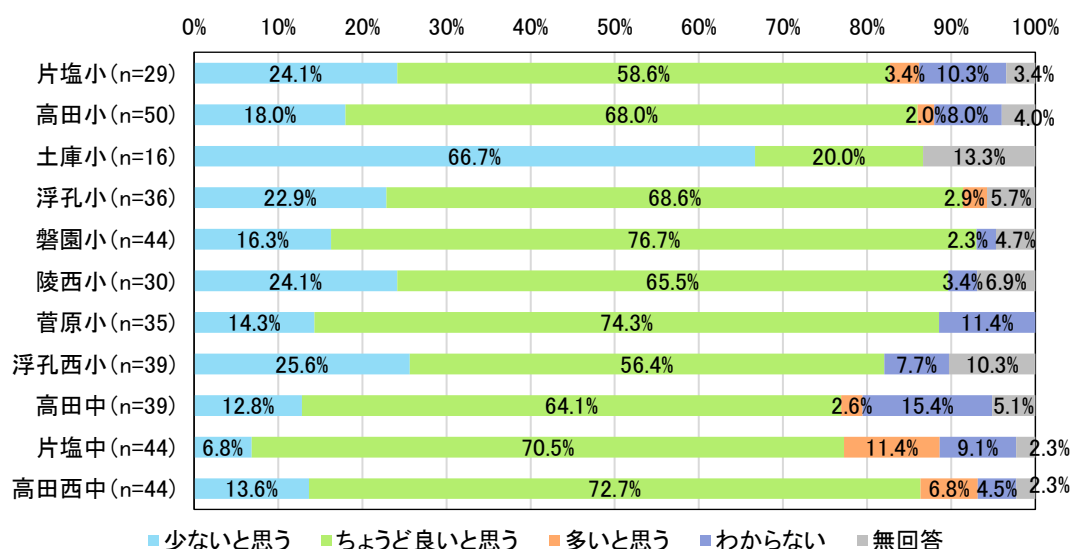


<学校別クラス数の感じ方>

【児童・生徒】

- ・児童・生徒の1学年当たりのクラス数の感じ方について、土庫小学校を除く全ての小中学校で「ちょうどいいと思う」が最も多く、一方で土庫小学校では「少ないと思う」が10人（66.7%）と最も多くなっています。

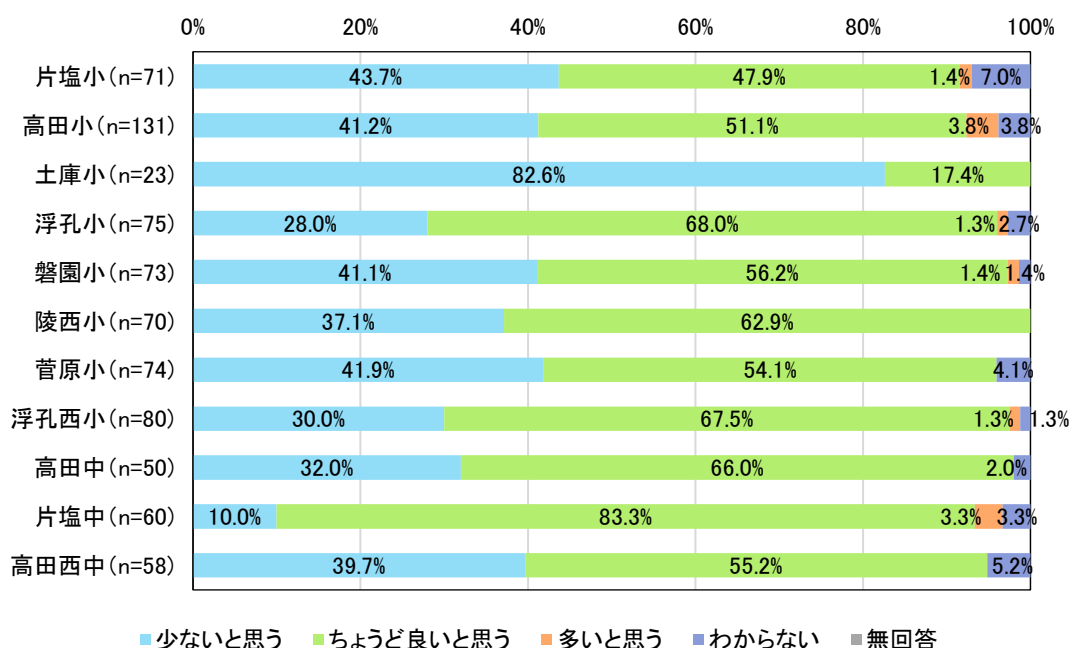
【学校別×クラス数の感じ方】



【小中学校保護者】

- ・小中学校保護者の1学年あたりのクラス数の感じ方について、土庫小学校を除く全ての小中学校で「ちょうどいいと思う」が最も多く、一方で土庫小学校では「少ないと思う」が19人（82.6%）と最も多くなっています。
- ・また、浮孔小学校、片塩中学校を除き、全ての学校で「少ないと思う」が3割以上を占めています。

【学校別×クラス数の感じ方】

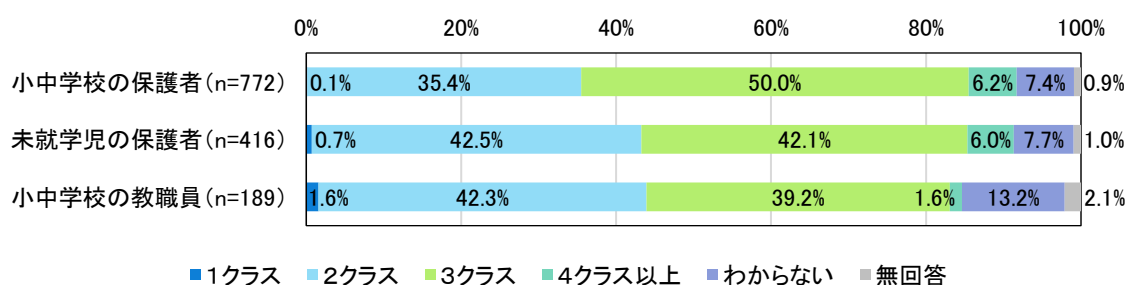


(3) 望ましい1学年あたりのクラス数について

①小学校 <小中学校保護者問4-1/未就学児保護者問6-1/小中学校教職員問3-1>

- ・小中学校保護者の望ましい小学校の1学年あたりのクラス数は「3クラス」が386人(50.0%)と最も多く、次いで「2クラス」が273人(35.4%)となっています。
- ・未就学児保護者は「2クラス」が177人(42.5%)と最も多く、次いで「3クラス」が175人(42.1%)となっています。
- ・小中学校教職員は「2クラス」が80人(42.3%)と最も多く、次いで「3クラス」が74人(39.2%)となっています。

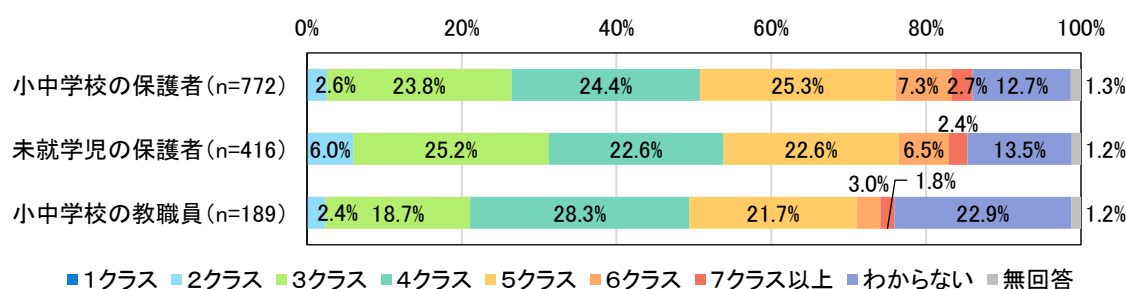
【小学校の望ましい1学年あたりのクラス数】



②中学校 <小中学校保護者問4-2/未就学児保護者問6-2/小中学校教職員問3-2>

- ・小中学校保護者の望ましい中学校の1学年あたりのクラス数は「5クラス」が195人(25.3%)と最も多く、次いで「4クラス」が188人(24.4%)、「3クラス」が184人(23.8%)となっています。
- ・未就学児保護者は「3クラス」が105人(25.2%)と最も多く、次いで「4クラス」、「5クラス」がそれぞれ94人(22.6%)となっています。
- ・小中学校教職員は「4クラス」が54人(28.3%)と最も多く、次いで「5クラス」が41人(21.7%)、「3クラス」が35人(18.7%)となっています。

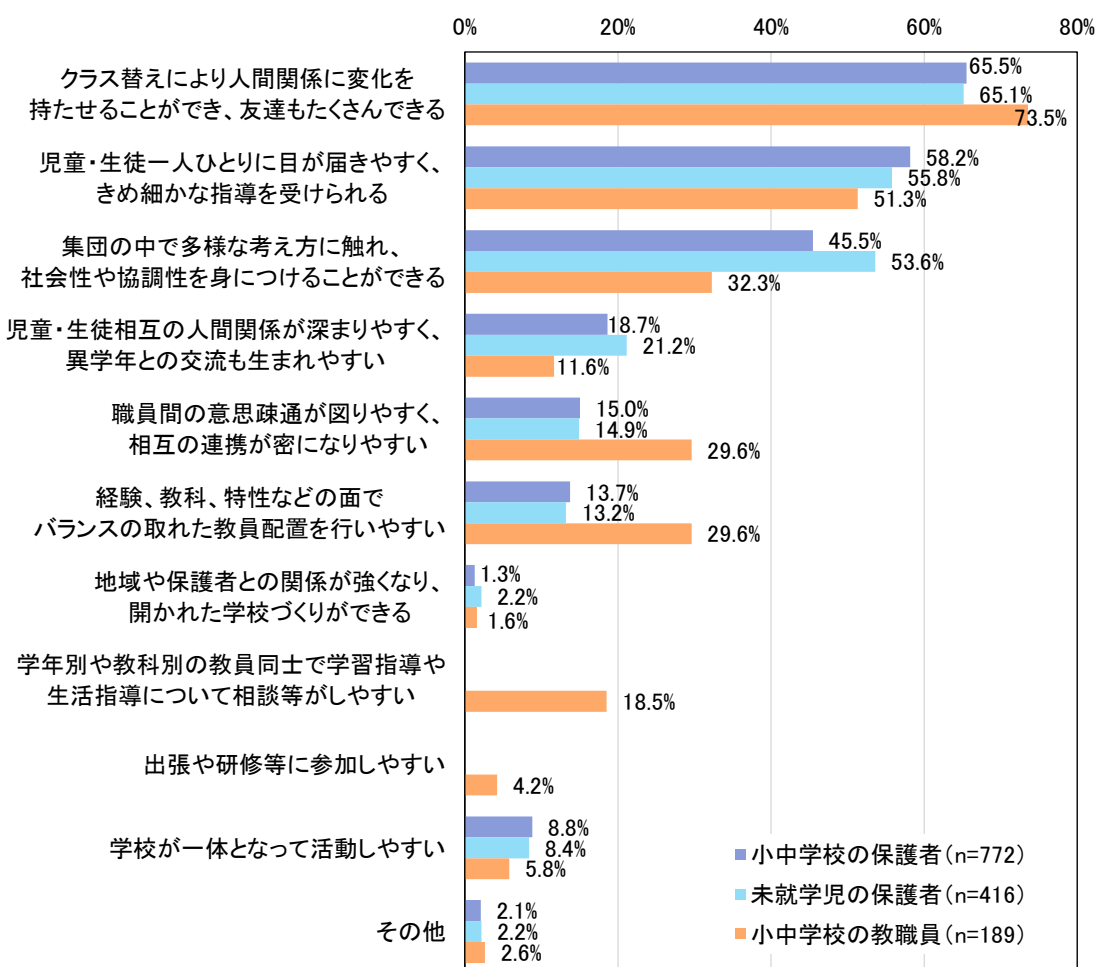
【中学校の望ましい1学年あたりのクラス数】



(4)(3)の理由 <小中学校保護者問4-3/未就学児保護者問6-3/小中学校教職員問3-3>

- ・(3)の理由は小中学校保護者、未就学児保護者、小中学校教職員それぞれで「クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる」が最も多く、次いで「児童・生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導を受けられる」、「集団の中で多様な考え方に触れ、社会性や協調性を身につけることができる」の順となっています。
- ・小中学校教職員は「職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい」、「経験、教科、特性などの面でバランスの取れた教員配置を行いやすい」(56人、29.6%)が小中学校保護者、未就学児保護者に比べ多くなっています。

【望ましい1学年あたりのクラス数の理由】



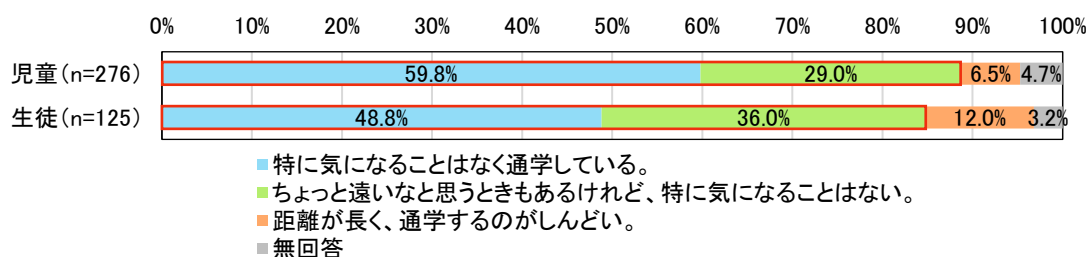
※「学年別や教科別の教員同士で学習指導や生活指導について相談等がしやすい」、「出張や研修等に参加しやすい」は小中学校教職員のみの選択肢

5. 通学の方考え方 <児童・生徒/小中学校保護者/未就学児保護者>

(1) 通学距離・通学時間の感じ方 <児童問7/生徒問7>

- ・児童の通学距離・通学時間の感じ方は「特に気になることはなく通学している。」が165人(59.8%)と最も多く、次いで「ちょっと遠いと思うときもあるけれど、特に気になることはない。」が80人(29.0%)、「距離が長く、通学するのがしんどい。」が18人(6.5%)となっています。
- ・生徒は「特に気になることはなく通学している。」が61人(48.8%)と最も多く、次いで「ちょっと遠いと思うときもあるけれど、特に気になることはない。」が45人(36.0%)、「距離が長く、通学するのがしんどい。」が15人(12.0%)となっています。

【通学距離・通学時間の感じ方】

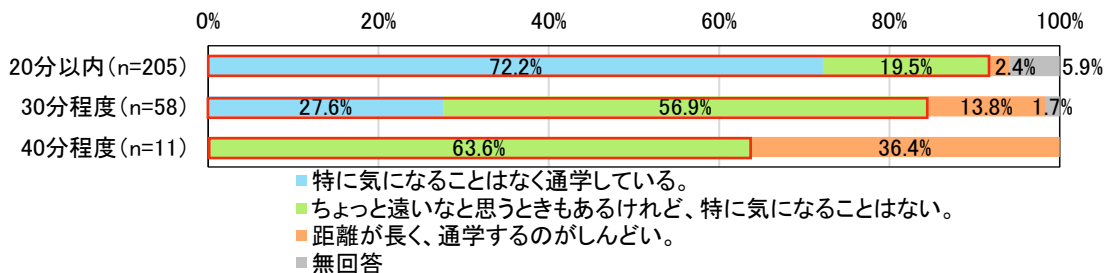


<通学時間別通学距離・通学時間の感じ方>

【児童】

- ・児童の通学距離・通学時間の感じ方は「特に気になることはなく通学している。」、「ちょっと遠いと思うときもあるけれど、特に気になることはない。」を合わせた回答が「20分以内」で9割、「30分程度」で8割、「40分程度」で6割を占めています。

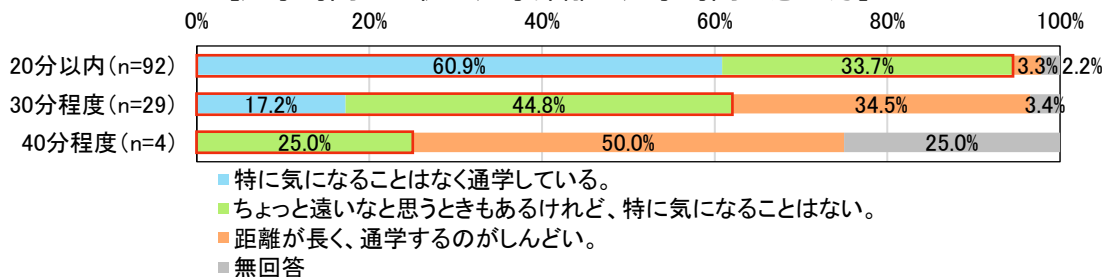
【通学時間×児童の通学距離・通学時間の感じ方】



【生徒】

- ・生徒の通学距離・通学時間の感じ方は「特に気になることはなく通学している。」、「ちょっと遠いと思うときもあるけれど、特に気になることはない。」を合わせた回答が「20分以内」で9割、「30分程度」で6割、「40分程度」で2割を占めています。

【通学時間×生徒の通学距離・通学時間の感じ方】

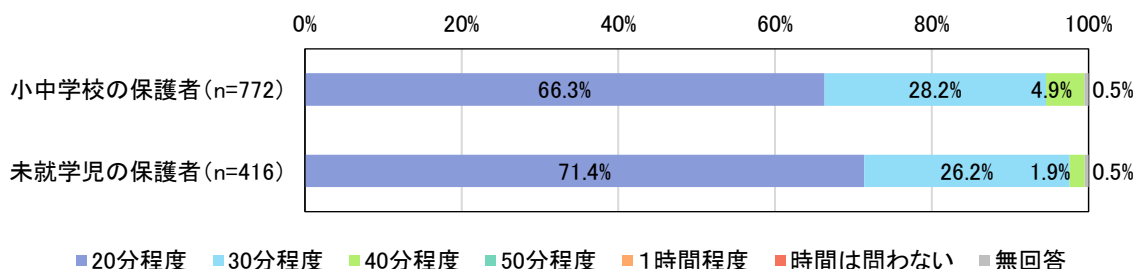


(2) 許容できる通学時間 <小中学校保護者問10/未就学児保護者問12>

①小学校

- ・小中学校保護者の小学校の許容できる通学距離は、「20 分程度」が 512 人（66.3%）、「30 分程度」が 218 人（28.2%）と 30 分程度までで 9 割以上を占めています。
- ・未就学児保護者は、「20 分程度」が 297 人（71.4%）、「30 分程度」が 109 人（26.2%）と 30 分程度までで 9 割以上を占めています。

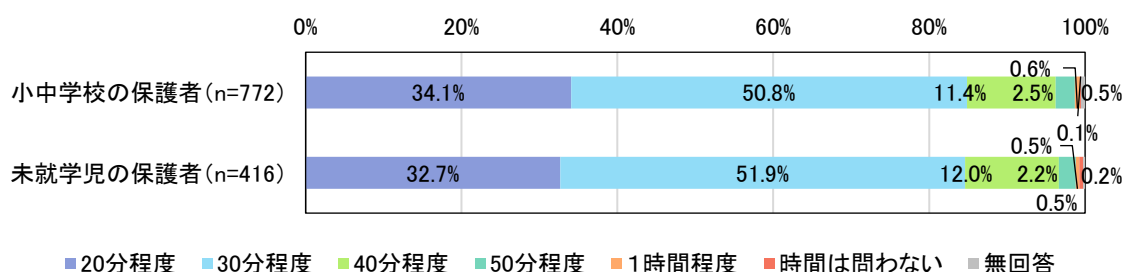
【小学校の許容できる通学距離】



②中学校

- ・小中学校保護者の中学校の許容できる通学距離は、「20 分程度」が 263 人（34.1%）、「30 分程度」が 392 人（50.8%）と 30 分程度までで 8 割を占めています。
- ・未就学児保護者は、「20 分程度」が 136 人（32.7%）、「30 分程度」が 216 人（51.9%）と 30 分程度までで 8 割を占めています。

【中学校の許容できる通学距離】

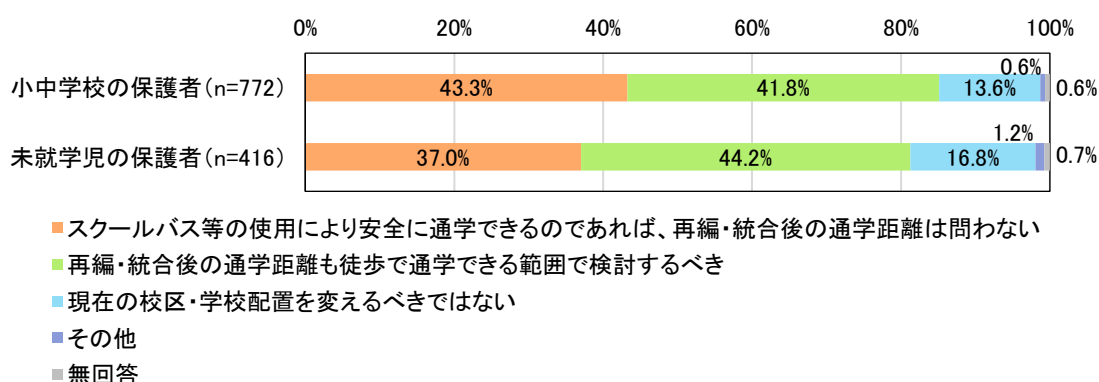


(3) 通学方法と校区の考え方 <小中学校保護者問11/未就学児保護者問13>

①小学校

- ・小中学校保護者の小学校の通学方法と校区の考え方は「スクールバス等の使用により安全に通学できるのであれば、再編・統合後の通学距離は問わない」が334人(43.3%)、「再編・統合後の通学距離も徒歩で通学できる範囲で検討すべき」が323人(41.8%)、「現在の校区・学校配置を変えるべきではない」が105人(13.6%)となっています。
- ・未就学児保護者は「スクールバス等の使用により安全に通学できるのであれば、再編・統合後の通学距離は問わない」が154人(37.0%)、「再編・統合後の通学距離も徒歩で通学できる範囲で検討すべき」が184人(44.2%)、「現在の校区・学校配置を変えるべきではない」が70人(16.8%)となっています。

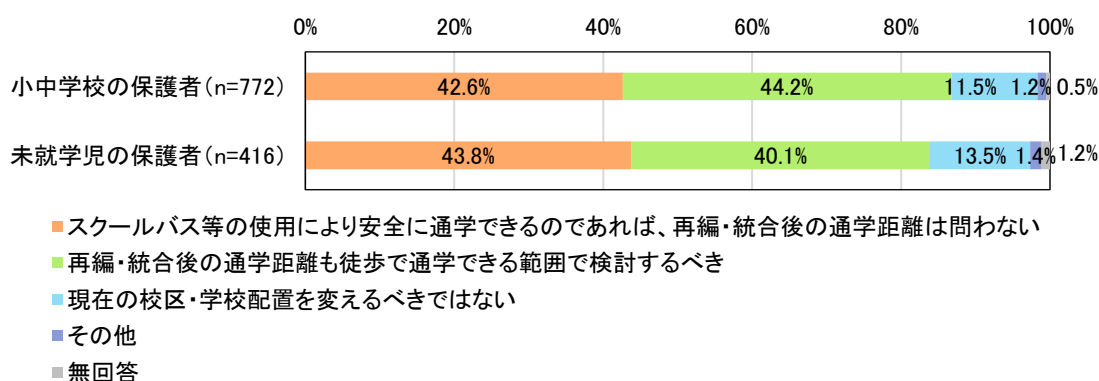
【小学校の通学方法と校区の考え方】



②中学校

- ・小中学校保護者の中学校の通学方法と校区の考え方は「スクールバス等の使用により安全に通学できるのであれば、再編・統合後の通学距離は問わない」が329人(42.6%)、「再編・統合後の通学距離も徒歩で通学できる範囲で検討すべき」が341人(44.2%)、「現在の校区・学校配置を変えるべきではない」が89人(11.5%)となっています。
- ・未就学児保護者は「スクールバス等の使用により安全に通学できるのであれば、再編・統合後の通学距離は問わない」が182人(43.8%)、「再編・統合後の通学距離も徒歩で通学できる範囲で検討すべき」が167人(40.1%)、「現在の校区・学校配置を変えるべきではない」が56人(13.5%)となっています。

【中学校の通学方法と校区の考え方】

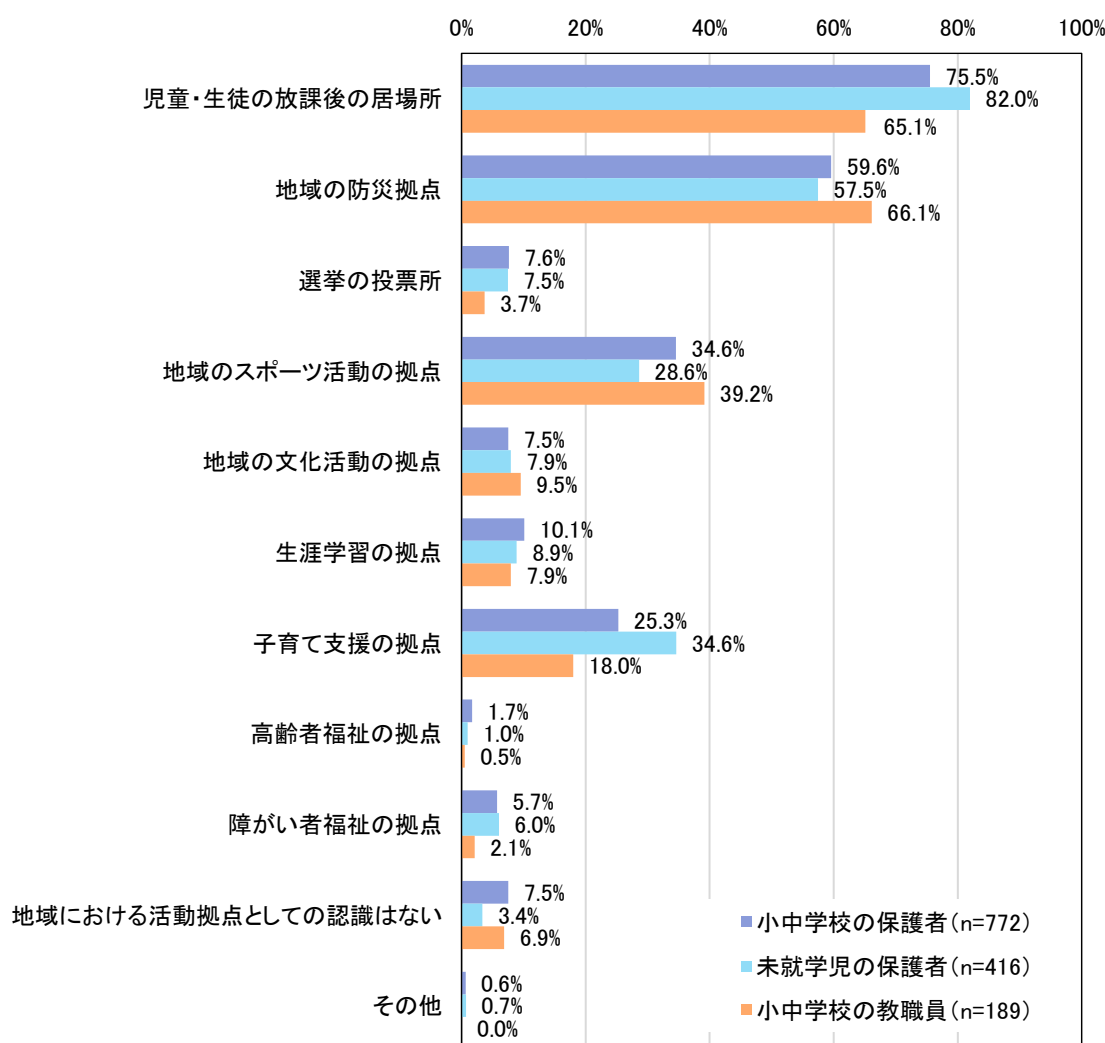


6. 地域における学校施設のあり方

(1) 学校施設の役割 <小中学校保護者問12/未就学児保護者問14/小中学校教職員問9>

- ・小中学校保護者のこれまでの学校施設の地域における役割は「児童・生徒の放課後の居場所」が583人（75.5%）と最も多く、次いで「地域の防災拠点」が460人（59.6%）、「地域のスポーツ活動の拠点」が267人（34.6%）となっています。
- ・未就学児保護者は「児童・生徒の放課後の居場所」が341人（82.0%）と最も多く、次いで「地域の防災拠点」が239人（57.5%）、「子育て支援の拠点」が144人（34.6%）となっています。
- ・小中学校教職員は「地域の防災拠点」が125人（66.1%）、と最も多く、次いで「児童・生徒の放課後の居場所」が123人（65.1%）、「地域のスポーツ活動の拠点」が74人（39.2%）となっています。

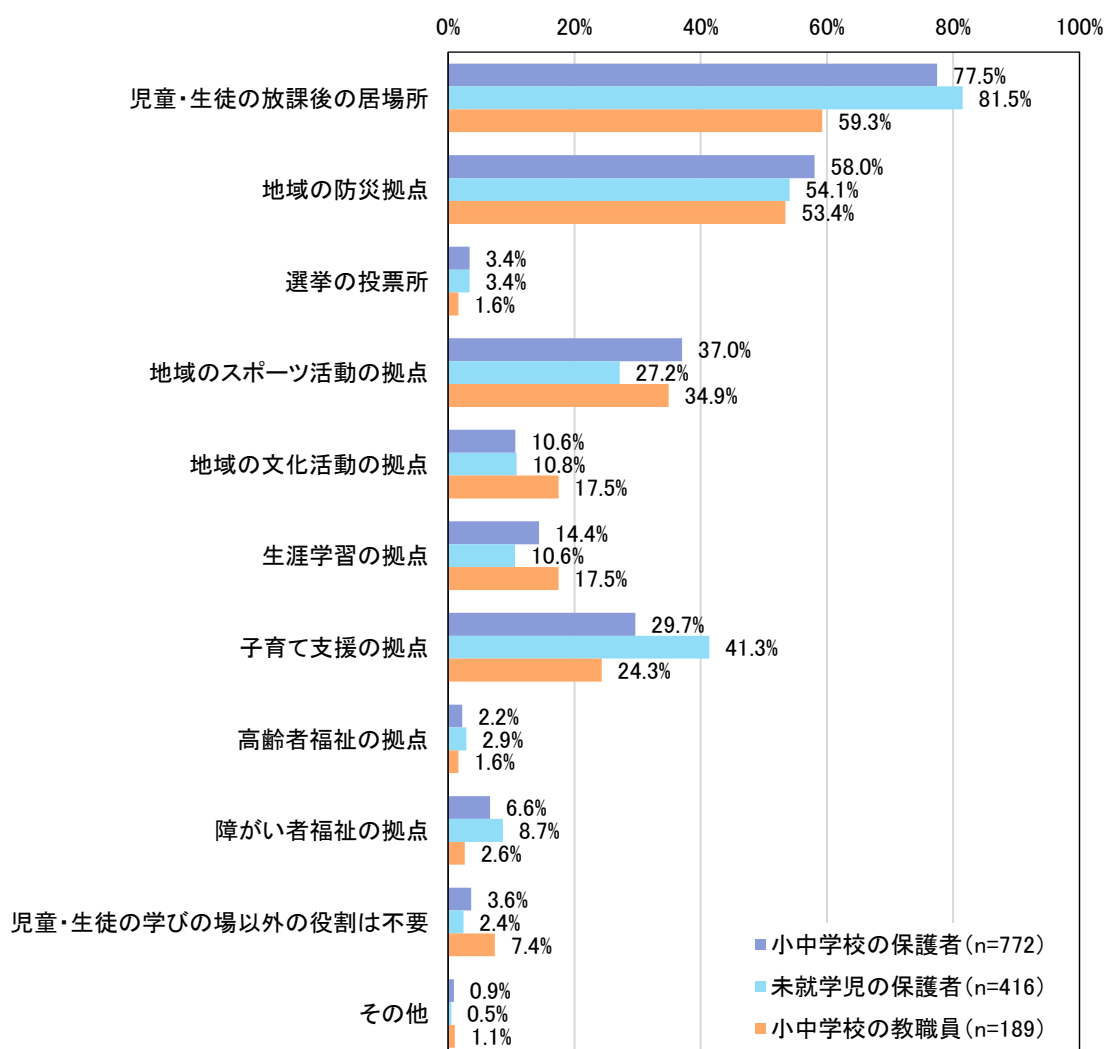
【学校の役割（複数回答）】



(2) 期待する役割 <小中学校保護者問13/未就学児保護者問15/小中学校教職員問10>

- ・小中学校保護者の地域における学校施設に期待する役割は「児童・生徒の放課後の居場所」が598人(77.5%)と最も多く、次いで「地域の防災拠点」が448人(58.0%)、「地域のスポーツ活動の拠点」が286人(37.0%)となっています。
- ・未就学児保護者は「児童・生徒の放課後の居場所」が339人(81.5%)と最も多く、次いで「地域の防災拠点」が225人(54.1%)、「子育て支援の拠点」が172人(41.3%)となっています。
- ・小中学校教職員は「児童・生徒の放課後の居場所」が112人(59.3%)、と最も多く、次いで「地域の防災拠点」が101人(53.4%)、「地域のスポーツ活動の拠点」が66人(34.9%)となっています。

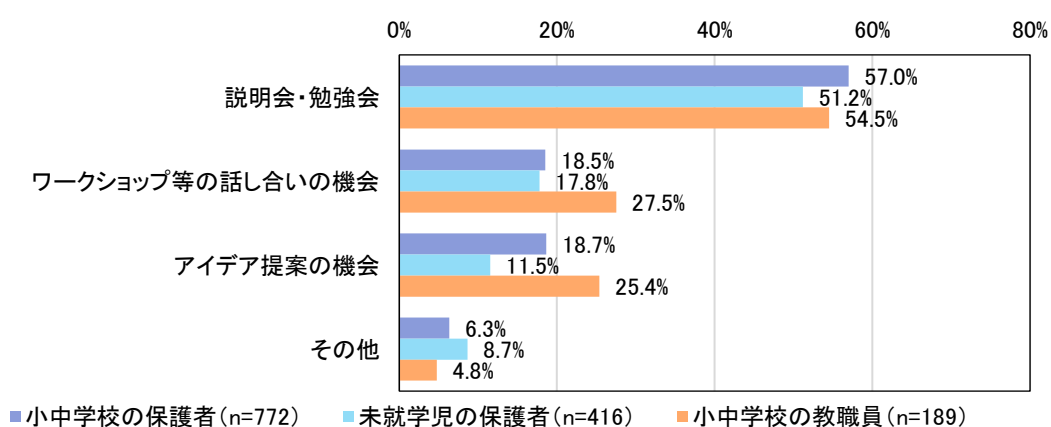
【期待する学校の役割(複数回答)】



(3) 参加したい取組 <小中学校保護者問14/未就学児保護者問16/小中学校教職員問11>

- ・小中学校保護者の参加したい取組は「説明会・勉強会」が440人（57.0%）と最も多くなっています。また、「ワークショップ等の話し合いの機会」は143人（18.5%）、「アイデア提案の機会」は144人（18.7%）となっています。
- ・未就学児保護者は「説明会・勉強会」が213人（51.2%）と最も多くなっています。また、「ワークショップ等の話し合いの機会」は74人（17.8%）、「アイデア提案の機会」は48人（11.5%）となっています。
- ・小中学校教職員は「説明会・勉強会」が103人（54.5%）と最も多くなっています。また、「ワークショップ等の話し合い」が52人（27.5%）、「アイデア提案の機会」が48人（25.4%）となっています。

【参加したい取組（複数回答）】

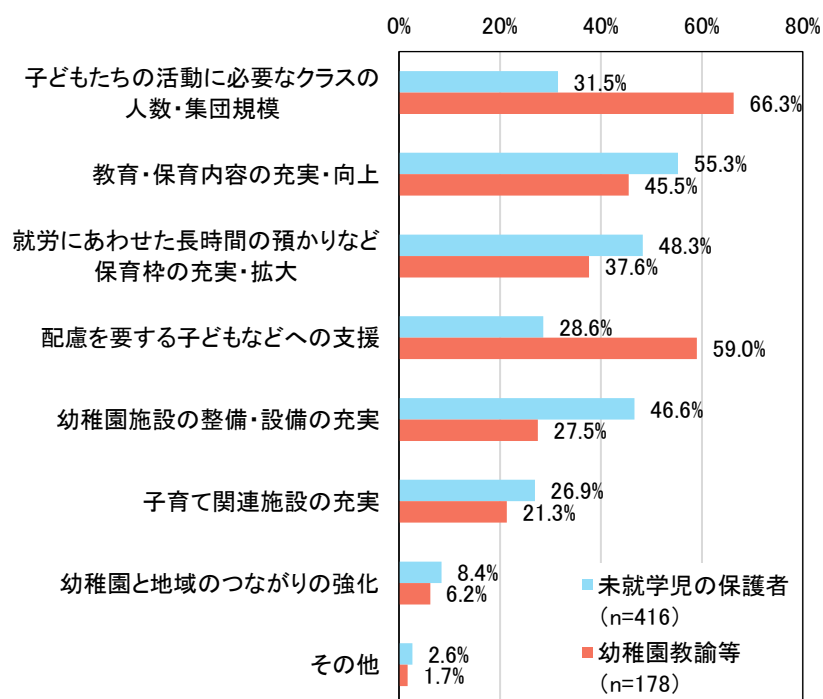


7. 市立幼稚園について <未就学児保護者/幼稚園教諭等>

(1) 今後のあり方について期待する点 <未就学児保護者問3/幼稚園教諭等問4>

- ・未就学児保護者の市立幼稚園に期待することは「教育・保育内容の充実・向上」が230人（55.3%）と最も多く、次いで「就労時間に合わせた長時間の預かりなど保育枠の充実・拡大」が201人（48.3%）、「幼稚園施設の整備・設備の充実」が194人（46.6%）となっています。
- ・幼稚園教諭等は「子どもたちの活動に必要なクラスの人数・集団規模」が118人（66.3%）、「配慮を要する子どもなどへの支援」が105人（59.0%）、「教育・保育内容の充実」が81人（45.5%）となっています。

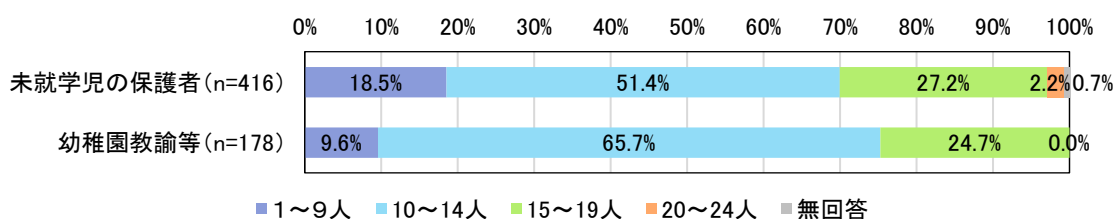
【市立幼稚園に期待すること（複数回答）】



(2) 望ましい1クラスあたりの人数 <未就学児問4-1,2,3・幼稚園問2-1,2,3>

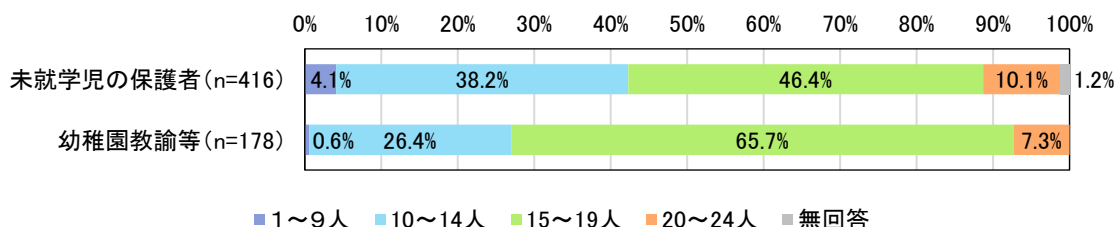
- ・望ましい1クラスあたりの人数について、3歳児では未就学児保護者、幼稚園教諭等ともに「10～14人」が最も多く、未就学児保護者が214人（51.4%）、幼稚園教諭等が117人（65.7%）となっています。

【3歳児の望ましい1クラスあたりの人数】



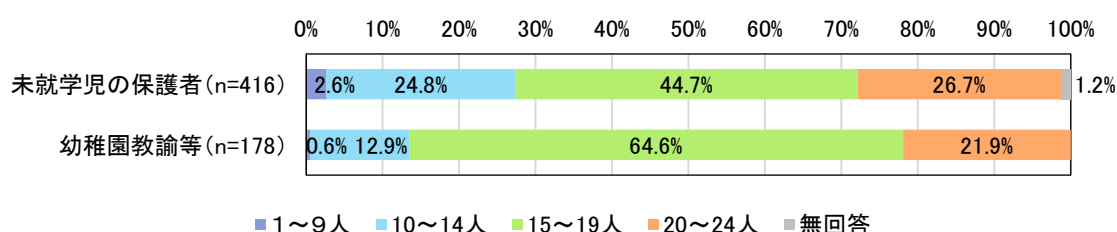
- ・4歳児では未就学児保護者、幼稚園教諭等ともに「15～19人」が最も多く、未就学児保護者が193人（46.4%）、幼稚園教諭等が117人（65.7%）となっています。

【4歳児の望ましい1クラスあたりの人数】



- ・5歳児では未就学児保護者、幼稚園教諭等ともに「15～19人」が最も多く、未就学児保護者が186人（44.7%）、幼稚園教諭等が115人（64.6%）となっています。

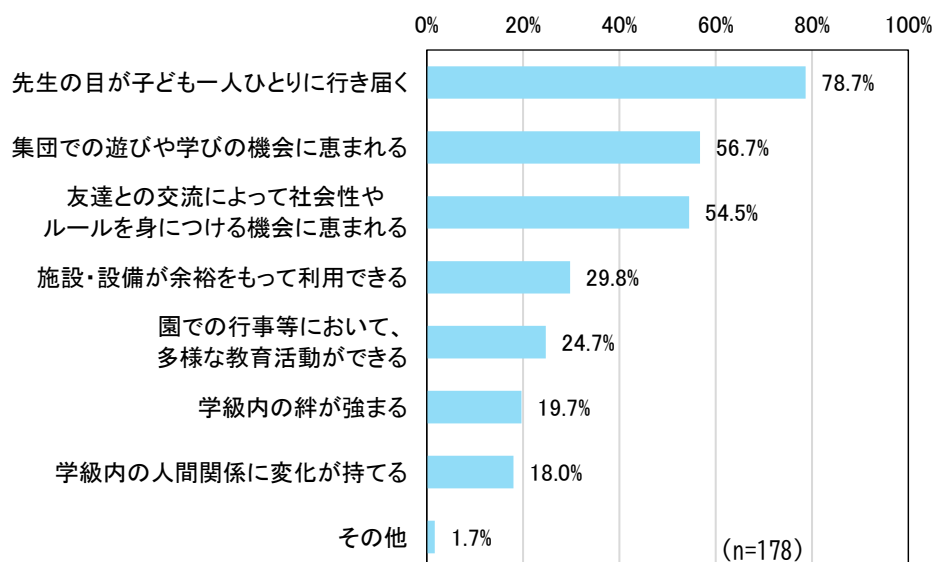
【5歳児の望ましい1クラスあたりの人数】



(3)(2)を考える上で重視した点 <幼稚園教諭等問2-4>

- ・幼稚園教諭等は、上記の回答を選んだ理由について「先生が目子ども一人ひとりに行き届く」が140人（78.7%）と最も多く、次いで「集団での遊びや学びの機会に恵まれる」が101人（56.7%）、「友達との交流によって社会性やルールを身につける機会に恵まれる」が97人（54.5%）となっています。

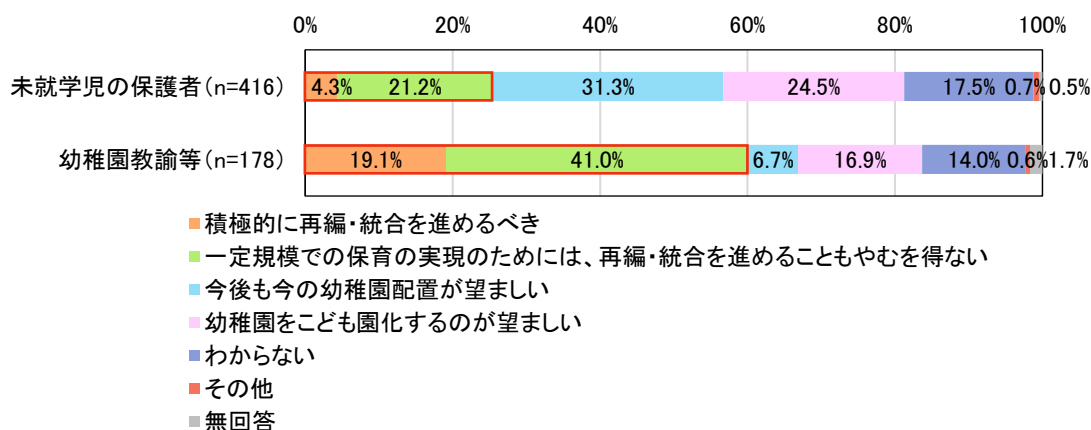
【望ましい1クラスあたりの人数の理由（複数回答）】



(4) 市立幼稚園のあり方について <未就学児問5/幼稚園教諭等問3>

- ・未就学児保護者は、市立幼稚園のあり方について「積極的に再編・統合を進めるべき」(18人、4.3%)、「一定規模での保育の現実のためには、再編・統合を進めることもやむを得ない」(88人、21.2%)を合わせた再編・統合への賛成意見は2割を占めているのに対し「今後も今の幼稚園規模が望ましい」が130人(31.3%)となっています。また、「こども園化するの望ましい」は102人(24.5%)となっています。
- ・幼稚園教諭等は「積極的に再編・統合を進めるべき」(34人、19.1%)、「一定規模での保育の現実のためには、再編・統合を進めることもやむを得ない」(73人、41.0%)を合わせた再編・統合への賛成意見は6割を占めているのに対し「今後も今の幼稚園規模が望ましい」が12人(6.7%)となっています。また、「こども園化するの望ましい」は30人(16.9%)となっています。

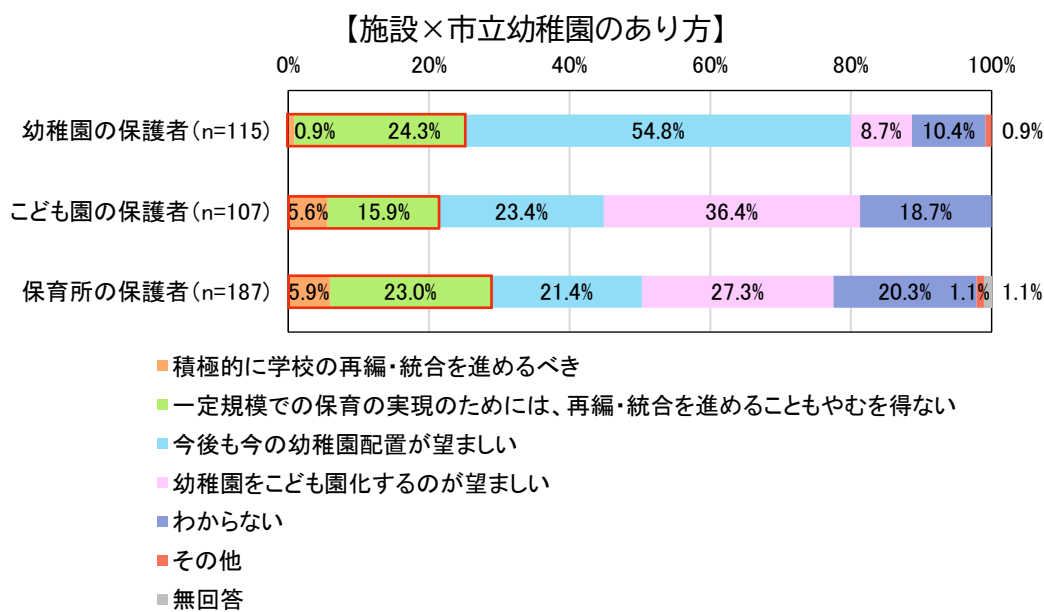
市立幼稚園のあり方



<利用施設別市立幼稚園のあり方>

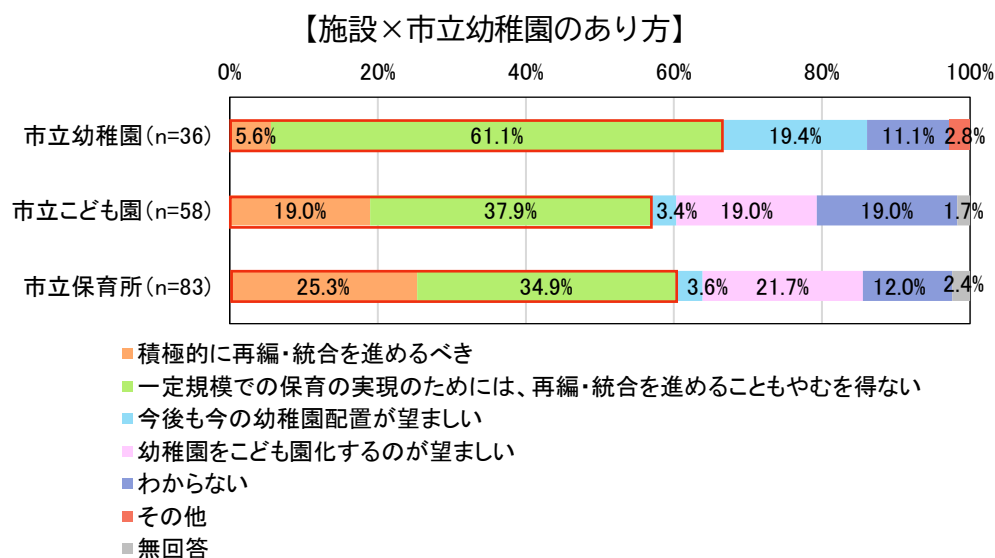
【未就学児保護者】

- ・市立幼稚園のあり方について、幼稚園の再編・統合を進めることに賛成する意見は全ての施設利用者の2割となっている一方で、反対する意見は幼稚園利用者の5割、こども園利用者、保育所のそれぞれ2割を占めています。また「こども園化するのが望ましい」がこども園利用者の3割、保育所利用者の2割を占めています。



【幼稚園教諭等】

- ・市立幼稚園のあり方について、幼稚園の再編・統合を進めることに賛成する意見は幼稚園、保育所利用者の6割、こども園利用者の5割となっている一方で、反対する意見は幼稚園利用者の1割を占め、こども園、保育所利用者の1割未満となっています。また「こども園化するの望ましい」がこども園利用者の1割、こども園利用者の2割を占めています。



自由意見(市民)

市民アンケートの自由意見は 149 名の回答が得られました。

自由記述に基づき意見の内容を分類すると、以下の通りとなります。

- ・小中学校の再編について（賛成/反対その他、配慮する点）：117 件
 - ・再編や統合は必要、どちらかと言えば賛成：6 件
 - ・再編や統合には反対：5 件
 - ・通学や校区について：49 件
 - ・その他配慮する点など：56 件
- ・幼保施設の再編について：1 件
- ・教育内容や学校施設の充実について：12 件
- ・地域における学校施設・跡地利用について：8 件
- ・今後の進め方、周知について：16 件
- ・子育て支援・まちづくりについて：19 件
- ・その他意見：13 件

自由意見一覧

小中学校の再編について（117 件）
再編や統合は必要、どちらかと言えば賛成等（6 件）
・統合しながら学校では集団生活を経験させてほしい。自宅より遠くなり、安全面等で問題が出ますが、その子達を市民の皆さんが見守れる体制を造れるよう大人の皆さんが協力することを望みます。 ・今ある枠にとらわれず、再編をぜひ進めてほしい。 ・財政状況が厳しい中、持続可能な行政を運営するためには、小中学校の再編は必要なことである。住民に対して、十分な説明責任を果たして、対応すべきである。等
再編や統合には反対等(5 件)
・無闇な統廃合は必要ない。 ・他校との統合により教育の質の低下、児童・保護者のモラルの低下等が懸念されるため、統合には反対。 ・通学困難な児童も出てくるはずと思うので、児童数だけ見て統廃合するのは反対。等
通学・校区について(49 件)
・登下校が遠くなると、子ども達への負担や安全面が心配。再編・統合が必要であれば子ども達の負担にならないよう対策すべき等の意見。(27 件) ・再編・統合するのであればスクールバス等の導入を検討する。等 (12 件) ・校数はそのままに、校区割に偏りが無いのか、この際検証してみる、一つの小学校から違う中学校へ進学するのは子どもにとって負担である、など校区を見直すべき等の意見。(9 件) ・中学校の再編をすすめる場合は、旧の校区割にもどすスタンスで。
幼保施設について(1 件)
・幼稚園の再編に言及があまりされていないが、幼稚園の再編 こども園への移行についても、再編・統合を進める時期である。
再編について、その他配慮する点など(56 件)
・一クラス当たりの人数を 20 人程度にするなど、少人数クラスを推進して欲しい。等（4 件） ・あくまでも子ども中心に据えた統廃合のあり方を考慮していただくことを願います。等子ども達のことを第一優先に考えて進めて欲しいという意見（15 件） ・教職員さんの負担が減るよう、少人数のクラス編成にかえたり担任の数を増やしたりした方がいいと思う。等の教職員の確保や労働環境を考える必要がある等の意見（10 件） ・再編、統合する事によってなるべく親御さんに生じる負担は減らしてもらおう工夫をし、子ども達には負担が減る工夫と同時に我慢強さを習得出来るバランスを考えてもらいたい。 ・小学校と中学校を統合して義務教育学校とすることは大賛成です。大きい子は小さい子を見て、小さい子は大きい子を見て過ごすことで、いじめなどの抑制にもなるのではと思います。また、思いもよらない発見もできるかもしれません。 ・PTA がないといけないというのわかるがなかなか保護者の負担は大きい。もう少し PTA についても考えて頂けたらと思う。 ・もし再編や統合をするのであれば、子供たちがしっかり運動できるように、運動場や体育館が広い学校を活

用してほしい。

- ・少人数のクラスは魅力的ですが、学校全体のクラス数(人数)が少ないと、クラス編成の問題や、興味のあるクラブが無いなど、学校生活に楽しみが見出せない場合も出てきていると感じます。
- ・少数でもキメ細やかな教育が望ましい
- ・義務教育学校に移行するなら、再編・統合に賛成するが、それ以外は検討してもまとまるのに時間がかかると思う。
- ・国が示している小中学校の標準規模というものが、今の少子化の時代に合っていないため、見直すべき。
- ・児童生徒数が減少している実態に驚いた。市内の方全体にお伝えして、もっと皆で考えても良いのではないかとと思う。
- ・現状に驚いている。特に土庫小は深刻な問題だと思う。
- ・学校数を減らすだけを目的とせず、高田市として誇れる学校づくりを目指していただきたい。
- ・大人数に慣れない生徒もいると思うので、小さな、気楽に行けるような教室又は集える場所、人には会いたくない生徒にはリモートで受けられる授業など学校に行けない生徒にも配慮された、再編・統合になればと考えます。
- ・中学校の場所が決まっているので小学校は統合も考えて小学校を減らして学年の人数を増やしても良いのではないか。
- ・社会の仕組みや機能の変化と合わせて学校園の再編の検討をしてほしい。
- ・片塩小学校区は現状、高田中、片塩中に中学進学を期に2分されるが、この現状は学校の再編・統合を進める際に配慮が必要である。
- ・少子化、学校の統合はしかたない。
- ・不登校の生徒が増えないよう、よりよい学校生活がおくれるよう教育のやり方等検討してほしい。
- ・子どもは子ども同士で成長していくものだと思います。子ども同志でたくさんの出会いを作りそこにしつかりと大人がサポートする体制が望ましいのではと考えます。
- ・現実、持続可能なプランを考えてほしいです。
- ・子供が充実した学校生活を送るためにはある程度以上の児童、生徒、先生の人数が必要であり、学校の再編、統合により、それが為されると思われる。
- ・統廃合の際に予算が許されるなら新校舎を建てて欲しい。
- ・今後児童の人数、増減を想定して、学校、学区の編成は必要だと思う。
- ・高齢者の方の支援も大事ですが、一緒になって学ぶこと、高齢の方から教わることも必要だと思い。ネットやSNSでは学べないことがたくさんある。
- ・再編・統合については、反対意見は多いと思うが、いずれ実行せざるをえなくなると思うため、その時何を一番大切に考え、優先すべきかしっかり検討して欲しい。
- ・統合はリソース集中による教育の質向上に寄与するので重要な取りくみと考える。
- ・運動会など集団で行う行事は学校対抗で行うのはどうか。他の学校への移動は学校からバスで移動する。授業科目によって少人数にしたりクラス合同で教えるなどしてはどうか。
- ・児童・生徒と先生方の大きなご負担にならない程度に再編・統合するのが理想かと思う。

教育環境・内容の充実について(12件)

- ・次の世代の子育て中の人達がより一層安心で安全で地域と一緒に子育て出来るような環境が整えば少しでも安心して子供達が学校でも楽しく過ごせるのではないかとと思う。
- ・市内どの学校でも同じような情緒教育をしてもらいたいと思う。
- ・少なくとも質の良い環境で勉強している方が子どもは伸びると思う。
- ・小は小なり、大は大なりの価値意義が生じ、子供を大切に育てる為に効率化は考えず、最適化が望ましいです。但し時代と共に勉強方法が変化するかも知れず、専門家の指導が重要と思われます。
- ・下校後の仲間活動（遊び）を検討する。
- ・父兄のボランティア化を検討する。
- ・学校の再編・統合よりも先に教育の質を良くしてほしい。
- ・多様な子供たちに対する教育の質の向上、教員数の確保、教員の資質向上など課題がたくさんあると思う。統廃合することでメリットはあまり考えられないが、子ども、保護者、教職員すべての人にとって有益で負担のないようにお願いしたい。
- ・子供たちが、ネグレクト含む虐待などにあわず、健全に成長できる環境づくりを踏まえて、少子化対策について考え、学校再編等出来れば良いと考えます。
- ・子ども達の学びの場としてだけでなく、命の尊さを学ぶ機会をつくるなど、学校を道徳教育の場として活用してほしい。
- ・幼・保・こども園と小中学校は切り離して考えず、もっと交流するべき。
- ・施設の老朽化対策をしてほしい。

学校の地域でのあり方・跡地活用(8件)

- ・空いた学校は防災設備や地域のコミュニティで使用すれば良いと思う。
- ・子どもの学習や交友などは当たり前として、地域共用拠点となるべく活動の活性化も担う必要がある。
- ・教育と地域の拠点としての役割がますます重要かと思う。
- ・地域とのかかわりの中で活動の場であったり防災の拠点としての活用残してほしい。

- ・グラウンドは子供達が遊具で楽しめる、集まれる場所であった方がいいと思います。親と過ごせない時間、学校へ行くとだれかがいる、ということで居場所を確保できると思う。
- ・廃校になった学校敷地を活用する。
- ・学校が空き施設となった場合に保護犬、猫施設とするのが望ましい。高齢者の働き場、ハンディキャップ（心身）があり短時間、簡単な軽作業しかできない方の働く場となる事を希望する。
- ・子どもが減少した分、デイサービス等のスペースを作りおじいさん、おばあさんが子どもと話せる場所また先生としての役割をお願いできる場として学校を使えると思う。その為にも、現在の学校配置が望ましい。

今後の進め方、周知について(16 件)

- ・子どもたちや教職員等当事者の意見も聞いてほしい。(9 件)
- ・統合へは時間をしっかりとって子供や保護者の理解を得てもらえれば進めていい。
- ・在校生に配慮の上、決定してほしい。
- ・学校統廃合の問題は関心が高いことですので経過報告など情報公開はしっかりしてください。
- ・児童、生徒を真ん中においた話し合いであってほしい。
- ・声の大きい者のみの声を聞くのではなく、開かれた議論を展開されるよう希望します。
- ・全国には小中一貫校もあるので、色々な情報収集をして議論していただきたいです。
- ・学校の再編・統合を機会に、地域の活力を積極的に導入する方策や、地域の活性化につながるアイデアを募ってほしい。

子育て支援・まちづくりについて(19 件)

- ・学校の再編の前に、子育て支援全体を見直す必要がある等、子育て世代が集まるまちづくりをする(15 件)。
- ・児童の母親も労働する社会となってきたことから、放課後、児童を安心して預けられる体制が必要。
- ・児童ホームなどが充実して安心して子育てができることを願います。
- ・再編・統合をした後の建物の維持管理がうまく行くのならいいと思いますが維持管理に莫大な費用（税金）がいるのであれば少し考えないといけない。
- ・再編・統合ありきで話し合い（検討）を行うのか？それとも大和高田市として人口増加を本気で考えているのか？数年単位～数十年単位で未来に向けた施策がある中で、今回の再編・統合を検討するのか否かで方向性や解決すべき課題（優先すべき課題）も変わってくると思います。市長や議会の方がどのような危機感を持っていらっしゃるのかも含めて、市民に見える化した上で相談の機会を頂戴できればと思います。

その他意見(13 件)

- ・児童減少が進んでいてここまでかとおどろきました。
- ・母校がなくなるのは寂しい。
- ・多くの人にとって”良かった”と思える、そんな決断がなされていくことを期待しています。等

自由意見(利用者)

利用者アンケートの自由意見は 294 名の回答が得られました。

自由記述に基づき意見の内容を分類すると、以下の通りとなります。

- ・小中学校の再編について（賛成/反対その他、配慮する点）：188 件
 - ・再編や統合にどちらかと言えば賛成：27 件
 - ・再編・統合には反対：19 件
 - ・通学や校区について：88 件
 - ・その他配慮する点など：74 件
- ・幼保施設の再編について：50 件
 - ・再編・統合、規模について：18 件
 - ・幼稚園のこども園化について：4 件
 - ・その他配慮する点：28 件
- ・教育内容や学校施設の充実について：42 件
- ・地域における学校施設・跡地利用について：5 件
- ・今後の進め方、周知について：15 件
- ・子育て支援・まちづくりについて：28 件
- ・その他意見：16 件

自由意見一覧(※一部抜粋)

小中学校の再編について(188 件)
再編や統合にどちらかと言えば賛成(27 件)
・学校には一定の集団規模が必要だと思う。(3 件) ・複式学級や単学級は避けるべき。(4 件) ・極端に少ない、基準に満たない場合は再編・統合もやむを得ないと思う。(3 件) ・早急に取組むべき課題で、いつでも対応できるように準備が必要だと思う。(6 件) ・できれば統合しない方が良いが、教育環境に支障が出るのであれば仕方がない。 ・無理のない再編は必要だと考える。 ・子どもが少なくなる時代に対応した新しい学校づくりが必要だと思う。 ・再編・統合により真面目に一生懸命頑張っている子たちが安心して学校へ通いやすくなるならいい。 ・将来的に統合は必ず必要になると思う。 ・子どもたちの社会性を育むための統合は賛成です。 ・高田中学校区と高田西中学校区をまとめて北部とし、片塩中学校校区を南部として、小中一貫にするのはどうか。 ・校舎の老朽化、少子化による児童の減少、教師が足りていない等を踏まえると、統廃合を行い、ある一定の児童数で運営していくことが望ましいと思う。 ・意見を吸い上げて検討しつつも、着実に早急に進めてほしい。現状のままでは、施設の老朽化が進むものの修繕予算は十分ではなく、学校での児童の安全、充実した学びの保証ができない。 ・少子化は仕方ないことなので、統合しやすい距離内にある喫緊な少人数学校から始めてみてはどうか。 ・再編には賛成だが、子どもをどの学校へ行かせたいかで家を買っている方もいるため早急な再編は不可能だと思う。
再編・統合には反対(19 件)
・できれば現状の配置を維持して欲しい。あまり賛成できない。(6 件) ・校区に合わせて住まいを決めているため、なるべくそのままがいい。(4 件) ・再編・統合には不安を感じる。(3 件) ・他の校区と混ざることは抵抗があり、再編はやめて欲しい。 ・少子化だからといって統合するのは大人の勝手が過ぎる。 ・あと 10 年間は変えないでほしい。 ・今の小学校に愛着があるので、再編して欲しくない。 ・数が少ないからこそ一人一人が活躍している場面もあり、現状のままを強く希望します。 ・少ない中でも、子ども、地域、教職員にとってのメリットは多く、少人数のメリットを生かすための策をまずは考えることが先だと思う。

通学・校区について(88 件)
・登下校が遠くなると、子ども達への負担や安全面が心配。再編・統合が必要であれば子ども達の負担にならないよう対策するべき等の意見。(46 件) ・同じ小学校から、中学校へ進学するべき。近い小学校に行けるようにするべき。等、校区の見直しをするべきという意見。(14 件) ・再編・統合するのであればスクールバス等の導入を検討する。等の意見(12 件) ・中学生の自転車通学の距離基準の緩和等を検討して欲しい。等の意見(7 件) ・通学する学校を選択できるようにしてほしい。等の意見(4 件) ・登下校に関しては、登校班制度を見直し、スクールバスを導入したり、共働き家庭は早い時間から学校に送っていけるようになったら、多少距離が遠くなくても問題ないのではと思う。 ・統合等で遠くなるのであれば、登校時間を遅くするなどの配慮が必要。 ・中学校区や小学校区にこだわらず、登下校の安全や適正な学校規模の観点から再編・統合をお願いしたい。 ・公共バスを増やす等、子どもたちの交通の安全確保などは大人として地域がしっかり連携を取るべきだと思う。 ・親にとって子供の安全が 1 番なので、近い学校に通えるという現状維持のために無償化をやめ学校に支払う額を一定額負担してもよいのでは。
その他配慮する点など(74 件)
・一人ひとりに目が行き届くように、1 クラス辺りの人数は 20 人くらいが望ましい。等、1 クラス当たりの人数を調整する必要があるという意見(11 件) ・発達障害をお持ちのお子様も増え、両親共に共働きのご家庭も増えて、より一層学校が児童への関わりや気づきを持ってほしい時代だと感じている。子供達のセーフティネットとしても、小中学校はとても大切だと痛感しているので、子どもたちのための再配置として充分に検討してほしい。等、子ども達のことを第一に進めて欲しいという意見(7 件) ・色々な子に対応できるようにしっかりと教員を確保して欲しい。等、教職員の配置に関する意見(15 件) ・共働きの家庭が増えている中、PTA 活動の負担を減らしてほしい。等の意見(8 件) ・将来のことも考えて検討すべき。 ・現状の規模は小さいと思う。 ・校舎が古いため、快適な学校生活が送れるよう新しくするのが良いと思う。 ・再編は良いが統合はやめたほうがいい。 ・規模についてはどちらがいい、わるいはないと思う。 ・自分が通っていた学校がなくなるのは寂しい。 ・学力向上と社会性を学ぶことを判断軸にして欲しい。 ・支援級をおいていかなないようにしてほしい。 ・単学級はトラブルが起きた際に環境を変えられない怖さがある反面、通学距離が延びるのは不安であるため、賛成とも反対とも言えない。 ・中学校は体力的に通学距離が長くなって自転車通学が増えても問題ないと思う。 ・もっとはやく取り組んでほしかった。 ・子どもが少なくなっていくので再編は仕方ない事。少ない子供たちを安全に育てていけるように考えてほしい。 ・1 クラス当たりの人数を減らして、複数クラスにするのが望ましい。 ・再編・統合には賛成だが、人数が増えて問題が増えるのではないかという不安はある。 ・再編・統合で中学校は遠くなるが、今の小学校同士は近いと思う。 ・統廃合にともない、全ての校舎の改修を行うべき。 ・どこまで人数が減れば再編するのか。 ・統合は距離的に難しいと思う。 ・義務教育学校には否定的です。 ・小中一貫校という考え方があっても良いのではないかと思います。 ・規模による学校の状況は色々聞くので難しいのですが、いずれは統合になると思います。少子化ですし。 ・学校再編が「教育予算の削減」を目的としたものであるならば大変遺憾に思う。 ・支援学級の事も再編成の際には各学校に配置をしてほしい。 ・学校は 20 人の 2 クラスで確保できるならそのまま。中学校は 3 クラス以下になるなら自転車通える範囲で再編検討してもいい。 ・統廃合の際には今まで通りの学校に通えるなど、特に低学年の子への配慮がほしい。 ・学校が統合されても、今まで通り他学年や地域との交流があり、先生が一人ひとりを無理なくしっかりと見ていただけるような環境である事を望む。 ・土庫小学校は人数が少なすぎるが、他の小学校は、現状維持でいいと思う。 ・人数の少ない小学校と人数のある小学校の差が大きいうに感じるため、人数を調整して学校運営ができないか。先生からは何人クラスが目が行き届き、教育の充実が図れると考える人数なのか。 ・低学年と中学生を一緒の場所にさせたくないの、義務教育学校には反対する。 ・土庫小学校の生徒数が少なすぎるのでそこは再編、統合の検討必要だが、それ以外には必要ではないと思う。

・再編・統合の検討は必要だが、こども達にとって最適なクラス数や人数の科学的な根拠を示した形で議論をしてほしい。 ・再編・統合等には反対ではありませんが、学校教育や子どもその保護者、教員全てが納得しそれぞれの負担が減るような再編・統合を検討頂けたらと思う。 ・少子化は今分かったことではないのに今やっとアンケートをとるようになり遅いと感じる。
幼保施設の再編について(50件)
再編・統合、規模について(18件)
・子どもたちが集団としてよりよく学び合えるのに適した人数でクラスを編成し、活気ある園づくりを期待している。 ・児童数が少な過ぎると保育、教育が成り立たない。統合はできるだけ早くした方が財政的にも良いと思う。 ・1クラス5人以下とかで幼稚園や保育園を運営するのはやっぱり淋しい気がする。 ・子どもの人数が減ってきているので、幼稚園の統合も考えていかなければならない時期にきていると思います。保護者の同意が得られることを切に願う。 ・幼稚園の1クラスの人数が10人以下の場合は統合、再編をした方がいいのではないかと思います。 ・今の社会のニーズに合わせていくべきだと思うので統合やことも園化は是非進めていってもらいたい。 ・園の人数を均等にさせていただき、職員配置等を考えていただきたい。 ・子どもの人数が減少傾向にあるので再編、統合も仕方ないと思うが、再編、統合後のメリット、魅力がないと、公立幼稚園は選ばれない危機感があるため、待機児童の多い0.1.2歳を少しでも預かるサービス、延長預かり保育、駐車場、そして教育の質は落とさない、小学校、中学校との連携、学校給食の継続、地域に根差す公立園をどうにか、地域保護者のニーズにも応えながらつくっていききたい。 ・再編、統合もやむを得ないと思うが、幼稚園教育だからこそできること、環境もあるため、保護者のニーズに応じた保育時間の検討も行えば幼稚園に入園する子どもも少なからず増えるのではないかと思います。 ・せめて1クラス10名以上いないと、集団としての関わりや遊びが身につかないのではと危惧されている。 ・保育所、こども園の職員不足による待機児童の問題もあり、再編などで職員不足の解消や待機児童の問題が少しでも解決できればと思う。 ・現在保育士が足りないのに、幼稚園教諭の担当の園児の人数が、少なすぎる。統合をしたら良いと思う。 ・人数で考えると統合もありかなとは思いますが、地域や保護者の意見が1番重要だと思います。 ・園児数の減少により集団での遊びや学びといった必要な経験ができない状況を見ると地域や保護者のニーズにもよるが、こども園化等の対策は必要と感じる。 ・保育士が不足しているため、人数が少ない園所の合併やこども園化なども将来的に必要なになってくるのではないかと思います。 ・再編・統合するのは、保護者や地域の方の理解を得るのに相当な時間がかかると思うが、遊びや行事がより盛り上がるような人数を確保する必要があると思う。 ・幼稚園の人数が減っていること、保育所が老朽化していることを踏まえて、必要に応じて統合、あるいは縮小化し、保育士の人数も確保していくべき。 ・園の統合について反対する。保護者の送迎が大変でバスを出すにもお金がかかり、バスの当番があれば職員の負担であるし、私立と統合になれば保育観が異なる。
幼稚園のこども園化について(4件)
・市内の幼稚園にフルタイムやそれに近い状況で働く家庭は通うことが厳しい状況なので、幼稚園をこども園化することを進め、さまざまな家庭の子どもたちが同じように充実した幼児期の教育を受けられるようにして欲しい。 ・幼稚園区を決めて、市立幼稚園保育園をこども園にしていくのが望ましいと思う。 ・こども園化するなどして柔軟に受け入れをするようになれば色々なニーズに応えられるようになると思う。 ・幼稚園に子どもが集まらない理由をしっかりと検討してもらい今後は一定人数を下回る園はどんどんこども園化していくべきではないかと思う。
その他配慮する点(28件)
・保育士の給料を上げるべき。 ・子どもの主体性を育むための教育の質の向上が求められるため、再編・統合になったとしても、きちんと研修が行われるように職員の配置等の確保を希望する。 ・統合することによって足りない保育士や教諭の問題を解決することを一時的にできると思う。統合する際にも現在働いている保育士の配置できるようにすることが必要である。 ・民営化になったら、正規職員はどうなるのでしょうか。公務員ではなくなるのでしょうか。 ・保育所が老朽化してるので、建て替えてあげてほしい。 ・施設の老朽化が激しい所があり、最低限の安全性と清潔は保つ必要がある。 ・統合するにあたって、園舎や設備等の充実、余裕のある人数配置を望む。 ・再編統合するのであれば、駐車場の問題は想定しておかないといけないと思う。 ・保育所より幼稚園の方が、施設、教材など充実している。多くの子どもがその環境の中で、育むことができたと思う。また、働く親が増える中、ニーズに応えるべきだと思う。 ・幼小接続の観点から、各校区に公立幼稚園かこども園があることが望ましいと思う。 ・各校区の公立保育所と公立幼稚園が分園という形で、公立保育所で0.1.2歳児の保育を、公立幼稚園で3.4.5

歳児の教育を担っていけば、幼稚園の園児の適正規模に近づき、また保育所に入れずに待機している0.1.2歳児の待機問題も解消されるのではないかと。

- ・大和高田市として保護者が選択肢をもてるよう、今後も幼稚園はいくつか残してほしい。
- ・子どもの人数では市内の各園の差が大きく、保育士の配置もバラツキがある。
- ・幼稚園教諭は教育、保育所・こども園は福祉をそれぞれに大切にし、それぞれがプロ意識があるので、そこを一緒にすることは難しいと個人的には思う。
- ・一部の園への子どもたちの人数に偏りがあり、それだけではないですが、職員一部の園への子どもたちの人数に偏りがあり、職員の負担や園としての取り組みにも偏りが出ているように感じています。
- ・幼稚園は小学校の隣にあるため、小学校との連携がとりやすい。耐震性に問題がある保育園などを壊し、幼稚園と統合することで子どもの数も職員の数も確保できると思う。
- ・幼稚園を希望する家庭が少ないことは仕方ないことだと思うが、こども園にする、校区は違う校区になってしまうが、幼稚園を統合するなどやり方は様々あると思う。民営化だけは辞めて欲しい。
- ・再編・統合はやむを得ないと思うが、どのような形であれ幼児教育施設として、幼稚園の良さを活かして存続することを望みます。
- ・大和高田市の子どもの人数が減っている中、幼稚園、保育所、こども園を含めてどのような再編がよいかを考えていく必要があるのではないかと思います。また、他群市の状況を知る機会があればありがたいです。
- ・幼児教育は、将来子ども達が、豊かな生活を送るために重要だと証明されていることを重視し、3歳児以上のすべての幼児が、幼稚園教育が経験できるように変革をしてもらいたい。
- ・就労している保護者が、安心して園に預けられる体制も必要。
- ・子どもと保護者が安心して通える環境が整った再編・統合であるよう、これまで幼稚園が大切にしてきたことが継続できるよう、人員配置と環境整備をお願いしたい。大和高田市として何を大切にしたいと考え、再編・統合に踏み切るのか、その思いは明確にもって計画策定を進めていって欲しい。
- ・自分の力で自分のできることを考えていく子どもを育てていく教育が必要である。
- ・大人の都合ではなく子どものことを第一に考えて進めていってほしい。
- ・園行事が多すぎて、遊びからの学びに費やす時間が少なくなるとほしい。
- ・統合された時に保育所、幼稚園で、どのように教育を進めていくのか、互いが互いに考えをすり合わせ、同じ思い、考えの上で統合していかなければ、様々な面で充実した保育などできないと思う。
- ・物が足りない保育所に寄付したり、こども園化に早く合意するべき。幼稚園職員のすばらしい考えや保育・教育のノウハウも保育所側に伝授できてこども園化に悪いところはないと思う。
- ・保護者が保育所や学校にだけ任せ切りでなく一緒に子育てを楽しめるようにできればと思う。

教育内容や学校施設の充実について(42件)

- ・トイレ、体育館など古い設備を新しくして欲しい。教室が暗い。等施設に関する意見（11件）
- ・教育環境が改善されるのであれば良いと思う。
- ・中学校の制服をなぜ変更したのか不可解である。
- ・制服をジェンダーレスにして欲しい。
- ・学年があがることによって学童の入所が難しくなるのが困る。
- ・放課後にも学校に居れるように校庭を開放したり、放課後学習などを行ってほしい。
- ・魅力ある学校づくりがまず第一だと思う。
- ・学校で習い事が出来ればと思う。
- ・統廃合によって、使わなくなる敷地はグラウンドとして整備して、部活動等で使えるようにしてほしい。
- ・部活動は外部の先生も招いて積極的に活動するべき。
- ・学年クラス編制時の人数を、通常学級のみだけでなく特別支援学級対象数も入れて、クラス編制することを希望します。
- ・先生の目が子どもに届くようにしてほしい。
- ・図書館、体育館などの設備は古く、遠足などでも子どもたちにいろいろな経験をさせてあげて欲しい。
- ・小中のギャップが大きすぎるため、小中一貫校なども視野に入れて欲しい。
- ・金銭面の補助も必要だと思う。
- ・統合することで学校の環境、雰囲気等が悪くならないか不安である。
- ・現状をよりよくしていく方法を選んでほしい。
- ・規律を守っている小学生、中学生に不利益が生じないように現代の価値観に見合った教育現場の再構築を目指してほしい。
- ・中学校に合唱部がない、吹奏楽にも力を入れて欲しい。
- ・プールの授業は市民プールを利用する。
- ・図書室の本をデータで管理できるようにすることと、本を増やして子どもたちが気軽に借りられるようにしてほしい。
- ・学校に誰でも出入りできてしまうため、防犯のために警備員を配置してほしい。
- ・楽器や竹馬など、子ども達が使うものをもっと増やしてほしい。
- ・再編の際は、最新設備を入れたり放課後習い事ができるような環境になればいい。
- ・学校と学童との連携をもっと密にしてほしい。
- ・配慮の必要な子どもについては、トラブルが起きないように安心して学校生活が送れるようにしてほしい。

・学校を高齢者の利用施設にはしないでほしい。整備された場所で、子どもたちが快適に過ごせるようにしてほしい。 ・中学校から〇〇工業・商業中学のような、義務教育終了後すぐに社会に出る能力を身に付けられる学校を設置すべき。 ・再編・統合よりも先に人権教育を重点的にしてほしいです。 ・教員の人数が適切に配置されれば、それだけで学校は大きく変化することができると考える。 ・共働きが増えている中、子供達の放課後の居場所、長期休み中が不安である。 ・支援が必要な子どもたちを含めて、一人ひとりに目を向けられる教育現場づくりをしてほしい。
地域における学校施設・跡地活用(5件)
・十分に地域住民の意見を聴いて、使わなくなる学校の使い方を考えてほしい。 ・避難所の確保について検討して欲しい。 ・再編後閉鎖された学校の再利用方法についても検討の必要があると思う。 ・学校と地域のつながりを考えて欲しい。 ・選挙の投票所は学校でなくてもよいのでは、と前回の選挙のときに感じました。
今後の進め方、周知について(15件)
・子どもたちや教職員等当事者の意見も聞いてほしい。(6件) ・財政状況について提示すべき。 ・時間をかけて、もっと話し合いが必要だと思う。 ・他の市で学校の統廃合を経験しました。急に始まった再編に地域も職員も準備ができないまま押し進んだ印象でした。ぜひ市全体が見える方が陣頭指揮をとっていただきながら計画的に考えてほしい。 ・統合などは仕方がないことだが、子どもにとっては自分の学校がなくなってしまうということは、とても重大なこと。しっかり検討していただき、大人も子どもも納得ができる説明をしてほしい。 ・明確なビジョンや見通しを持って、内外に広く知らせていくことを望みます。設備の老朽化が進む中、新設にせよ修繕改修にせよ、どこに予算を投入するかをできるだけ早く、明確に示していただきたい。 ・子供、保護者、地域の方が納得できる学校再編となるようにしてください。 ・意見を言う場や機会があって、様々な立場の方の意見が反映されたらいいと思う。 ・ワークショップ、説明会、勉強会など、開催されるなら積極的に参加する。 ・トラブルなく、全てに対し、1番良い方法で進めてほしい。
子育て支援・まちづくりについて(28件)
・学校の再編の前に、子育て支援全体を見直す必要がある等、子育て世代が集まるまちづくりをする(28件)。
その他意見(16件)
・特になし(9件) ・誰にとってもより良くなるように期待しています。 ・このアンケートはどのように反映されるのか、本当に反映されるのか…。出た意見をもとに考えた結果をわかりやすく報告してもらえることを期待します。
等

市民向け

大和高田市学校の再編に関するアンケート調査

スマートフォン・タブレットを使って回答される方は、案内文に記載している【WEB 回答用ページ】にアクセスし、下記の大文字小文字を含む半角英数字4桁のWEB 回答用ワードを最初の設問に入力して回答を開始してください。

WEB 回答用ワード:09UX

※このパスワードは、同じ方が何回も回答することを防ぐために無作為に設定しているものです。あて名のご本人様を特定するためのものではありません。

※インターネットで回答された方は、調査票(用紙)での回答は不要です

あなた自身のことについて

問 1 あなた自身についてお聞きます。該当する番号をそれぞれ1つ選んで○を付けてください。

問1-1 年齢	1 18～29 歳	2 30～39 歳
	3 40～49 歳	4 50～59 歳
	5 60～69 歳	6 70 歳以上
問1-2 お住まいの地域	1 片植小学校区	2 高田小学校区
	3 土庫小学校区	4 浮孔小学校区
	5 磐田小学校区	6 陵西小学校区
	7 菅原小学校区	8 浮孔西小学校区
	9 わからない、町字名：()	
問1-3 中学生以下のお子さま	1 いる	2 いない
	未就学児 () 人、小学生 () 人、中学生 () 人	

小中学校の再編の取組について

問 2 小中学校は子どもたちの個性を伸ばし、社会性を育む重要な場であり、学校という集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、多くの経験、学びを得ることが大切です。今後、少子化により小中学校の児童・生徒数がさらに減少していくことが予測される中で、一定規模以上の学校規模を確保するための再編・統合の取組についてどのようにしていくことが望ましいと思いますか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

1	今後さらに児童・生徒が減少しても今の学校配置が望ましい
2	今の学校配置が望ましいが、学校の再編・統合を進めることはやむを得ない
3	積極的に学校の再編・統合を進めるべき
4	わからない

問 3 問 2 の回答を選んで理由として該当する番号を 3 つまで選んで○を付けてください。

1	多様な交流の中で社会性や協調性を身につけることができるから
2	人数が確保できると、運動会などの学校行事等の活動の幅が広がるから
3	グループ学習や対話的学習などを通じて、意見や考えに触れることができるから
4	将来にわたり、複式学級※の回避や学年の複数クラスの維持ができるから
5	PTA 活動等の保護者の負担が少ないから
6	教員の目が届きにくく、きめ細かな教育を受けられないから
7	学校行事等で一人ひとりの活躍する機会が少なくなるから
8	学校が遠くなることによって、登下校時の児童・生徒の安全が心配だから
9	学校全体が一体となって活動しやすいから
10	地域や保護者との連携が難しくなるから
11	その他 ()

※複式学級：異なる2つ以上の学年の児童生徒を1学級に編制した学級のこと

問 4 一定規模以上の学校規模を確保するための再編・統合の取組を検討する際の考え方について、あなたの考えに近いものはどれですか。ア～ウについて該当する番号(1～5)をそれぞれ1つ選んで○を付けてください。

	そうするべき	どちらかという そうするべき	どちらでもない	どちらかという そうするべきでない	そうするべきでない
市全体で再編・統合の検討を進め、児童・生徒の通学に配慮して、通学校区の見直しも行う	1	2	3	4	5
現在ある地域コミュニティに配慮し、同一の中学校区で隣接した小学校同士の再編・統合の検討を進める	1	2	3	4	5
義務教育学校等の導入を踏まえ、適正配置を検討する	1	2	3	4	5

問題5 一定規模以上の学校規程を確保するための再編・統合の取組を検討する場合、特にどのような点に配慮するべきだとお考えですか。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

- 1 子どもたちの通学（時間・距離・方法）と安全の確保
- 2 子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減（ケア）
- 3 学校施設・設備の整備、充実
- 4 検討経過の見える化や十分な検討期間の確保
- 5 幼稚園やこども園、児童ホームなど子育て機能を有する施設との連携
- 6 再編で学校が空き施設になった場合の活用策の検討
- 7 地域の拠点（防災拠点、文化・スポーツ拠点等）として、学校周辺における公共施設や生活に必要なサービス機能の整備
- 8 学校と地域のつながりの強化
- 9 その他（ ）

地域における学校施設のあり方について

問6 小中学校は児童・生徒の大切な学びの場であることはもちろんのこと、地域における活動拠点としての役割も担っています。小中学校がこれまで担ってきた役割について、特に重要だと思うものは何ですか。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

1	児童・生徒の放課後の居場所	2	地域の防災拠点
3	選挙の投票所	4	地域のスポーツ活動の拠点
5	地域の文化活動の拠点	6	生涯学習の拠点
7	子育て支援の拠点	8	高齢者福祉の拠点
9	障がい者福祉の拠点	10	地域における活動拠点としての認識はない
11	その他（ ）		

問7 小中学校にこれから期待する地域における役割は何ですか。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

1	児童・生徒の放課後の居場所	2	地域の防災拠点
3	選挙の投票所	4	地域のスポーツ活動の拠点
5	地域の文化活動の拠点	6	生涯学習の拠点
7	子育て支援の拠点	8	高齢者福祉の拠点
9	障がい者福祉の拠点	10	児童・生徒の学びの場以外の役割は不要
11	その他（ ）		

32

問8 再編の取組を検討するにあたって、あなたが参加したいと思うものがあれば、該当する番号をすべて選んで○を付けてください。

1 ワークショップ等の話し合いの機会	2 アイデア提案の機会
3 説明会・勉強会	4 その他 ()

→本市では、2025 年の秋ごろに、今後の学校のあり方考える市民ワークショップの開催を検討しています。参加者募集の案内はがき等をお送りしても良い場合は、右記の QR コードを読み込み入力フォームより氏名・住所等をご入力ください。



ワークシヨップの案内を
ご希望される方はこちら

※案内不要の場合は空欄のままです。

※ご記入いただいた内容は案内はがき等の発送以外には使用しません。

※QRコードが読み込めない方は自由記述欄に氏名・住所等をご記入ください。

学校の再編・統合についてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

【自由記述欄】

[illegible]

以上でアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。

＜郵送回収の場合＞

ご回答いただいた本アンケート調査票は、同封の返信用封筒に封入し、
12月16日(月)までに、切手を貼らずにポストにご投かんください。



4

児童向け

大和高田市学校園の再編に関するアンケート調査

スマートフォン・タブレットを使って回答される方は、右図のQRコード

から「WEB 回答用ページ」にアクセスし、下記の大文字小文字を含む半角英数字4桁の WEB 回答用ワードを最初の設問に入力して回答を開始してください。

WEB 回答用ワード: Xz12

※インターネットで回答された方は、調査票(用紙)での回答は不要です

あなた自身のことについて

問1 あなた自身についてお聞かせします。通っている学校と学年について、該当する番号をそれぞれ1つ選んで○を付けてください。

問1-1	1 片垣小学校	2 高田小学校
通っている学校	3 土庫小学校	4 浮孔小学校
	5 磐園小学校	6 陵西小学校
	7 菅原小学校	8 浮孔西小学校
問1-2	1 小学5年生	
学年	2 小学6年生	

問2 あなたは普段家から学校まで何分ぐらいかけて登校していますか。一番近いものを1つ選んで○を付けてください。

1	20分以内	2	30分程度	3	40分程度	4	50分程度	5	1時間程度
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

通っている学校について

問3 あなたが通っている学校で「よいな」と思うものについて、当てはまる番号を3つまで選んで○を付けてください。

1	先生がすぐに気付いてくれて、相談しやすい
2	一人ひとりが中心となって活やくできる機会が多い
3	体育館や運動場を使いやすい
4	運動会(体育大会)や発表会(音楽発表会)がもりあがる
5	クラブ活動の種類が多い
6	同級生が多く、友だちがたくさんできる
7	同じ友だちと同じクラスで過ごすことが多く、仲良くなる
8	他の学年の児童や学校の先生との交流が多い
9	特にない・わからない
10	その他 ()

問4 あなたが通っている学校で「よくないな」と思うものについて、当てはまる番号を3つまで選んで○を付けてください。

1	いやなことや困ったことがあっても、相談しにくい
2	一人ひとりが中心となって活やくできる機会が少ない
3	体育館や運動場を自由に使うことができない
4	運動会(体育大会)や発表会(音楽発表会)のプログラムが少なく、物足りない
5	クラブ活動の種類が少ない
6	同級生が少なく、新しい友だちがつくりにくい
7	他の学年の児童や先生との交流が少ない
8	校舎や体育館、トイレなどが古くてきたない、あぶない
9	特にない・わからない
10	その他 ()

問5 あなたのクラスの人数についてどう思いますか。あなたの考えに一番近いものを1つ選んで○を付けてください。

1	少ないと思う	2	ちょうど良いと思う
3	多いと思う	4	わからない

問6 あなたの学年のクラス数についてどう思いますか。あなたの考えに一番近いものを1つ選んで○を付けてください。

1	少ないと思う	2	ちょうど良いと思う
3	多いと思う	4	わからない

問7 あなたは普段家から学校までかかる時間や距離について、どう感じていますか。あなたの気持ちに一番近いものを1つ選んで○を付けてください。

1	特に気になることはなく通学している。
2	ちょっと速いと思うときもあるけれど、特に気になることはない。
3	距離が長く、通学するのがしんどい。

以上でアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。
ご回答いただいた本アンケート調査票は、12月20日(金)までに、
学校の担任の先生に直接お渡しください。

※インターネットで回答された方は、調査票(用紙)での回答は不要です。



生徒向け

大和高田市学校の再編に関するアンケート調査(案)

スマートフォン・タブレットを使って回答される方は、右図のQRコードから【WEB 回答ページ】にアクセスし、下記の大文字小文字を含む半角英数字4桁の WEB 回答用ワードを最初の設問に入力して回答を開始してください。

WEB 回答用ワード: Xz12

※インターネットで回答された方は、調査票(用紙)での回答は不要です
あなた自身のことについて

問1 あなた自身についてお聞きします。通っている学校について、当てはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

1 高田中学校	2 片塩中学校	3 高田西中学校
---------	---------	----------

問2 あなたは普段家から学校までどのようにして登校していますか。通学方法、通学時間について当てはまる番号をそれぞれ1つ選んで○を付けてください。

問2-1 通学方法

1 徒歩	2 自転車
------	-------

問2-2 通学時間（1番近いものを選んでください）

1 20分以内	2 30分程度	3 40分程度	4 50分程度	5 1時間程度
---------	---------	---------	---------	---------

通っている学校について

問3 あなたが通っている学校で「よいな」と思うものについて、当てはまる番号を3つまで選んで○を付けてください。

1 先生がすぐに気付けてくれて、相談しやすい
2 一人ひとりが中心となって活躍できる機会が多い
3 体育館や運動場を使いやすい
4 運動会（体育大会）や発表会（音楽発表会）が盛り上がる
5 部活動の種類が多い
6 同級生が多く、友達がたくさんできる
7 同じ友達と同じクラスで過ごすことが多く、仲良くなる
8 他の学年の生徒や学校の先生との交流が多い
9 特にない・わからない
10 その他（ ）

1

問4 あなたが通っている学校で「よくないな」と思うものについて、当てはまる番号を3つまで選んで○を付けてください。

1 いやなことや困ったことがあっても、相談しにくい
2 一人ひとりが中心となって活躍できる機会が少ない
3 体育館や運動場を自由に使うことができない
4 運動会（体育大会）や発表会（音楽発表会）のプログラムが少なく、物足りない
5 部活動の種類が少ない
6 同級生が少なく、新しい友達がつくりにくい
7 他の学年の生徒や先生との交流が少ない
8 校舎や体育館、トイレなどが古くて汚い、危ない
9 特にない・わからない
10 その他（ ）

問5 あなたのクラスの人数についてどう思いますか。あなたの考えに一番近いものを1つ選んで○を付けてください。

1 少ないと思う	2 ちょうど良いと思う
3 多いと思う	4 わからない

問6 あなたの学年のクラス数についてどう思いますか。あなたの考えに一番近いものを1つ選んで○を付けてください。

1 少ないと思う	2 ちょうど良いと思う
3 多いと思う	4 わからない

問7 あなたは普段家から学校までかかる時間や距離について、どう感じていますか。あなたの気持ちに一番近いものを1つ選んで○を付けてください。

1 特に気になることはなく通学している。
2 ちよっと速いと思うときもあるけれど、特に気になることはない。
3 距離が長く、通学するのがしんどい。

以上でアンケートは終わります。ご協力ありがとうございます。
ご回答いただいた本アンケート調査票は、12月20日（金）までに、学校の担任の先生に直接お渡しください。

※インターネットで回答された方は、調査票(用紙)での回答は不要です。

2

56

IV 調査票

小中学校の保護者向け

大和高田市学校園の再編に関するアンケート調査

スマートフォン・タブレットを使って回答される方は、案内文に記載している【WEB 回答用ページ】にアクセスし、下記の大文字小文字を含む半角英数字4桁の WEB 回答用ワードを最初の設問に入力して回答を開始してください。

WEB 回答用ワード: Xz12

※インターネットで回答された方は、調査票(用紙)での回答は不要です

あなた自身のことについて

問1 あなたのお子様が進んでいる学校と学年を教えてください。該当する番号をそれぞれ1つ選んで○を付けてください。※お子さまが複数人おられる方は、アンケート用紙を持ち帰ったお子さまの学校と学年を回答してください

問1-1	1 片塩小学校	2 高田小学校	3 上庄小学校	4 浮孔小学校
お子さまが通学している学校	5 徳田小学校	6 陵西小学校	7 菅原小学校	8 浮孔西小学校
問1-2	9 高田中学校	10 片塩中学校	11 菅原中学校	
お子さまの学年	1 小学2年生	2 小学5年生	3 小学6年生	4 中学2年生

小中学校の規模について

問2 あなたのお子さまのクラスの人数についてどう思いますか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

1	少ないと思う	2	ちょうど良いと思う	3	多いと思う	4	わからない
---	--------	---	-----------	---	-------	---	-------

問3 あなたのお子さまの学年のクラス数についてどう思いますか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

1	少ないと思う	2	ちょうど良いと思う	3	多いと思う	4	わからない
---	--------	---	-----------	---	-------	---	-------

問4 国の規則(学校教育法施行規則)では、12学級以上18学級以下(小学校1学年当たり2～3学級、中学校1学年当たり4～6学級)を標準としています。

あなたは、大和高田市の将来の学校のあり方を検討するうえでどのくらいの増減が望ましい(適当)とお考えでしょうか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

問4-1	小学校の望ましい1学年あたりのクラス数						
1	1クラス	2	2クラス	3	3クラス	4	4クラス以上
5	わからない						

問4-2	中学校の望ましい1学年あたりのクラス数						
1	1クラス	2	2クラス	3	3クラス	4	4クラス
5	5クラス	6	6クラス	7	7クラス以上	8	わからない

問4-3 問4-1、問4-2の回答について、その理由を教えてください。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

1	クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる
2	児童・生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導を受けられる
3	集団の中で多様な考え方に触れ、社会性や協調性を身につけることができる
4	児童・生徒相互の人間関係が深まりやすく、異学年との交流も生まれやすい
5	職員間の意見疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい
6	経験、教科、特性などの面でバランスの取れた教員配置が行いやすい
7	地域や保護者との関係が強く、開かれた学校づくりができる
8	学校が一体となって活動しやすい
9	その他()

小中学校の再編の取組について

問5 小中学校は子どもたちの個性を伸ばし、社会性を育む重要な場であり、学校という集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、多くの経験、学びを得ることが大切です。今後、少子化により小中学校の児童・生徒数がさらに減少していくことが予測される中で、一定規模以上の学校規模を確保するための再編・統合の取組についてどのようにしていくことが望ましいと思いますか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

1	今後も今の学校配置が望ましい
2	今の学校配置が望ましいが、学校の再編・統合を進めることはやむを得ない
3	積極的に学校の再編・統合を進めるべき
4	わからない

問6 問5の回答を選んだ理由として該当する番号を3つ選んで○を付けてください。

1	多様な交流の中で社会性や協調性を身につけることができるから
2	人数が確保でき、運動会などの学校行事等の活動の幅が広がるから
3	グループ学習や対峙的学習などを通じて、意見や考えに触れることができるから
4	将来にわたって、複式学級※の回避や学年の複数クラスの維持ができるから
5	PTA活動等の保護者の負担が少なくなるから
6	教員の口が回さなく、きめ細かな教育を受けられないから
7	学校行事等で一人ひとりの活躍する機会が少なくなるから
8	学校が強く、上下校時の児童・生徒の安全が心配だから
9	学校全体が一体となって活動しやすいから
10	地域や保護者との連携が難しくなるから
11	その他()

※複式学級：異なる2つ以上の学年の児童生徒を1学級に編制した学級のこと

問7 お子さまの通学している学校について、今後の再編・統合についてどのようなようにお考えですか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください

1	早急に再編・統合する必要がある
2	全ての学年が1学級以下になるなど、明らかに児童数・生徒数の減少が見込まれる時期に再編・統合するべきである
3	将来的にも再編・統合する必要はない
4	わからない

問8 一定規模以上の学校規模を確保するための再編・統合の取組を検討する際、特にどのような点に、あなたの考えに近いものはありますか。ア～ウについて該当する番号(1～5)をそれぞれ1つ選んで○を付けてください。

	そうするべき	そうするべき	どちらかという	どちらかという	そうするべきでない	そうするべきでない
ア 市全体で再編・統合の検討を進め、児童・生徒の通学に配慮して通学区の見直しを行う	1	2	3	4	5	
イ し、同一の中学校区で隣接した小学校同士の再編・統合の検討を進める	1	2	3	4	5	
ウ 義務教育学校等の導入を踏まえ、真正配置を検討する	1	2	3	4	5	

問9 一定規模以上の学校規模を確保するための再編の取組を検討する場合、特にどのような点に配慮するべきだとお考えですか。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

1	子どもたちの通学(時間・距離・方法)と安全の確保
2	子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減(ケア)
3	学校施設・設備の整備、充実
4	検討経過の見える化や十分な検討期間の確保
5	幼稚園やこども園、児童ホームなど子育て機能を有する施設との連携
6	再編で学校が空き施設になった場合の活用策の検討
7	地域の拠点(防災拠点、文化・スポーツ拠点等)として、学校周辺における公共施設や生活に必要なサービス機能の整備
8	学校と地域のつながりの強化
9	その他()

問10 「公立小学校・中学校の通学距離・適正配置等に関する手引(H27.1/文部科学省)」では、適正な学校規模として、以下の目安が示されています。

- ・通学距離：小学校で4km以内、中学校で6km以内
- ・通学時間：おおむね1時間以内を一応の目安に、市町村が判断(適切な交通手段の確保などが前提)

将来の大和郡田市の子どもたちにとつての適正な学校配置を検討するにあたって、仮に、「通学時間(子どもが歩く時間)」をひとつの目安として考えた場合、あなたはどれくらいまでが許容できる通学区域の範囲になるとお考えですか。あなたの考えに一番近いものを1つ選んで○を付けてください。

問10-1 小学校で許容できる通学時間(児童が歩く時間)の限度	
1 20分程度	2 30分程度
3 40分程度	4 50分程度
5 1時間程度	6 時間は問わない

問10-2 中学校で許容できる通学時間(生徒が歩く時間)の限度	
1 20分程度	2 30分程度
3 40分程度	4 50分程度
5 1時間程度	6 時間は問わない

問11 再編・統合や校区の見直しに伴い、通学距離の拡大やその他の事由により一部の児童・生徒の通学が困難となる場合、あなたの考えに近いものはどれですか。小学校、中学校について、該当する番号をそれぞれ1つ選んで○を付けてください。

問11-1 小学校の校区の考え方	
1 スクールバスや公共交通機関等の使用により安全に通学できるのであれば、再編・統合後の通学距離は問わない	
2 再編・統合後の通学距離も徒歩で通学できる範囲で検討するべき	
3 現在の校区・学校配置を変えるべきではない	
4 その他()	

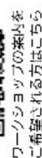
問11-2 中学校の校区の考え方	
1 スクールバスや公共交通機関等の使用により安全に通学できるのであれば、再編・統合後の通学距離は問わない	
2 再編・統合後の通学距離も徒歩あるいは自転車での通学できる範囲で検討するべき	
3 現在の校区・学校配置を變えるべきではない	
4 その他()	

問12 小中学校は児童・生徒の大切な学びの場であることはもちろんのこと、地域における活動拠点としての役割も担っています。小中学校がこれまで担ってきた役割について、特に重要だと考えるものは何ですか。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

問 13 小中学校にこれから期待する地域における役割は何ですか。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

問14 再編の取組を検討するにあたって、あなたが参加したいと思えるものは何ですか。該当する番号をすべて選んで○を付けてください。

本市では、2025 年の秋ごろに、今後の学校のあり方を考える市民ワークショップの開催を検討しています。参加者募集の案内がきき等をお送りしても良い場合は、右記の QR コードを読み込み入力フォームより氏名・住所等をご入力ください。



※案内不要の場合は空欄のままです。

※ご記入いただいた内容は案内はがき等の発送以外には使用しません。

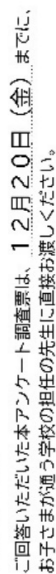
※QRコードが読み込めない方は次のページの自由記述欄に氏名・住所等をご記入ください。

学校の再編・統合についてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

[illegible]

以上でアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。

＜直接回収の場合＞



【小中学校教職員向け】

■教職員（WEBのみ）

あなた自身のことについて

問1 あなた自身についてお聞きします。現在勤めている学校とその学校の勤務年数について、該当するものをそれぞれ1つ選んでください。

問1-1	1 片塩小学校	2 高田小学校	3 土庫小学校	4 浮孔小学校
現在勤めている学校	5 磐園小学校	6 陸西小学校	7 菅原小学校	8 浮孔西小学校
	9 高田中学校	10 片塩中学校	11 高田中学校	
問1-2	1 5年未満	2 5～10年未満		
勤務年数	3 10～20年未満	4 20年以上		

問2 働く場として勤務されている学校をみた場合、あなたの考えに近いものはどれですか。ア～キについて該当するものをそれぞれ1つ選んでください。

	満足	やや満足	やや不満	不満
ア 教室の設備（机や椅子、黒板など）	1	2	3	4
イ 職員室等の環境（スペース、静かさ、設備など）	1	2	3	4
ウ ICT環境（パソコン、インターネット接続など）	1	2	3	4
エ 休憩スペースなど	1	2	3	4
オ 教職員用のトイレなどの衛生環境	1	2	3	4
カ 安全対策（建物全体の老朽化、避難経路など）	1	2	3	4
キ 授業で使用する施設（体育館やプールなど）	1	2	3	4

小中学校の規模について

問3 国の規則では（学校教育法施行規則）12 学級以上 18 学級以下（小学校 1 学年当たり 2 ～ 3 学級、中学校 1 学年当たり 4 ～ 6 学級）を標準としています。
あなたは、大和高田市の将来の学校のあり方を検討するうえでどのくらいの規模が望ましい（適当）とお考えでしょうか。小学校、中学校についてそれぞれ該当するものを 1 つ選んでください。

問3-1 小学校の望ましい 1 学年あたりのクラス数	1 1 クラス	2 2 クラス	3 3 クラス	4 4 クラス以上
5 わからない				
問3-2 中学校の望ましい 1 学年あたりのクラス数	1 1 クラス	2 2 クラス	3 3 クラス	4 4 クラス
5 5 クラス	6 6 クラス	7 7 クラス以上	8 8 クラス以上	9 わからない

問3-3 問3-1、問3-2の回答について、その理由を教えてください。該当するものを3つまで選んでください。

1 クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる
2 児童・生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい
3 集団の中で多様な考え方に触れ、社会性や協調性を身につけることができる
4 児童・生徒相互の人間関係が深まりやすく、異学年との交流も生まれやすい
5 職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい
6 経験、教科、特性などの面でバランスの取れた教員配置を行いやすい
7 地域や保護者との関係が強くなり、開かれた学校づくりができる
8 学年別や教科別の教員同士で学習指導や生活指導について相談等がしやすい
9 出張や研修等に参加しやすい
10 学校が一体となって活動しやすい
11 その他（ ）

小中学校の再編の取組について

問4 小中学校は子どもたちの個性を伸ばし、社会性を育む重要な場であり、学校という集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、多くの経験、学びを得ることが大切です。今後、少子化により小中学校の児童・生徒数がさらに減少していくことが予測される中で、一定規模以上の学校規模を確保するための再編・統合の取組についてどのようにしていくことが望ましいと思いますか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

1 今後も今の学校配置が望ましい
2 今の学校配置が望ましいが、学校の再編・統合を進めることはやむを得ない
3 積極的に学校の再編・統合を進めるべき
4 わからない

問5 問4の回答を選んだ理由として該当するものを3つまで選んでください。

1 多様な交流の中で社会性や協調性を身につけることができるから
2 人数が確保できることで運動会などの学校行事等の活動の幅が広がるから
3 グループ学習や対話的学習などを通じて、意見や考えに触れることができるから
4 将来にわたり、複式学級 [※] の回遊や学年の複数クラスの維持ができるから
5 PTA 活動等の保護者の負担が少ないから
6 教員の目が届きにくく、きめ細かな教育を受けられないから
7 学校行事等で一人ひとりの活躍する機会が少なくなるから
8 学校が遠くなることによって、登下校時の児童・生徒の安全が心配だから
9 学校全体が一体となって活動しやすいから
10 地域や保護者との連携が難しくなるから
11 その他（ ）

※複式学級：異なる2つ以上の学年の児童生徒を1学級に編制した学級のこと

地域における学校施設のあり方について

問9 小中学校は児童・生徒の大切な学びの場であることはもちろんのこと、地域における活動拠点としての役割も担っています。小中学校がこれまで担ってきた役割について、特に重要だと思うものは何ですか。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

1	児童・生徒の放課後の居場所	2	地域の防災拠点
3	選挙の投票所	4	地域のスポーツ活動の拠点
5	地域の文化活動の拠点	6	生涯学習の拠点
7	子育て支援の拠点	8	高齢者福祉の拠点
9	障がい者福祉の拠点	10	地域における活動拠点としての認識はない
11	その他（ ）		

問10 小中学校にこれから期待する地域における役割は何ですか。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

1	児童・生徒の放課後の居場所	2	地域の防災拠点
3	選挙の投票所	4	地域のスポーツ活動の拠点
5	地域の文化活動の拠点	6	生涯学習の拠点
7	子育て支援の拠点	8	高齢者福祉の拠点
9	障がい者福祉の拠点	10	児童・生徒の学びの場以外の役割は不要
11	その他（ ）		

問11 再編の取組を検討するにあたって、あなたが参加したいと思えるものは何ですか。該当する番号をすべて選んでください。

1	ワークショップ等の話し合いの機会	2	アイデア提案の機会
3	説明会・勉強会	4	その他（ ）

→本市では、2025年の秋ごろに、今後の学校圏のあり方を考える市民ワークショップの開催を検討しています。参加者募集の案内はがき等をお送りしても良い場合は、右記のQRコードを読み込み入力フォームより氏名・住所等をご入力ください。



ワークショップの案内をご希望される方はこちら

※案内不要の場合は空欄のままで結構です。
※ご記入いただいた内容は案内はがき等の発送以外には使用しません。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございます。

問6 勤務している学校について、今後の再編・統合についてどのようなようにお考えですか。あなたの考えに一番近いものを1つ選んでください

1	早急に再編・統合する必要がある
2	全ての学年が1学級以下になるなど、明らかに児童数・生徒数の減少が見込まれる時期に再編・統合するべきである
3	将来的にも再編・統合する必要はない
4	わからない

問7 一定規模以上の学校規模を確保するための再編・統合の取組を検討する際の考え方について、あなたの考えに近いものはどれですか。ア～ウについて該当する番号(1～5)をそれぞれ1つ選んで○を付けてください。

	そうするべき	そうするべき	どちらかというとそうするべき	どちらでもない	どちらかというとそうするべきでない	そうするべきでない
ア 市全体で再編・統合の検討を進め、児童・生徒の通学に配慮した校区の見直しを行う	1	2	3	4	5	
イ 現在ある地域コミュニティに配慮し、同一の中学校区で隣接した小学校同士の再編・統合の検討を進める	1	2	3	4	5	
ウ 義務教育学校等の導入を踏まえ、適正配置を検討する	1	2	3	4	5	

問8 一定規模以上の学校規模を確保するための再編の取組を検討する場合、特にどのような点に配慮するべきだとお考えですか。該当するものを3つまで選んでください。

1	子どもたちの通学（時間・距離・方法）と安全の確保
2	子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減（ケア）
3	学校施設・設備の整備、充実
4	検討経過の見える化や十分な検討期間の確保
5	幼稚園やこども園、児童ホームなど子育て機能を有する施設との連携
6	再編で学校が空き施設になった場合の活用策の検討
7	地域の拠点（防災拠点、文化・スポーツ拠点等）として、学校周辺における公共施設や生活に必要なサービス機能の整備
8	学校と地域のつながりの強化
9	その他（ ）

未就学児の保護者向け

大和高田市小学校園の再編に関するアンケート調査

スマートフォン・タブレットを使って回答される方は、案内文に記載している【WEB 回答用ページ】にアクセスし、下記の大文字小文字を含む半角英数字4桁のWEB 回答用ワードを最初の設問に入力して回答を開始してください。

WEB 回答用ワード: Xz12

※インターネットで回答された方は、調査票(用紙)での回答は不要です

あなた自身のことについて

問1 あなた自身についてお聞かせします。該当する番号をそれぞれ1つ選んで○を付けてください。※お子さまが複数人おられる方は、アンケート用紙を受け取った園、または保育所に通われているお子さまについてお答えください。

問1-1 お住まいの地域	1 片塩小学校区	2 高田小学校区
	3 土庫小学校区	4 浮孔小学校区
	5 磐園小学校区	6 陝西小学校区
	7 菅原小学校区	8 浮孔西小学校区
	9 わからない	町字名：()
問1-2 お子さまが通っている園	1 市立幼稚園	2 市立こども園
	3 市立保育所	4 その他 ()

問2 あなたのお子さまが通われている施設を選んだ理由は何ですか。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

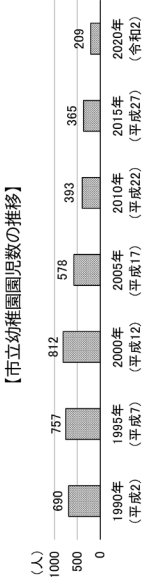
1 自宅や職場が近い	2 施設が新しい、広い
3 金銭的な負担が少ない	4 子どもが多く活気がある
5 知り合いなどが通っている	6 地域との交流がある
7 評判が良い	8 先生の対応が良い
9 保育・教育の内容が良い	10 保護者同士の繋がりができる
11 小学校・中学校との交流がある	12 その他 ()

幼稚園のあり方について

問3 幼稚園の今後のあり方について、期待することを教えてください。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。(お子さまがこども園や保育所に通われている方もそれぞれの保護者の立場からお答え下さい)

1	子どもたちの活動に必要なクラスの数・集団規模
2	教育・保育内容の充実・向上
3	就労にあわせて長時間の預かりなど保育枠の充実・拡大
4	配慮を要する子どもなどへの支援
5	幼稚園施設(駐車場や遊具等)の整備・設備の充実
6	子育て関連施設(子どもの遊び場、子育て相談の場等)の充実
7	幼稚園と地域のつながりの強化
8	その他 ()

問4 市立幼稚園は全国的な少子化に加え、保育ニーズの高まりや幼児教育・保育の無償化等を背景として園児数が減少し続けています。



本市における幼稚園のあり方を考えていくにあたり、あなたは、集団や遊びの中で学ぶという視点から、幼児期の子どもにとってどれぐらいの規模が望ましい(適当)とお考えでしょうか。該当する番号をそれぞれ1つ選んで○を付けてください。

問4-1 3歳児の望ましい1クラスあたりの人数	1 1～9人	2 10～14人	3 15～19人	4 20～24人
問4-2 4歳児の望ましい1クラスあたりの人数	1 1～9人	2 10～14人	3 15～19人	4 20～24人
問4-3 5歳児の望ましい1クラスあたりの人数	1 1～9人	2 10～14人	3 15～19人	4 20～24人

問5 市では、幼児期の発達段階に応じた集団活動の維持・充実を図り、就学前の子どもの豊かな育ちを保證する観点で、将来的な統合や複合化なども含め、市立幼稚園のあり方についてどのようにしていくことが望ましいと思いますか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

1	今後も今の幼稚園配置が望ましい
2	一定規模での保育の実現のためには、再編・統合を進めることもやむを得ない
3	積極的に再編・統合を進めるべき
4	幼稚園をこども園化するのが望ましい
5	わからない
6	その他（ ）

小中学校の規模について

問6 国の規則（学校教育法施行規則）では、12学級以上18学級以下（小学校1学年当たり2～3学級、中学校1学年当たり4～6学級）を標準としています。
あなたは、大和高田市の将来の学校のあり方を検討するうえでどのくらいの規模が望ましい（適当）とお考えでしょうか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

問6-1 小学校の望ましい1学年あたりのクラス数							
1	1クラス	2	2クラス	3	3クラス	4	4クラス以上
5	わからない						
問6-1 中学校の望ましい1学年あたりのクラス数							
1	1クラス	2	2クラス	3	3クラス	4	4クラス
5	5クラス	6	6クラス	7	7クラス以上	8	わからない

問6-3 問6-1、問6-2の回答について、その理由を教えてください。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

1	クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる
2	児童・生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導を受けられる
3	集団の中で多様な考え方に触れ、社会性や協調性を身につけることができる
4	児童・生徒相互の人間関係が深まりやすく、異学年との交流も生まれやすい
5	職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい
6	経験、教科、特性などの面でバランスの取れた教員配置を行いやすい
7	地域や保護者との関係が強くなり、開かれた学校づくりができる
8	学校が一体となって活動しやすい
9	その他（ ）

小中学校の再編の取組について

問7 小中学校は子どもたちの個性を伸ばし、社会性を育む重要な場であり、学校という集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、多くの経験、学びを得ることが大切です。今後、少子化により小中学校の児童・生徒数がさらに減少していくことが予測される中で、一定規模以上の学校規模を確保するための再編・統合の取組についてどのようにしていくことが望ましいと思いますか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

1	今後も今の学校配置が望ましい
2	今の学校配置が望ましいが、学校の再編・統合を進めることはやむを得ない
3	積極的に学校の再編・統合を進めるべき
4	わからない

問8 問7の回答を選んだ理由として該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

1	多様な交流の中で社会性や協調性を身につけることができるから
2	人数が確保できることで、運動会などの学校行事等の活動の幅が広がるから
3	グループ学習や対話的学習などを通じて、意見や考えに触れることができるから
4	将来にわたり、複式学級※の回避や学年の複数クラスの維持ができるから
5	PTA 活動等の保護者の負担が少ないから
6	教員の目が届きにくく、きめ細かな教育を受けられないから
7	学校行事等で一人ひとりの活躍する機会が少なくなるから
8	学校が遠くなることによって、登下校時の児童・生徒の安全が心配だから
9	学校全体が一体となって活動しやすいから
10	地域や保護者との連携が難しくなるから
11	その他（ ）

※複式学級：異なる2つ以上の学年の児童生徒を1学級に編制した学級のこと

問9 お子さんの通学する予定の学校について、今後の再編・統合についてどのようにお考えですか。該当する番号を1つ選んで○を付けてください

1	早急に再編・統合する必要がある
2	全ての学年が1学級以下になるなど、明らかに児童数・生徒数の減少が見込まれる時期に再編・統合するべきである
3	将来的にも再編・統合する必要はない
4	大和高田市の市立学校以外に進学する予定である
5	わからない

通学の考え方について

問 12 「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（H27.1／文部科学省）」では、適正な学校規模として、以下の目安が示されています。

- ・通学距離：小学校で4 km以内、中学校で6 km以内
- ・通学時間：おおむね1時間以内を一応の目安に、市町村が判断（適切な交通手段の確保などが前提）

将来の大和高田市の子どもたちにとっての適正な学校配置を検討するにあたって、仮に、「通学時間（子どもが歩く時間）」をひとつの目安として考えた場合、あなたはどれぐらいまでが許容できる通学区域の範囲になるとお考えですか。一番近いものを1つ選んでください。

問 12-1 小学校で許容できる通学時間（児童が歩く時間）の限度

1	20 分程度	2	30 分程度
3	40 分程度	4	50 分程度
5	1 時間程度	6	時間は問わない

問 12-2 中学校で許容できる通学時間（生徒が歩く時間）の限度

1	20 分程度	2	30 分程度
3	40 分程度	4	50 分程度
5	1 時間程度	6	時間は問わない

問 13 再編・統合や校区の見直しに伴い、通学距離の拡大やその他の事由により一部の児童・生徒の通学が困難となる場合、あなたの考えに近いものはどれですか。小学校、中学校について、該当する番号をそれぞれ1つ選んで○を付けてください。

問 13-1 小学校の校区の考え方

1	スクールバスや公共交通機関等の使用により安全に通学できるのであれば、再編・統合後の通学距離は問わない
2	再編・統合後の通学距離も徒歩で通学できる範囲で検討するべき
3	現在の校区・学校配置を変えるべきではない
4	その他（ ）

問 13-2 中学校の校区の考え方

1	スクールバスや公共交通機関等の使用により安全に通学できるのであれば、再編・統合後の通学距離は問わない
2	再編・統合後の通学距離も徒歩あるいは自転車での通学できる範囲で検討するべき
3	現在の校区・学校配置を変えるべきではない
4	その他（ ）

問 10 一定規模以上の学校規模を確保するための再編・統合の取組を検討する際の考え方について、あなたの考えに近いものはどれですか。ア～ウについて該当する番号（1～5）をそれぞれ1つ選んで○を付けてください。

	そうするべき	そうするかというところでもない	そうするべきでない	そうするべきでない
市全体で再編・統合の検討を進め、児童・生徒の通学に配慮して通学校区の見直しを行う	1	2	3	4
現在ある地域コミュニティに配慮し、同一の中学校区で隣接した小学校同士の再編・統合の検討を進める	1	2	3	4
義務教育学校等の導入を踏まえ、適正配置を検討する	1	2	3	4
				5

問 11 一定規模以上の学校規模を確保するための再編の取組を検討する場合、特にどのような点に配慮するべきだとお考えですか。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

1	子どもたちの通学（時間・距離・方法）と安全の確保
2	子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減（ケア）
3	学校施設・設備の整備、充実
4	検討経通の見える化や十分な検討期間の確保
5	幼稚園やこども園、児童ホームなど子育て機能を有する施設との連携
6	再編で学校が空き施設になった場合の活用策の検討
7	地域の拠点（防災拠点、文化・スポーツ拠点等）として、学校周辺における公共施設や生活に必要なサービス機能の整備
8	学校と地域のつながりの強化
9	その他（ ）

地域における学校施設のあり方について

問 14 小中学校は児童・生徒の大切な学びの場であることはもちろんのこと、地域における活動拠点としての役割も担っています。小中学校がこれまで担ってきた役割について、特に重要だと思うものは何ですか。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

1	児童・生徒の放課後の居場所	2	地域の防災拠点
3	選挙の投票所	4	地域のスポーツ活動の拠点
5	地域の文化活動の拠点	6	生涯学習の拠点
7	子育て支援の拠点	8	高齢者福祉の拠点
9	障がい者福祉の拠点	10	地域における活動拠点としての認識はない
11	その他（ ）		

問 15 小中学校にこれから期待する地域における役割は何ですか。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

1	児童・生徒の放課後の居場所	2	地域の防災拠点
3	選挙の投票所	4	地域のスポーツ活動の拠点
5	地域の文化活動の拠点	6	生涯学習の拠点
7	子育て支援の拠点	8	高齢者福祉の拠点
9	障がい者福祉の拠点	10	児童・生徒の学びの場以外の役割は不要
11	その他（ ）		

問 16 再編の取組を検討するにあたって、あなたが参加したいと思えるものは何ですか。該当する番号をすべて選んで○を付けてください。

1	ワークショップ等の話し合いの機会	2	アイデア提案の機会
3	説明会・勉強会	4	その他（ ）

→本市では、2025 年の秋ごろに、今後の学校のあり方を考える市民ワークショップの開催を検討しています。参加者募集の案内はがき等をお送りしても良い場合は、右記の QR コードを読み込み入力フォームより氏名・住所等をご記入ください。



ワークショップの案内をご希望される方はこちら

※案内不要の場合は空欄のままで結構です。
※ご記入いただいた内容は案内はがき等の発送以外には使用しません。
※QR コードが読み取れない方は次のページの自由記述欄に氏名・住所等をご記入ください。

学校の再編・統合についてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

【自由記述欄】

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
<直接回収の場合>
ご回答いただいた本アンケート調査票は、12月20日（金）までに、お子さまが通う園または保育所の担任の先生に直接お渡しください。



【幼稚園教諭等】

大和高田市 学校の再編に関するアンケート調査

保育士・幼稚園教諭等

スマートフォン・タブレットを使って回答される方は、案内文に記載している[WEB 回答用ページ]にアクセスし、下記の大文字小文字を含む半角英数字4桁の WEB 回答用ワードを最初の設問に入力して回答を開始してください。

WEB 回答用ワード: Xz12

※インターネットで回答された方は、調査票(用紙)での回答は不要です

あなた自身のことについて

問1 あなた自身についてお聞きします。現在勤めている園とその勤務年数について、該当する番号をそれぞれ1つ選んで○を付けてください。

問1-1	1 市立幼稚園	2 市立こども園
勤めている園	3 市立保育所	
問1-2	1 5年未満	2 5～10年未満
勤務年数	3 10～20年未満	4 20年以上

幼稚園のあり方について

問2 市立幼稚園は全国的な少子化に加え、保育ニーズの高まりや幼児教育・保育の無償化等を背景として園児数が減少し続けています。

本市における幼稚園のあり方を考えていくにあたり、あなたは、集団や遊びの中で学ぶという視点から、幼児期の子どもにとってどれくらいの規模が望ましい(適当)とお考えでしょうか。該当する番号をそれぞれ1つ選んで○を付けてください。

問2-1 3歳児の望ましい1クラスあたりの人数

1 1～9人	2 10～14人	3 15～19人	4 20～24人
--------	----------	----------	----------

問2-2 4歳児の望ましい1クラスあたりの人数

1 1～9人	2 10～14人	3 15～19人	4 20～24人
--------	----------	----------	----------

問2-3 5歳児の望ましい1クラスあたりの人数

1 1～9人	2 10～14人	3 15～19人	4 20～24人
--------	----------	----------	----------

問2-4 問2-1～3の回答にあたって重視した視点(期待する効果)を教えてください。

1 集団での遊びや学びの機会に恵まれる
2 先生が目が子ども一人ひとりに行き届く
3 学級内の絆が強まる
4 友達との交流によって社会性やルールを身につける機会に恵まれる
5 園での行事等において、多様な教育活動ができる
6 学級内の人間関係に変化が特でる
7 施設・設備が余裕をもって利用できる
8 その他 ()

問3 市では、幼児期の発達段階に応じた集団活動の維持・充実を図り、就学前の子どもの豊かな育ちを保证する視点を最優先に考え、将来的な統合や複合化なども含め、市立幼稚園のあり方についてどのようにしていくことが望ましいと思いますか。それぞれの立場から該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

1 今後も今の幼稚園配置が望ましい
2 一定規模での保育の実現のためには、再編・統合を進めることもやむを得ない
3 積極的に再編・統合を進めるべき
4 幼稚園をこども園化するのが望ましい
5 わからない
6 その他 ()

問4 幼稚園の今後のあり方について、期待することを教えてください。該当する番号を3つまで選んで○を付けてください。

1 子どもたちの活動に必要なクラスの人数・集団規模
2 教育・保育内容の充実・向上
3 就労にあわせ長時間の預かりなど保育枠の充実・拡大
4 配慮を要する子どもなどへの支援
5 幼稚園施設(駐車場や遊具等)の整備・設備の充実
6 子育て関連施設(子どもの遊び場、子育て相談の場等)の充実
7 幼稚園と地域のつながりの強化
8 その他 ()

本市では、2025 年の秋ごろに、今後の学校のあり方を考える市民ワークショップを開催を検討しています。参加者募集の案内はがき等をお送りしても良い場合は、右記の QR コードを読み込み入カフォームより氏名・住所等をご記入ください。



ワークショップの案内を
ご希望される方はこちら

※案内不要の場合は空欄のままでも結構です。

※QRコードが読み込めない方は自由記述欄にご記入ください。

※ご記入いただいた内容は案内はがき等の発送以外には使用しません。

学校の再編・統合についてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

【自由記述欄】

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。